

For Discussion Purpose Only

# ウェルビーイングに基づく政策デザイン

2023年10月4日

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事 南雲岳彦

鎌倉市 スマートシティ推進参与

京都大学経営管理大学院 客員教授



Smart City  
Institute Japan

# 自己紹介 南雲 岳彦

- 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート専務理事、および三菱UFJリサーチ&コンサルティング専務執行役員。三菱UFJフィナンシャル・グループおよび三菱UFJ銀行の執行役員を経て、現職。一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム理事、日本ウェルビーイング推進協議会理事等を兼任。
- 京都大学経営管理大学院客員教授、横浜市立大学大学院客員教授、専修大学客員教授、金沢工業大学客員教授、国際大学GLOCOM上席客員研究員等を兼任。
- 規制改革推進会議、行政改革推進会議、産業構造審議会、独立行政法人評価制度委員会、公文書管理委員会、戦略的イノベーション創造プログラム等、内閣府、内閣官房、デジタル庁、総務省、経産省の各種審議会の委員、世界銀行シニアアドバイザー、世界経済フォーラム・フェローを歴任。
- 東京都、兵庫県、山口県、渋谷区、横浜市、鎌倉市、小田原市、千葉市、浜松市、三島市、神戸市、加古川市、会津若松市、前橋市、岐阜市、東広島市、下関市、札幌市、茨城県境町等の自治体、非営利団体、民間企業におけるアドバイザー等を兼任。

# Well-Being (心の豊かな暮らし) は、デジ田園都市国家構想の3本柱の一つ

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital\\_denen/dai2/siryou2-1.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai2/siryou2-1.pdf)



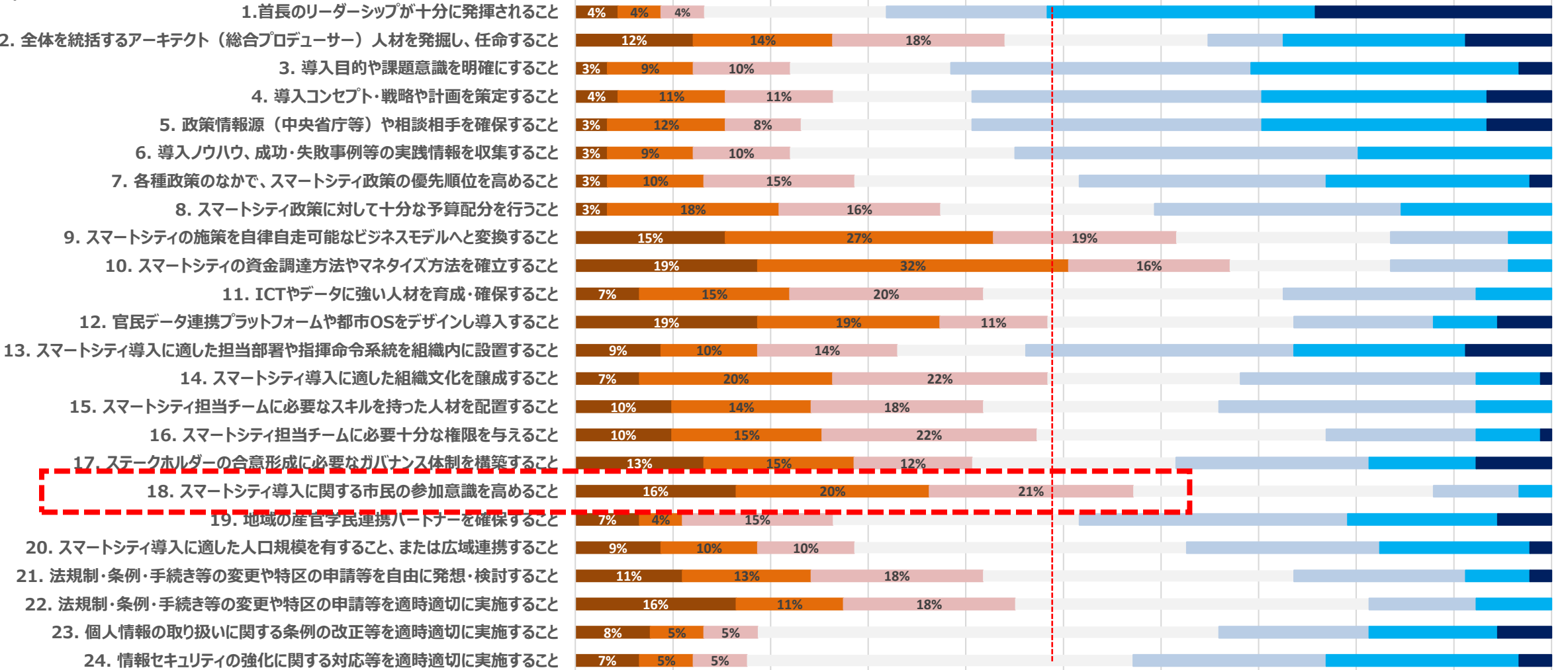




# スマートシティ推進上の最大の課題のひとつは、「市民参加意識」の低さ

(一般社団法人スマートシティ・インスティテュート年次アンケートから抜粋)

(n=91)



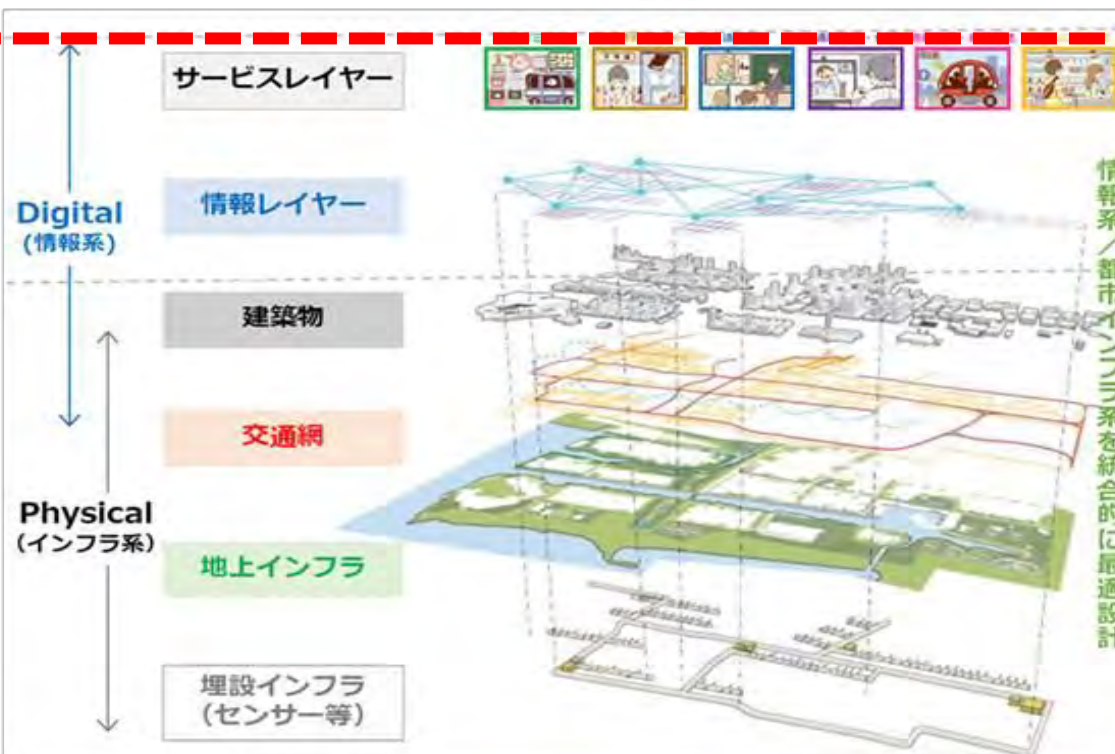
■ 7 全くできていない ■ 6 あまりできていない ■ 5 どちらかというとできていない ■ 4 どちらでもない ■ 3 どちらかというとできている ■ 2 ある程度できている ■ 1 十分にできている

# スマートシティでどのように「市民の幸福感」を高めることができるか？

人・社会のレイヤー



デジタルのレイヤー

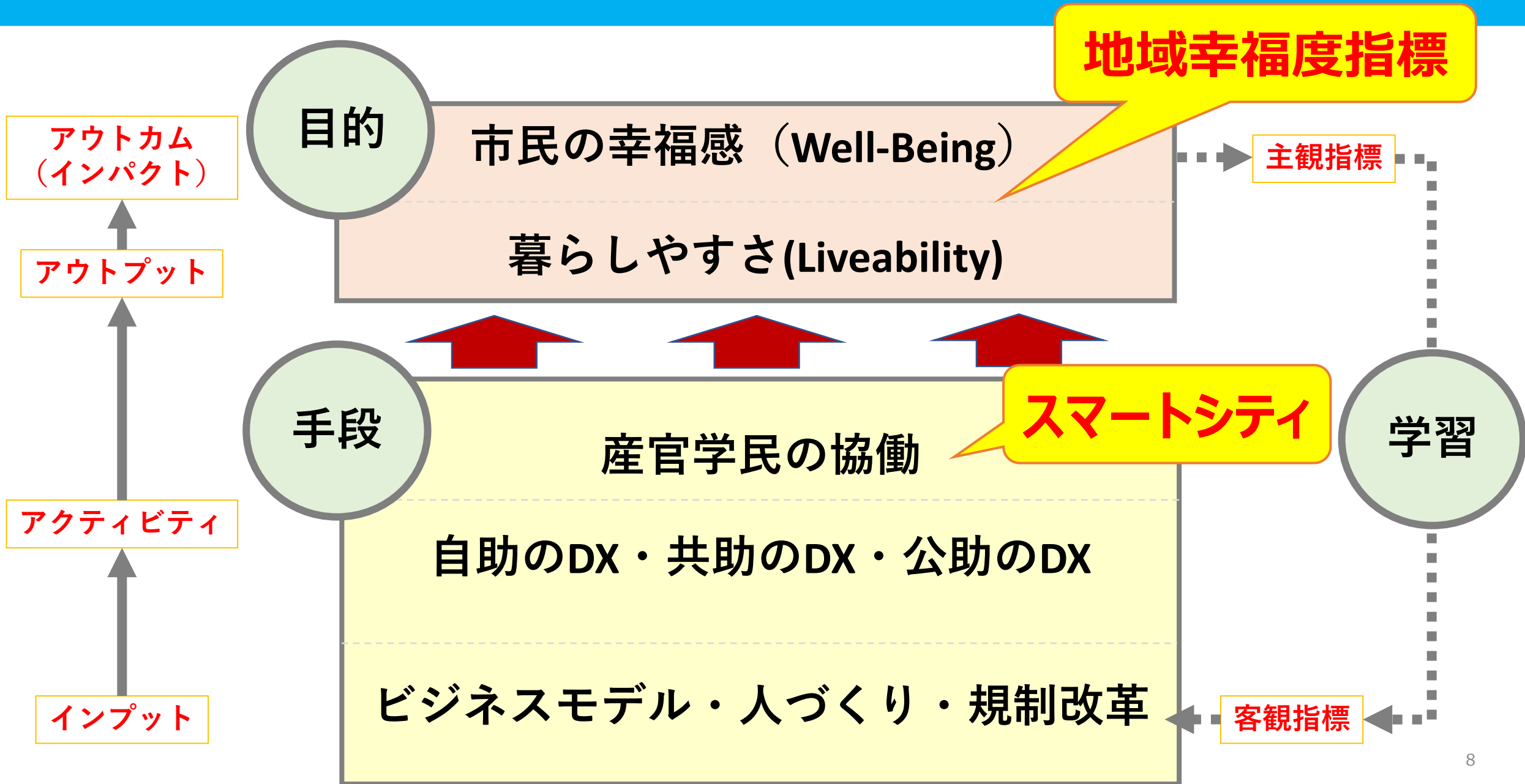


社会資本のレイヤー

自然資本のレイヤー



# 地域幸福度指標の政策活用を意図したスマートシティのロジックモデル



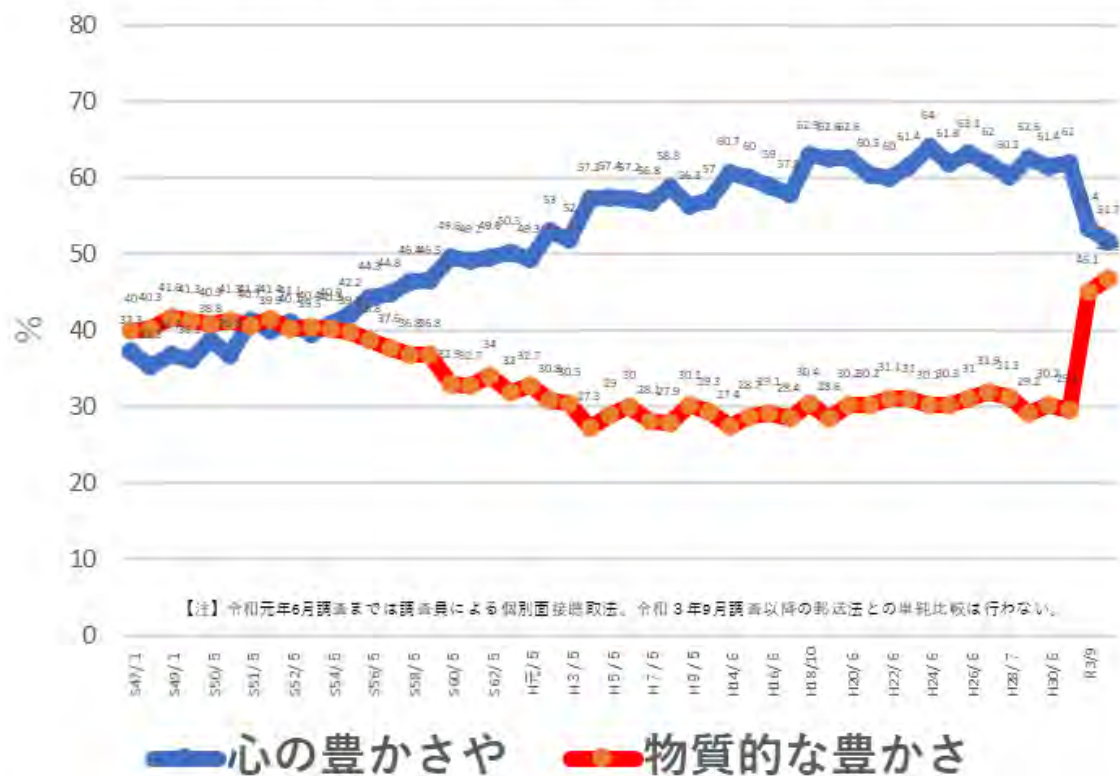




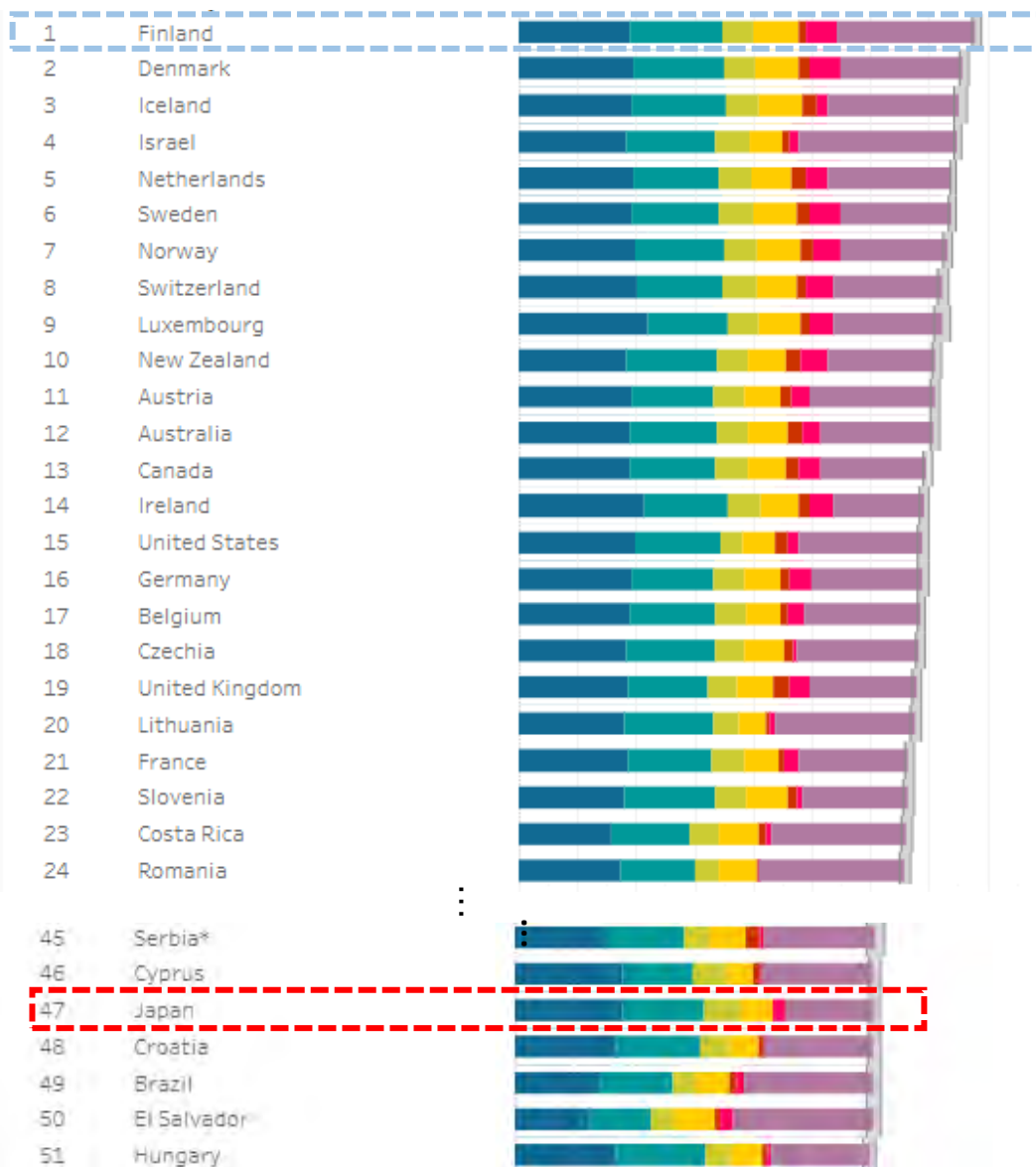
# 「心の豊かさ」は「物の豊かさ」より大事だが、「心の豊かさ」が実感できていない

## 心の豊かさか、物質的な豊かさか？

(内閣府「国民生活に関する世論調査」に基づき筆者作成)



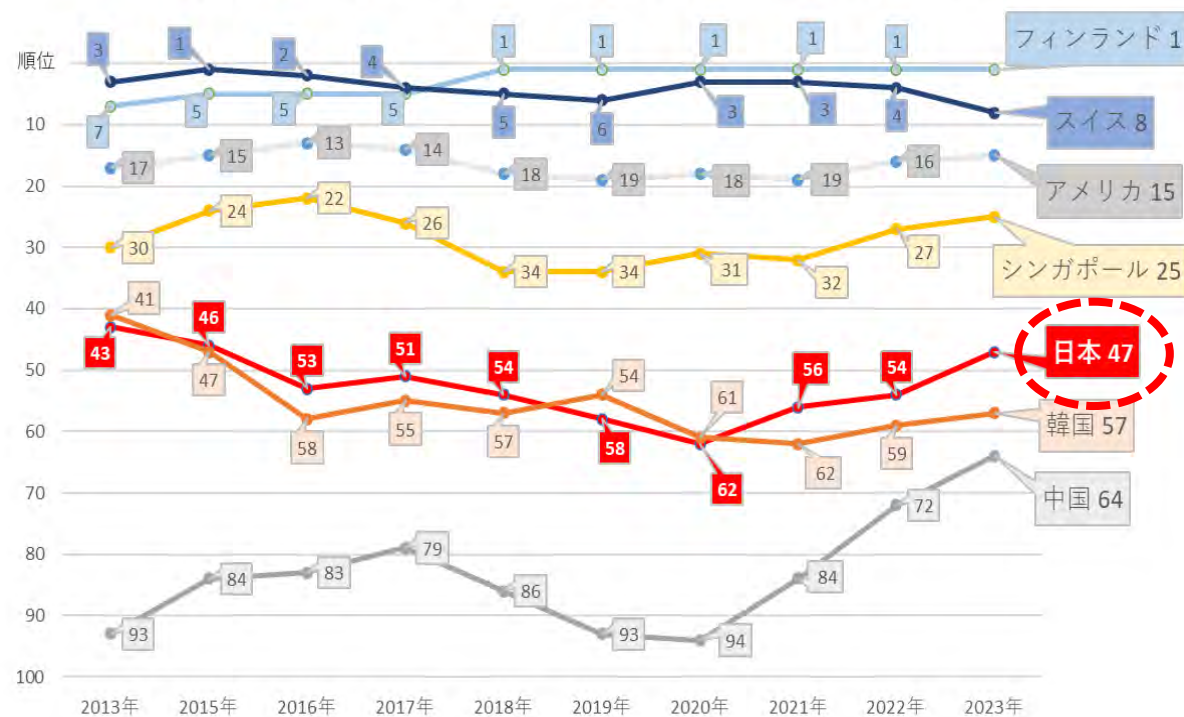
# 世界幸福度報告（2023）日本は47位。2020年のボトム（62位）から回復



- Explained by: GDP per capita
- Explained by: social support
- Explained by: healthy life expectancy
- Explained by: freedom to make life choices
- Explained by: generosity
- Explained by: perceptions of corruption
- Dystopia (1.97) + residual
- 95% confidence interval

1) 一人当たり国内総生産（GDP）、2) 社会保障制度などの社会的支援、3) 健康寿命、4) 人生の自由度、5) 他者への寛容さ、6) 国への信頼度の6項目を加味して順位付けし、世界ランキングを公表しているもの。

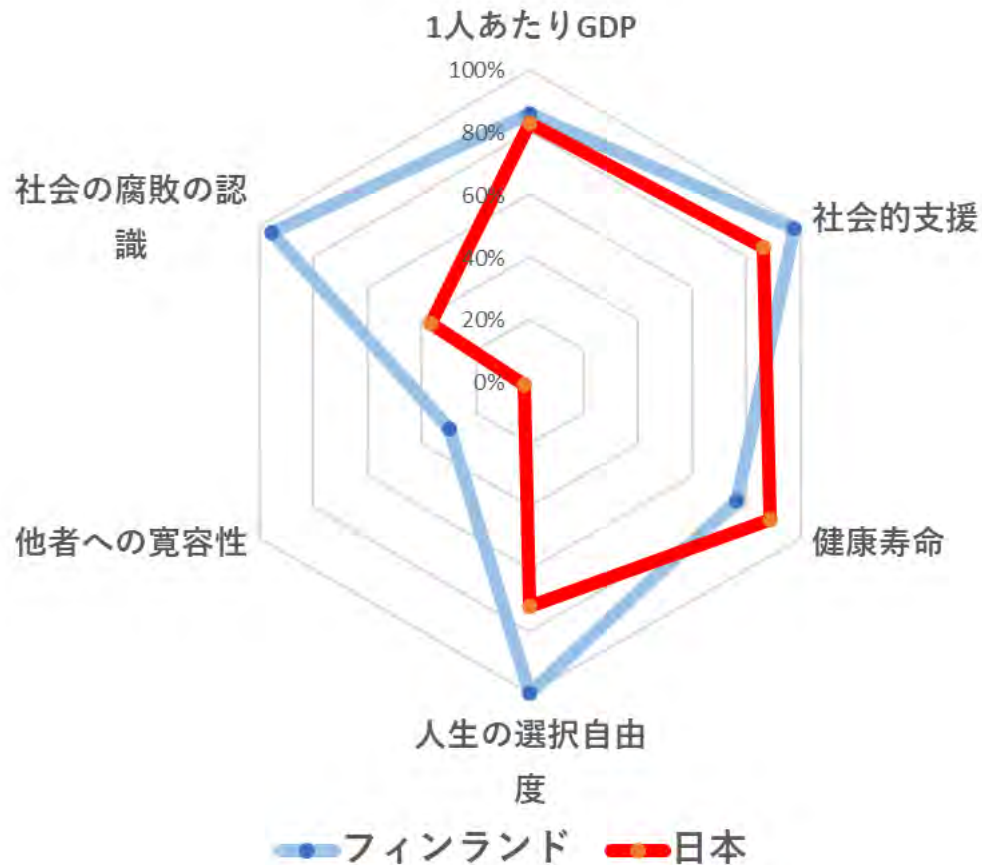
## 世界幸福度報告ランキング推移（2013年～2023年）



# 日本とフィンランドの幸福感の比較 ～ 日本人の幸福感を向上させるヒント

## 【世界幸福度報告 (WHR) 2023年】

日本 (47位) とフィンランド (1位) の比較



## 【日本人の幸福度の低さの要因】

- 他者への寛容性 (WHR) ・社会的包摂 (SPI)
- 社会の腐敗の認識 (≒政府への信頼) (WHR)
- 人生の選択自由度 (WHR)
- 市民参加 (OECD) ・コミュニティ (OECD)
- 環境 (OECD)
- 人生満足度 (OECD)
- ワークライフバランス (OECD)

日本 (47位) とアメリカ (15位) の比較



日本 (47位) とシンガポール (25位) の比較



- 世界幸福度報告 – **ウェルビーイング**
- OECD Better Life Index – **生活満足度**
- NUMBEO Quality of Life Index – **生活の質**
- UNDP Human Development Index – **生活水準（人間開発度）**
- SPI Social Progress Index – **社会の進歩度**
- Legatum Prosperity Index – **繁栄度**
- SDGs – **持続可能な発展**

# 各種国際指標から浮かび上がる日本人のウェルビーイングの特徴

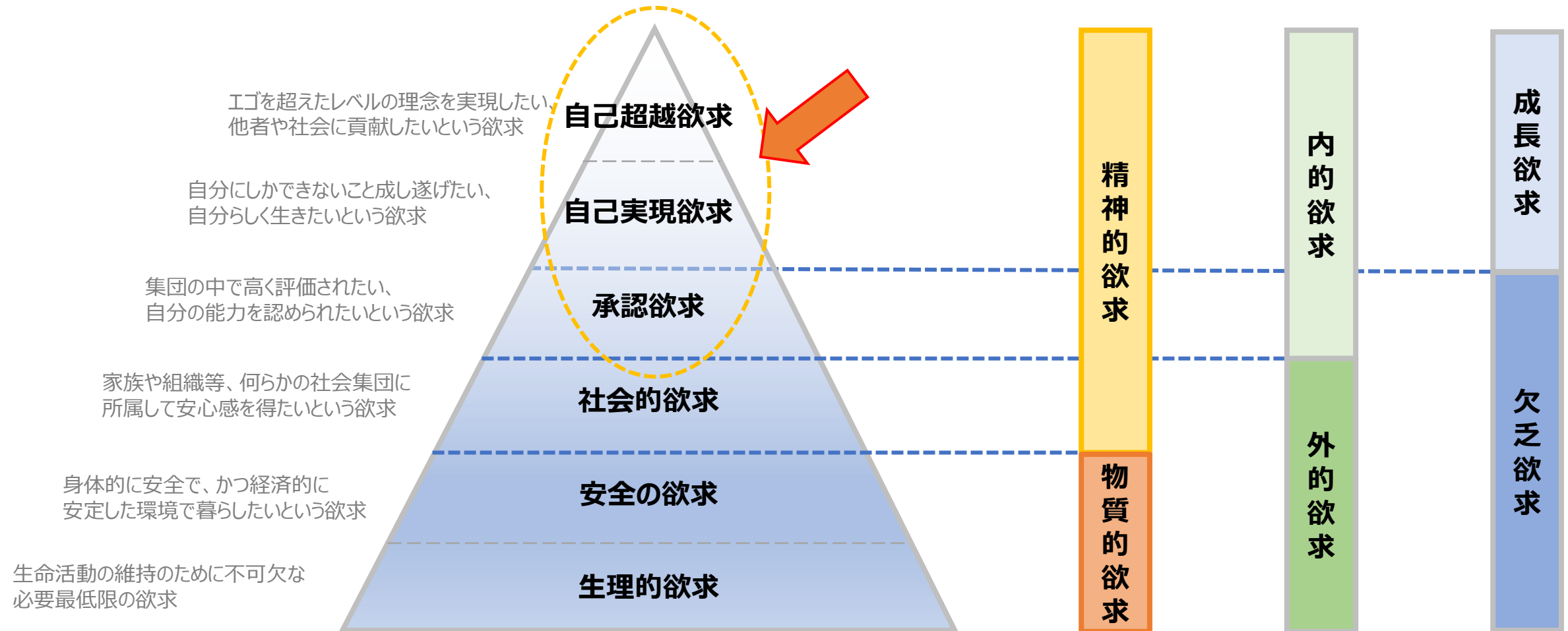
都市環境  
自然環境  
地域の人間関係  
自分らしい生き方

指標名	測定対象	日本の強み（高水準）	日本の弱み（低水準）	WHRとの相関係数
World Happiness Report	幸福度	所得水準、安全	他者への寛容性、社会の腐敗認識、人生の選択の自由度	-
OECD Better Life Index	生活満足度	健康状態、安全、雇用と仕事	市民参加、社会とのつながり、環境の質	0.82
NUMBEO Quality of Life Index	生活の質	安全安心、ヘルスケア	生活費、通勤時間	0.81
UNDP Human Development Index	生活水準（人間開発度）	平均寿命、平均就学年数	所得・教育の伸び悩み	0.67
SPI Social Progress Index	社会進歩度	医療、衛生、住宅、安全、知識	高等教育、社会的包摂性、選択の自由、環境	0.75
Legatum Prosperity Index	繁栄度	安全、健康、投資環境、経営環境	社会関係資本、個人の自由	0.76
SDGs	発展可能な開発	教育、産業イノベーション、インフラ、平和・公平性	ジェンダー、責任ある消費・生産、環境共生	0.59

# マズローの欲求段階説で考える日本人のウェルビーイングの現在地 ～ 衣食住のような基本的な欲求の充足ではなく、成長欲求等の精神面の充足が必要

## ■ マズローの欲求段階説

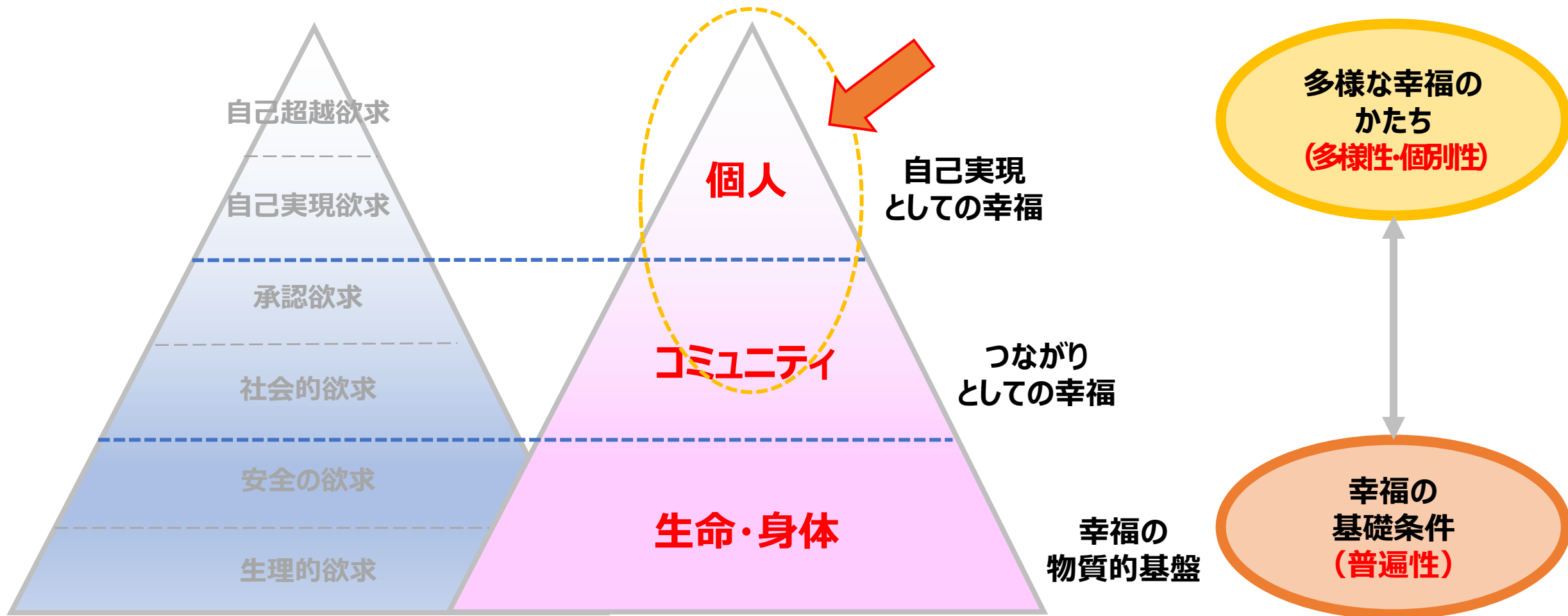
人間の欲求は、ピラミッドのように構成されており、低次の欲求が満たされる毎に、上の段階の欲求をもつようになるという序列を想定している。



# マズローの欲求段階説で考える日本人のウェルビーイングの現在地 ~ 衣食住のような基本的な欲求の充足ではなく、成長欲求等の精神面の充足が必要

## ■ マズローの欲求段階説

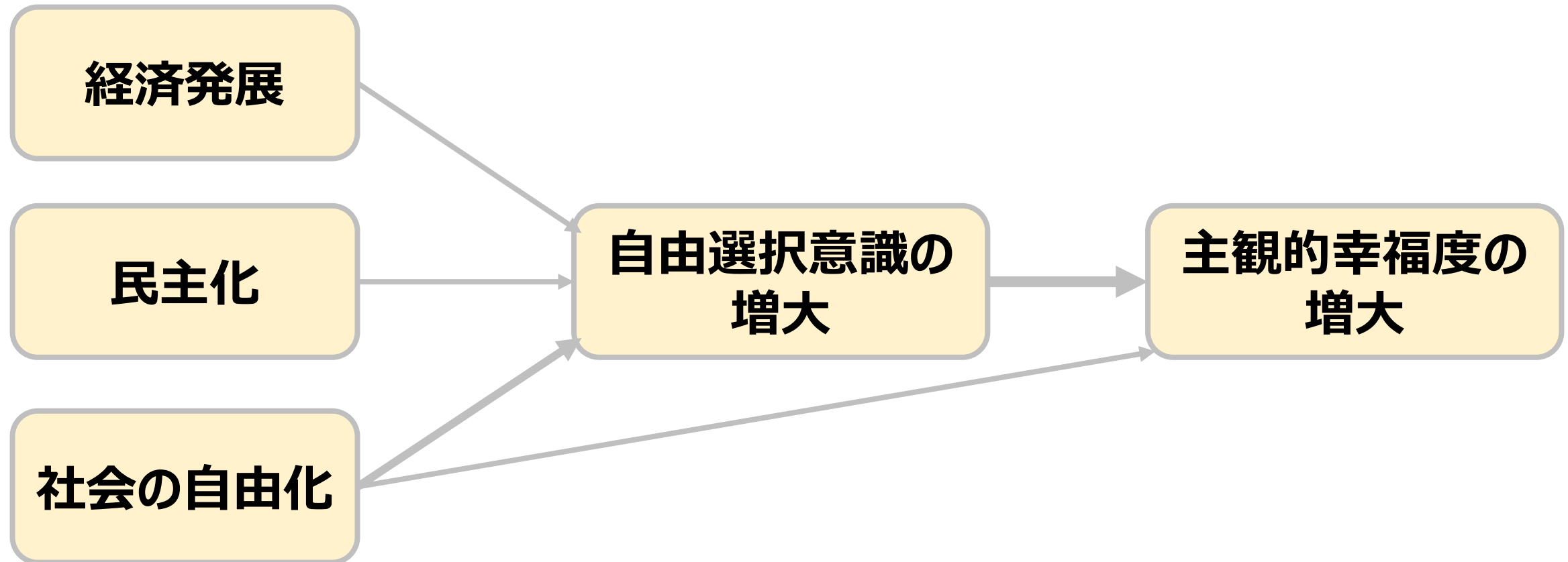
## 精神的・成長欲求の部分が今日の日本の課題





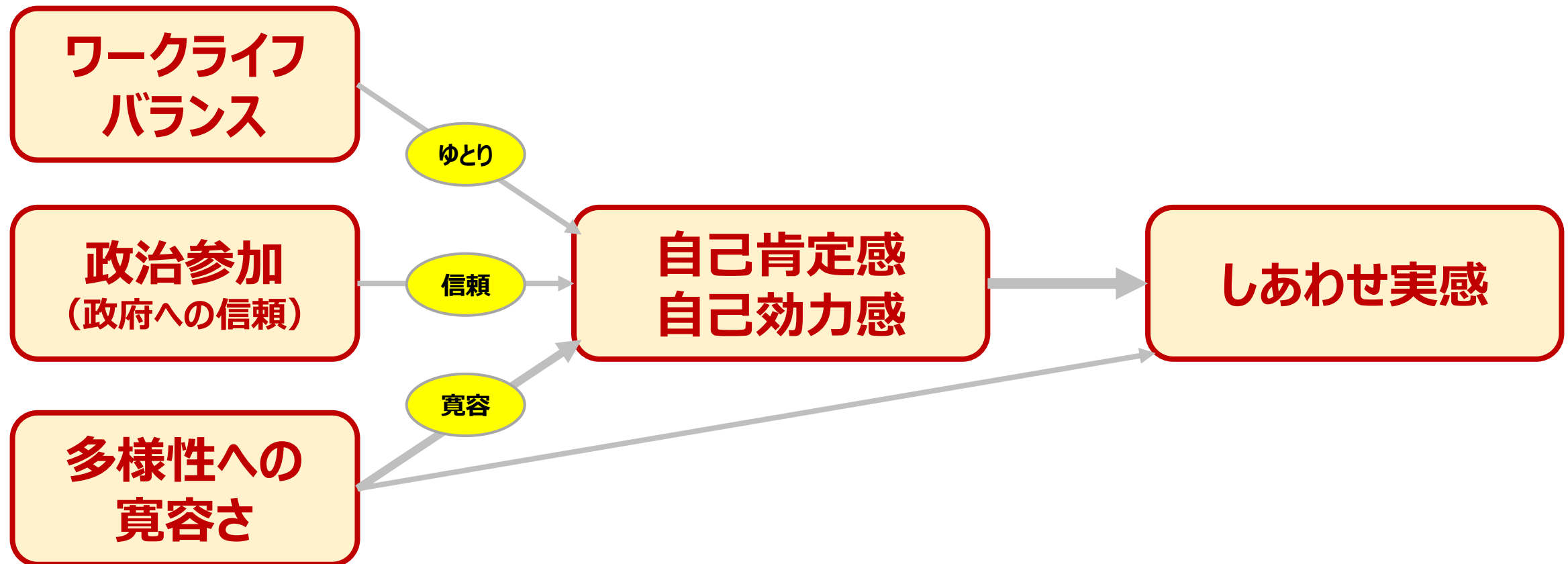
# 主観的幸福度の「増大」に資する要因 ～ 西欧的な近代化の考え方

- 56か国の調査によれば、これまでの幸福度の増大の主因は、「自己選択意識の増大」。
- それは、①経済発展、②民主化、③社会の自由化に起因している。中でも社会的寛容度の高まりのほうが、経済成長や民主化より自由選択意識に対する影響が大きい。



# 主観的幸福度の「増大」に資する要因 ⇒ より日本の文脈に当てはめると・・・

- 56か国の調査によれば、これまでの幸福度の増大の主因は、「自己選択意識の増大」。
- それは、①経済発展、②民主化、③社会の自由化に起因している。中でも社会的寛容度の高まりのほうが、経済成長や民主化より自由選択意識に対する影響が大きい。



## ■ ウェルビーイング

= 「**身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること**」

- 「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（well-being）にあること（WHO）」

## ■ 健康の社会的決定要因

= 「**個人または集団の健康状態に違いをもたらす経済的、社会的状況のこと**」

- WHOソリッドファクツ（2003年）に列挙された健康の社会的決定要因： 社会格差、ストレス、幼児期、社会的排除、労働、失業、社会的支援、薬物依存、食品、交通

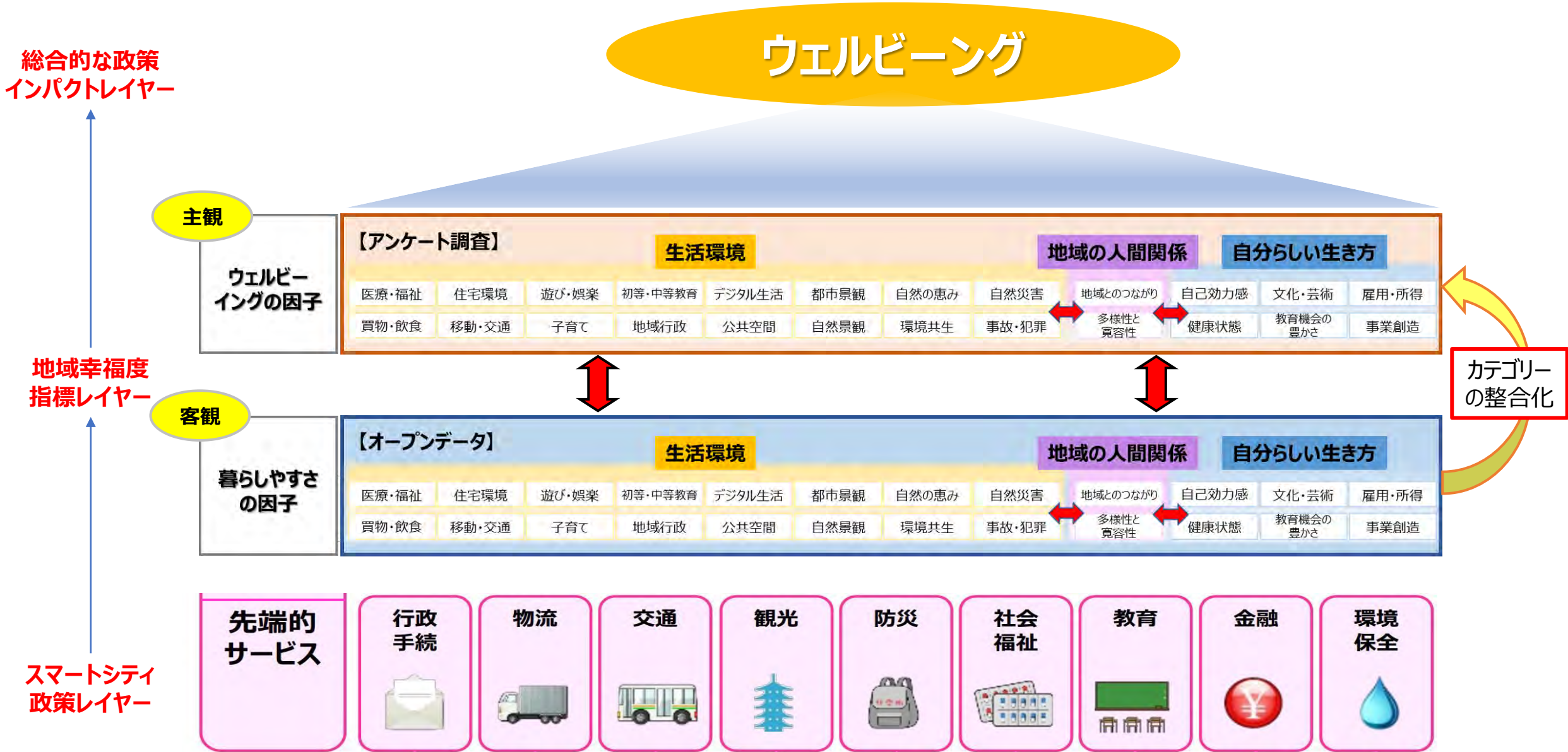
## ■ 獲得的幸福 vs. 協調的幸福

- 獲得的 = 個人の理想的な状況の獲得を重視する西欧的な幸福「観」
- 協調的 = コミュニティの調和やバランスを重視する日本的な幸福「観」

## ■ 主観的幸福 vs. 客観的幸福

- 主観的 = 満足度や感情・思考に関するもの。アンケート調査が主な手法
- 客観的 = 所得額、出生率、労働時間等の客観的データに基づくもの

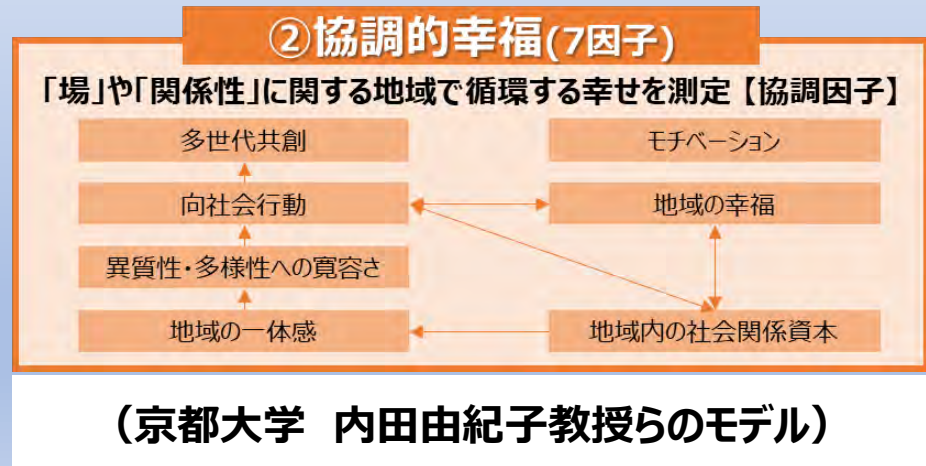
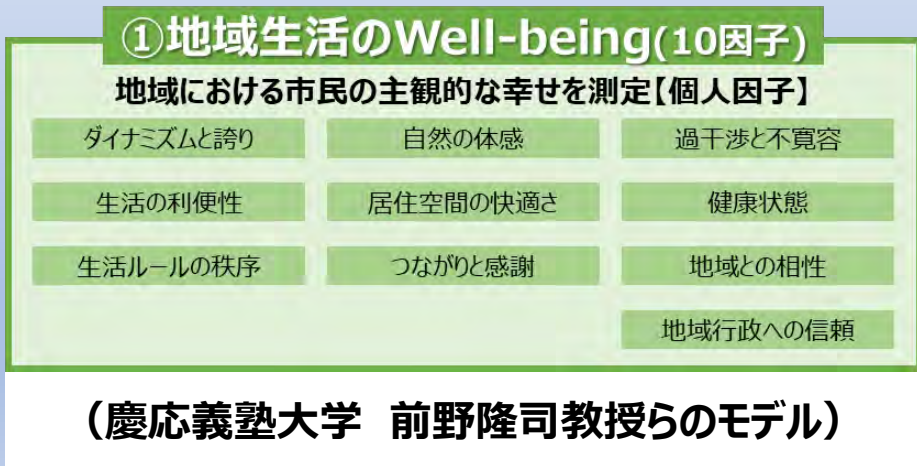
# 地域幸福度指標モデルの全体構成図 ~ 政策と主観・客観指標の関係



# 主観的幸福感のアンケートは、慶応大前野教授 + 京大内田教授 + SCIJで構成

総合的な政策  
インパクトレイヤー

## ウェルビーイング



# OASISでは、地域のウェルビーイングを、マルチレベルで把握していく



# 地域におけるウェルビーイング

```
graph TD; A[地域におけるウェルビーイング] --- B[地域の人間関係]; A --- C[自分らしい生き方]; A --- D[生活環境  
(都市環境 + 自然環境)]; B --- D; C --- D;
```

地域の人間関係

自分らしい生き方

生活環境

(都市環境 + 自然環境)



# 地域幸福度指標の概念と導入目的

- スマートティ・まちづくりにおける「人間中心主義」を明確化
- 市民の視点から「暮らしやすさ・幸福感」を数値化・可視化
- ランキングではなく、自治体が「個性を磨く」機会を創出
- WHO等の国際的な枠組みを導入
- 客観と主観データの両方を活用。無料でオープン化
- まちづくりのEBPM・ワイススペンディングに役立てる

# SCIJのホームページから地域幸福度（Well-Being）指標ダッシュボードへ

<https://www.sci-japan.or.jp/LWCI/index.html>



法人概要

エグゼクティブ  
アドバイザー

会員一覧

イベント・報告

入会案内  
問い合わせ

ENGLISH

会員サイト  
ログイン

## 地域幸福度（Well-Being）指標 （Liveable Well-Being City指標®）

ダッシュボード

データダウンロード

アンケート設問票

🔗 お問合せはこちら



地域幸福度（Well-Being）指標とは



利活用ガイドブック



ダッシュボード



データダウンロード



アンケート設問票



# 地域幸福度（Well-Being）指標 ダッシュボードのホーム画面

「市区町村版」と「都道府県版」のふたつがリリースされている

## 地域幸福度(Well-Being)指標 ダッシュボード (市区町村版)

※閲覧したい項目をクリック

総合(幸福度・満足度)

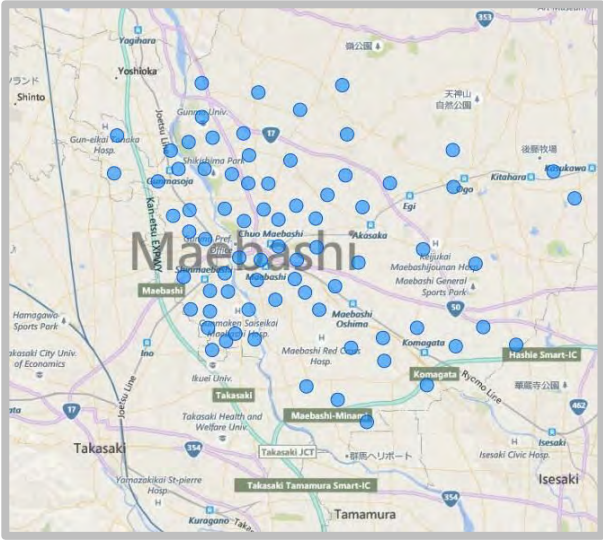
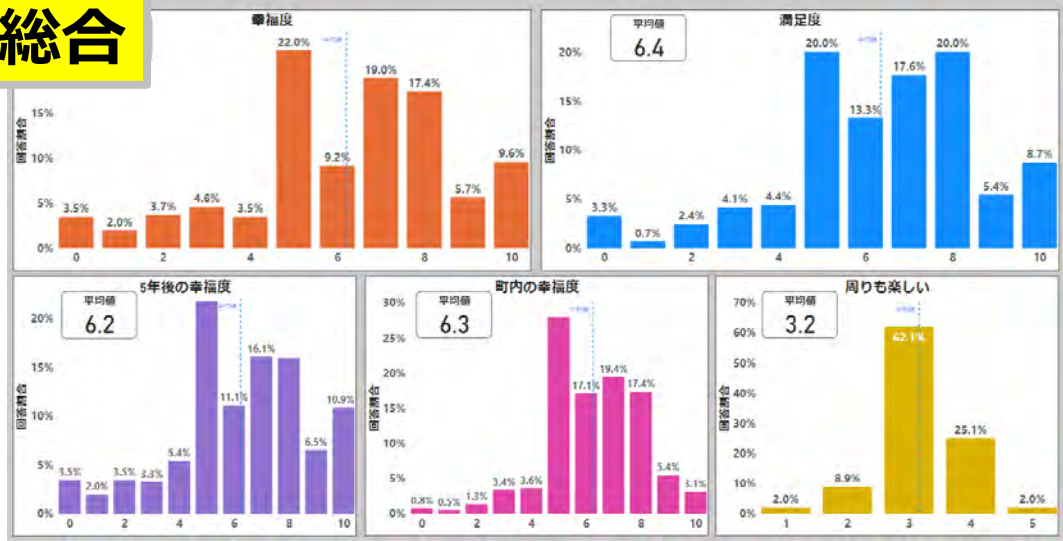
因子別

主観詳細

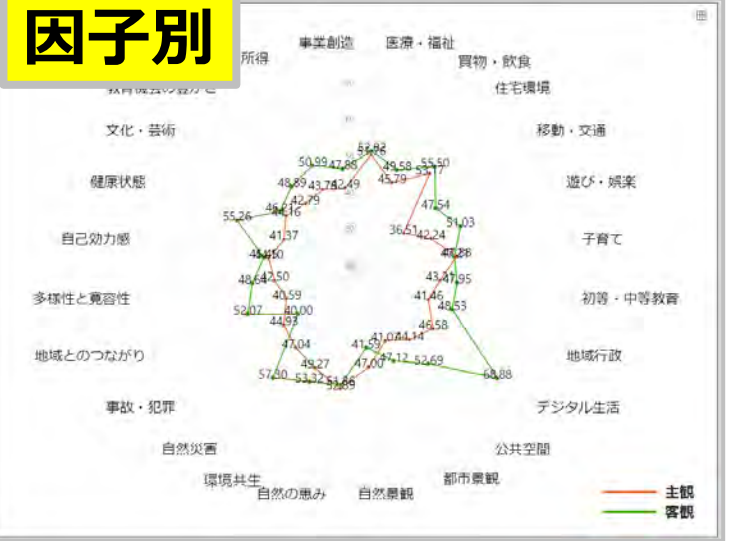
客観詳細

# ダッシュボード全体像 ~ 4つの画面が用意されている

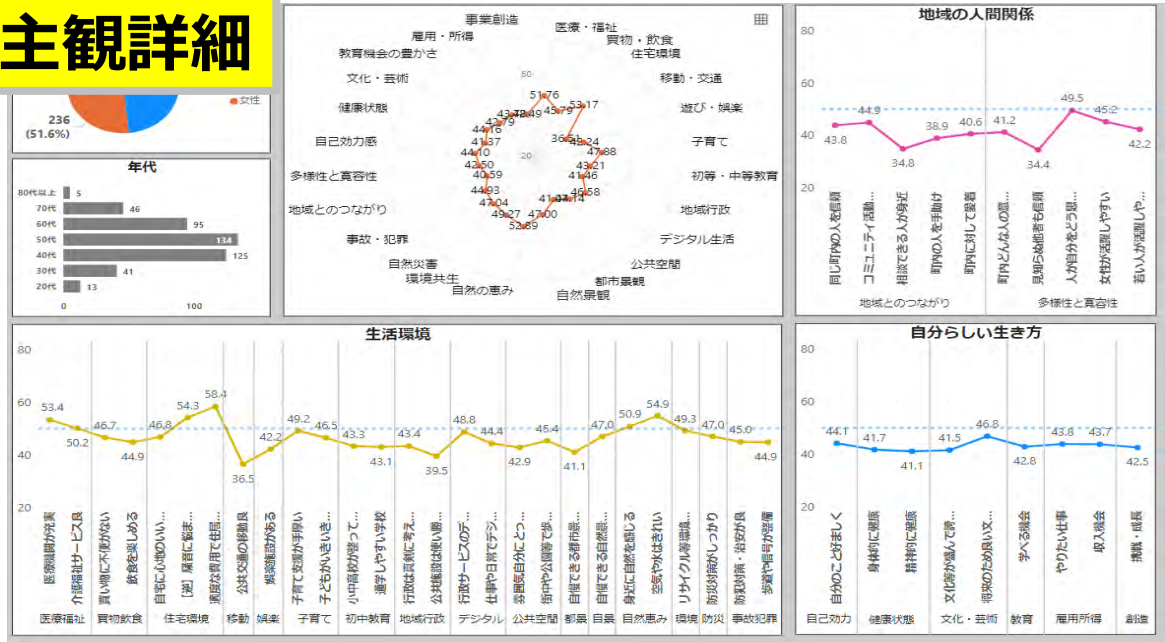
## 総合



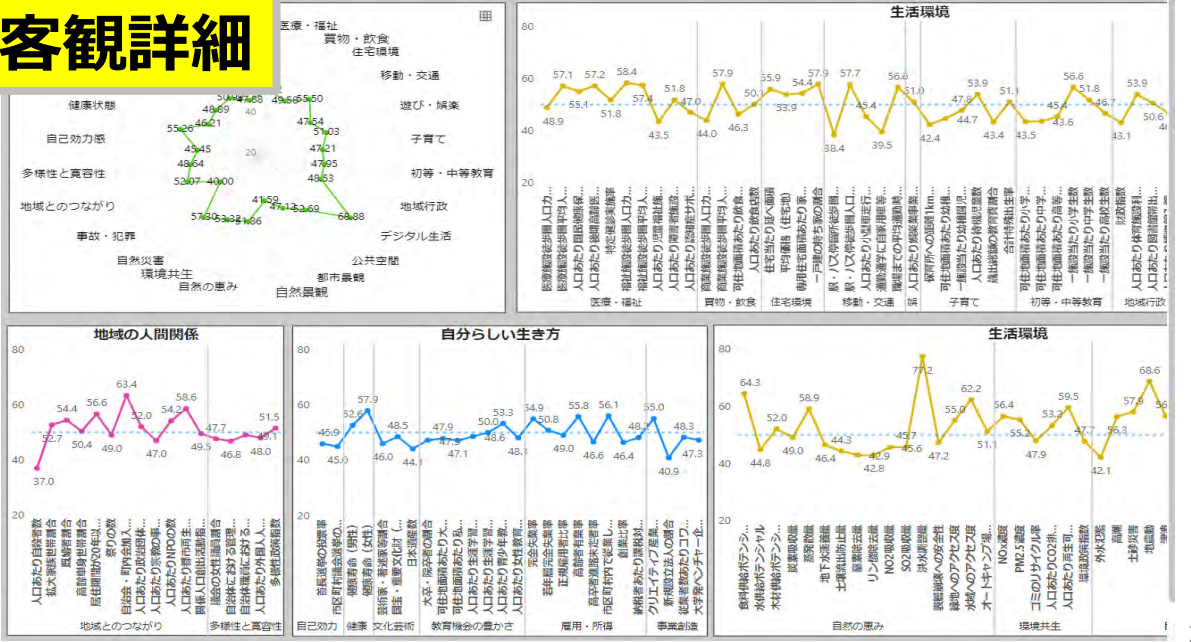
## 因子別



## 主観詳細

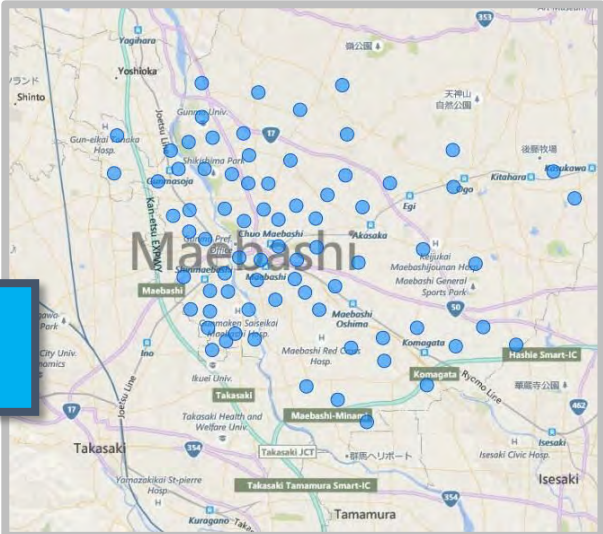
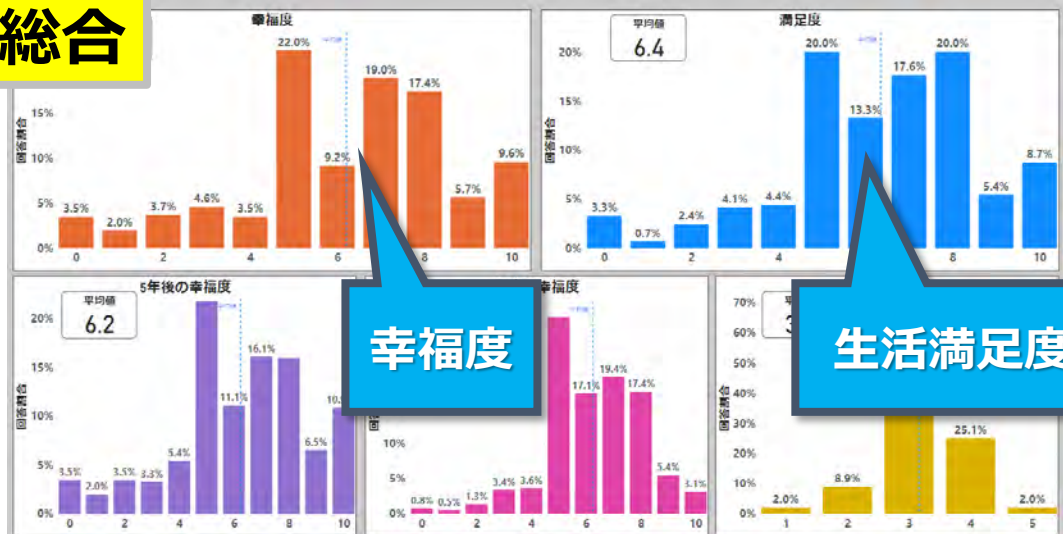


## 客観詳細



# ダッシュボード全体像 ~ 4つの画面が用意されている

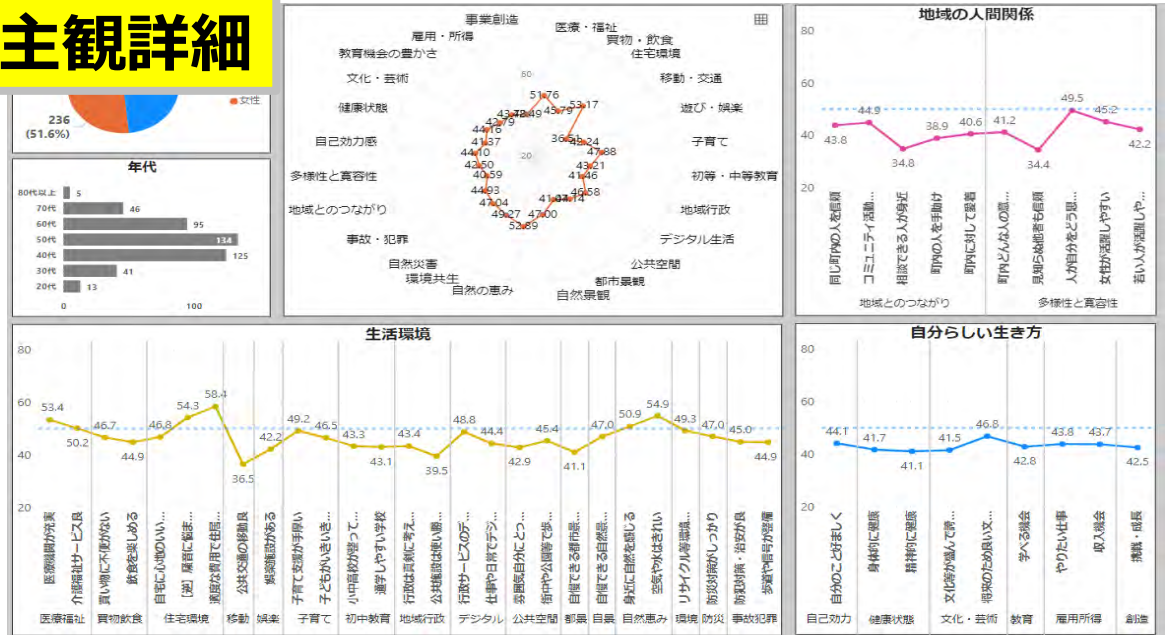
## 総合



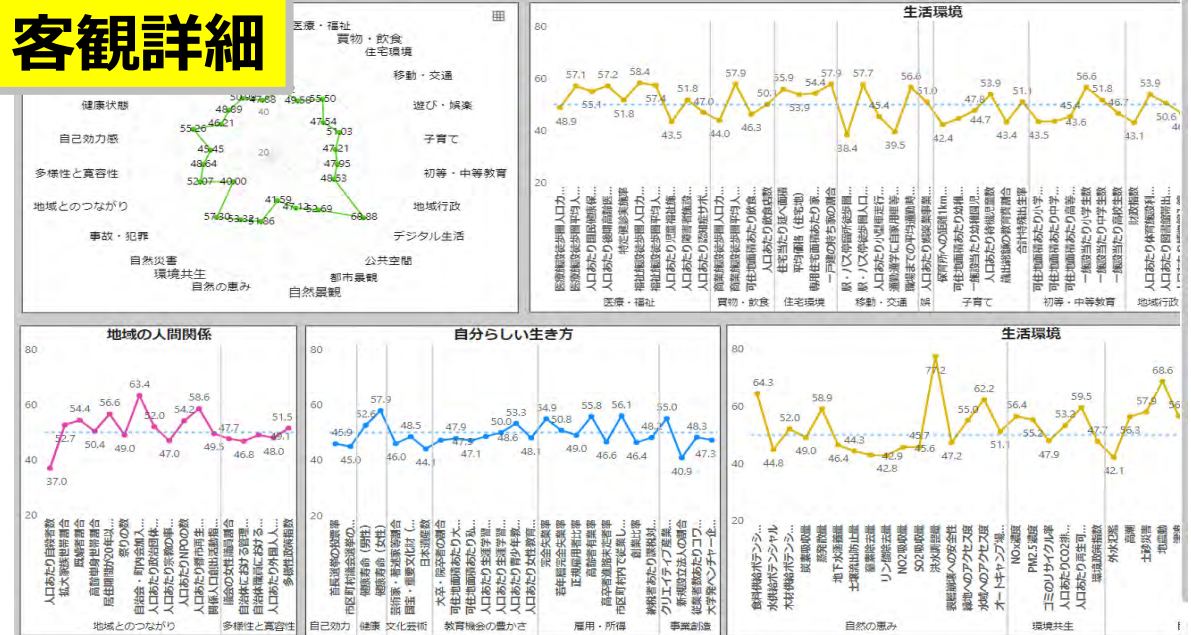
## 因子別



## 主観詳細

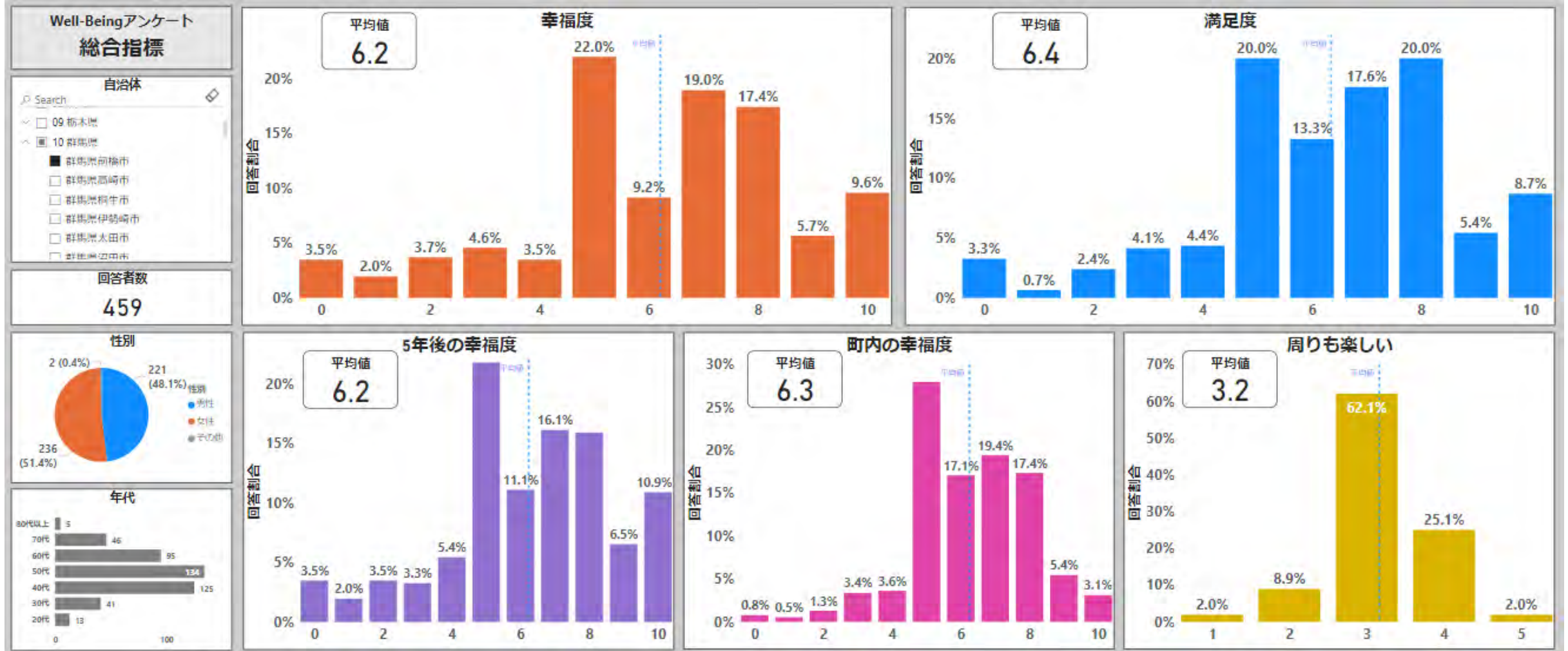


## 客観詳細

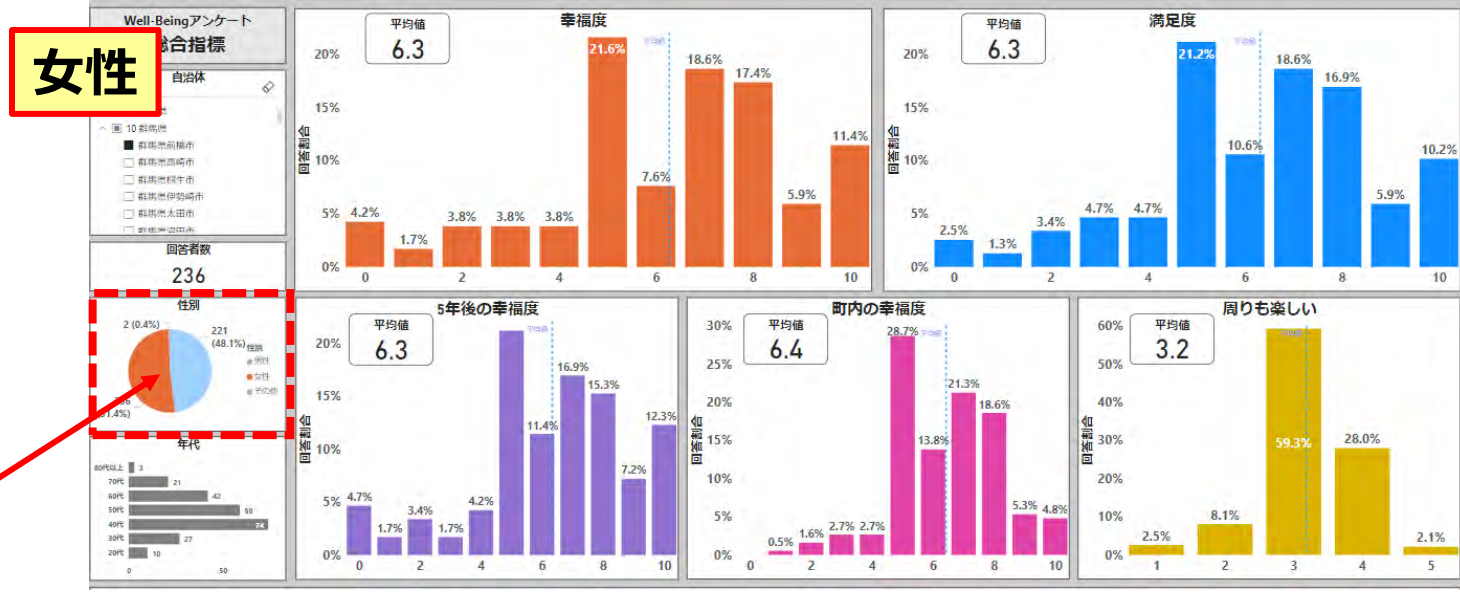
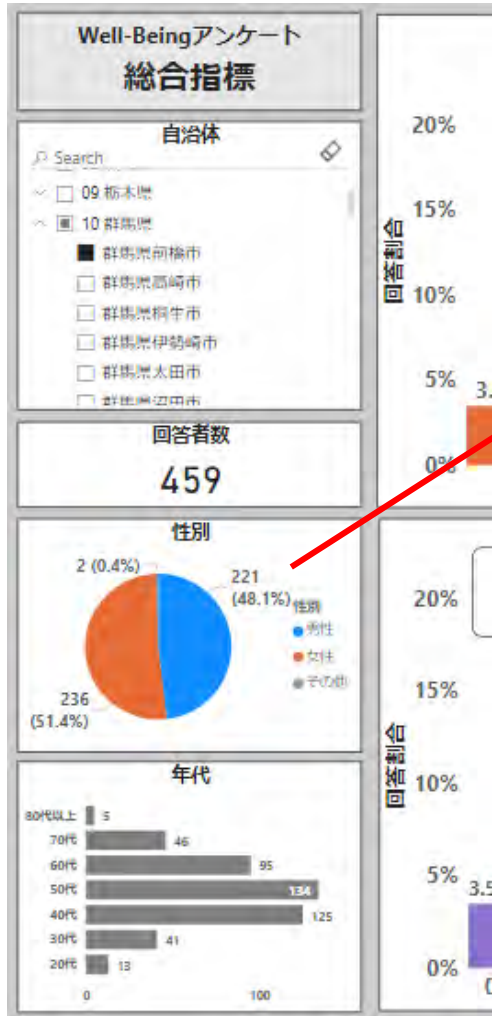




# ダッシュボード「総合」(上半分) 前橋市のアンケート結果から



# ダッシュボード「総合」(上半分) 性別・年代別の幸福度等を抽出可能

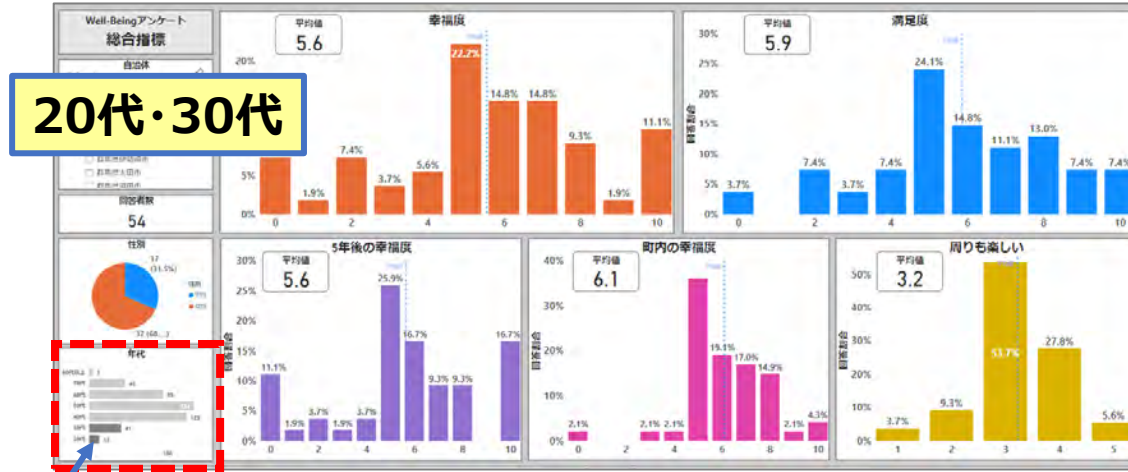
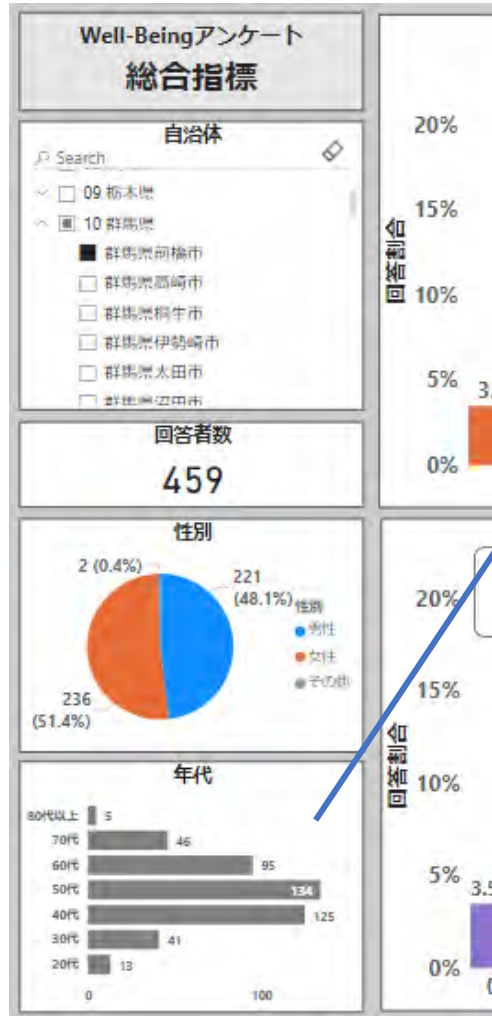




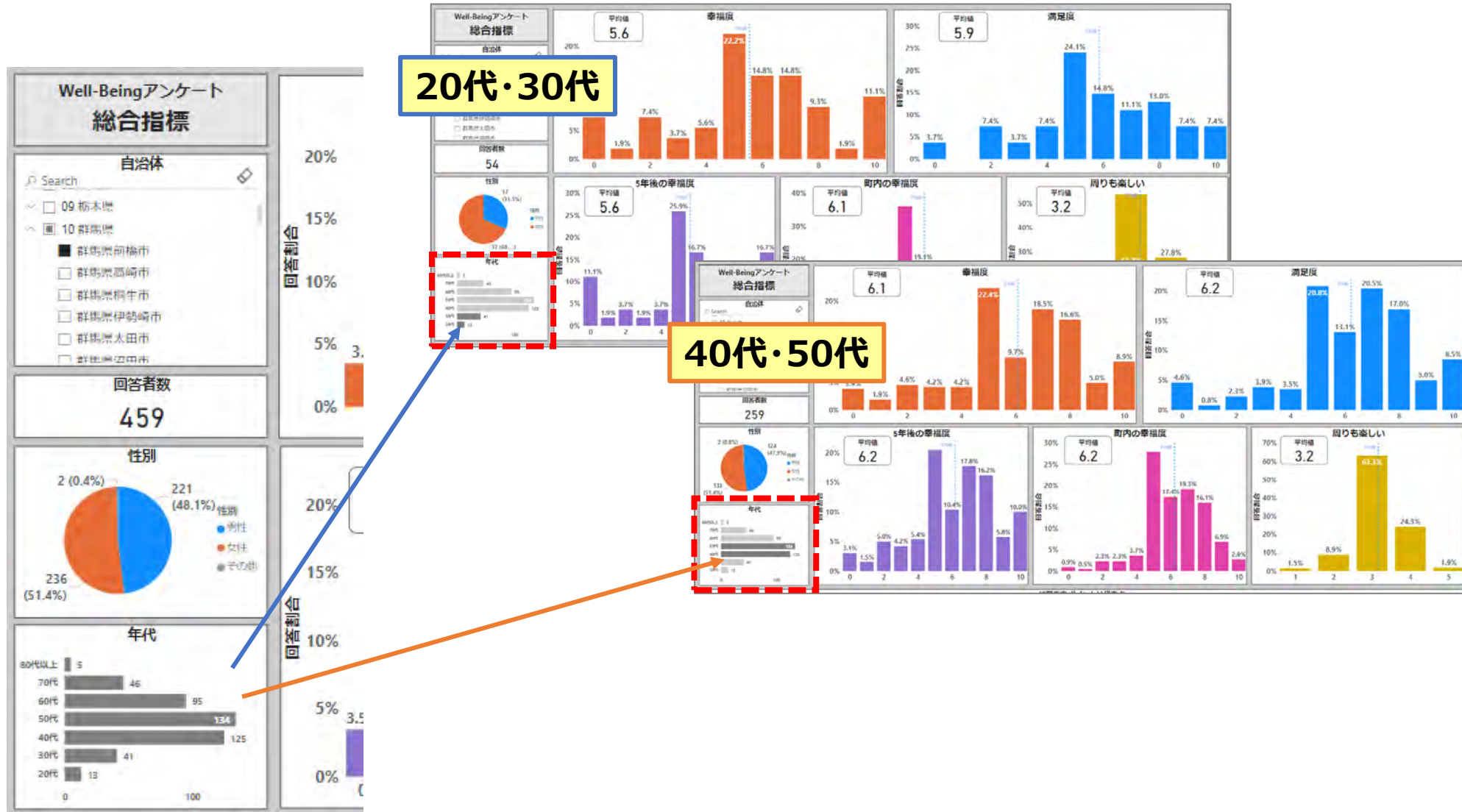
# ダッシュボード「総合」(上半分) 性別・年代別の幸福度等を抽出可能



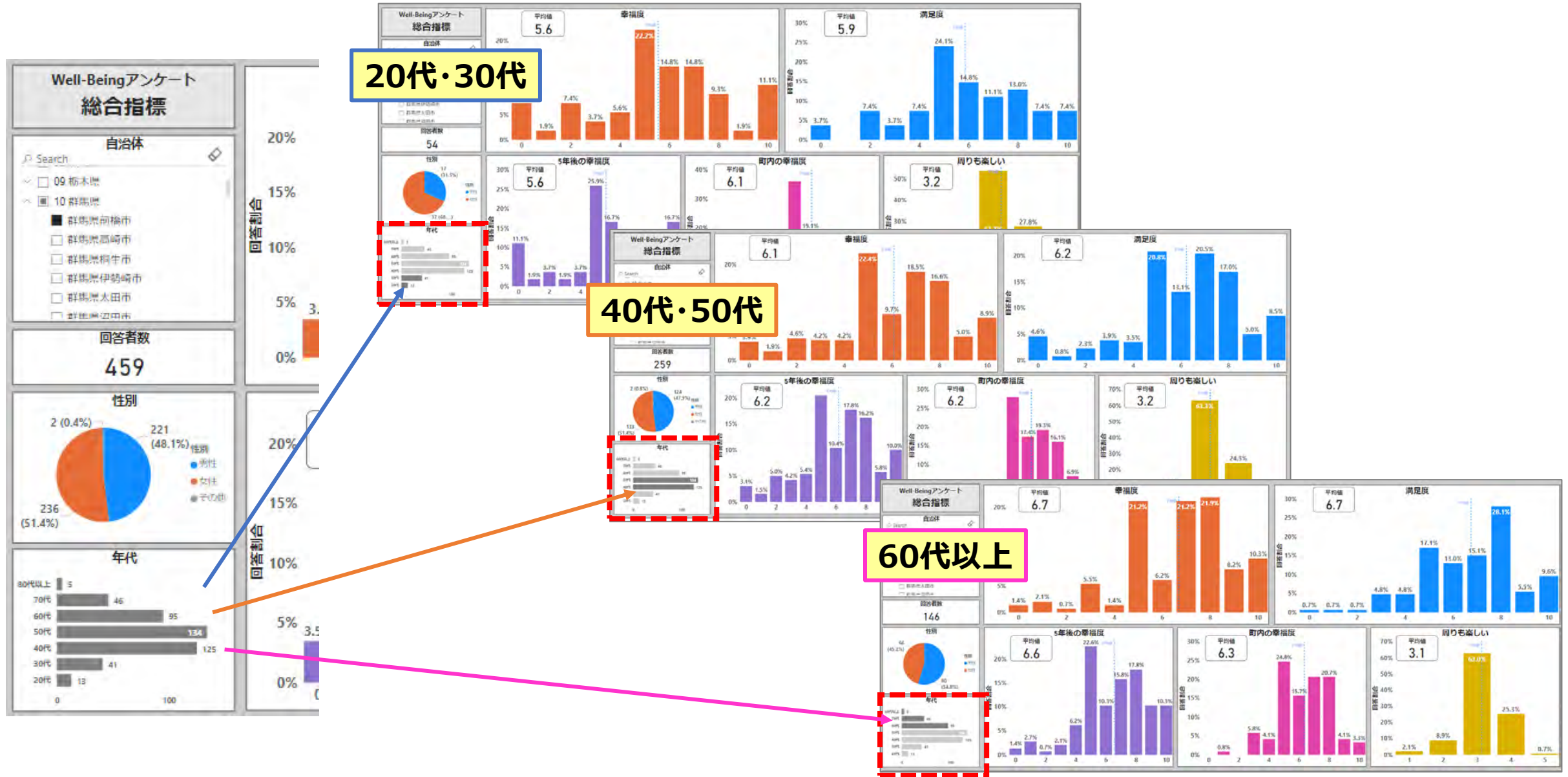
# ダッシュボード「総合」(上半分) 性別・年代別の幸福度等を抽出可能



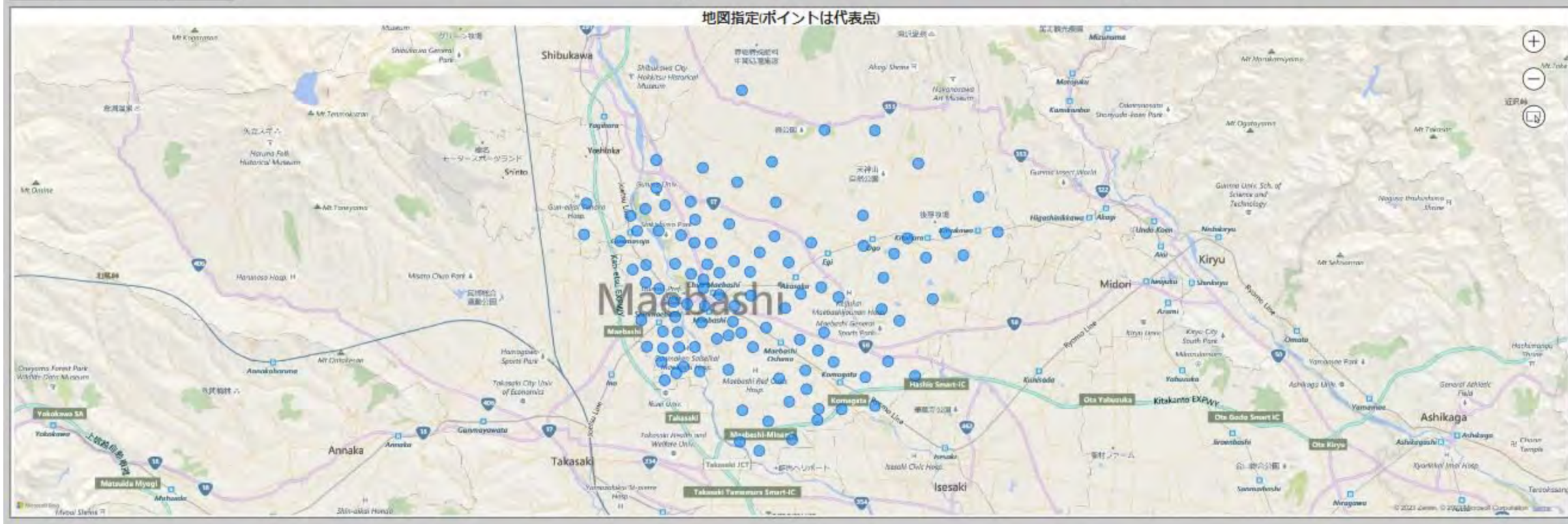
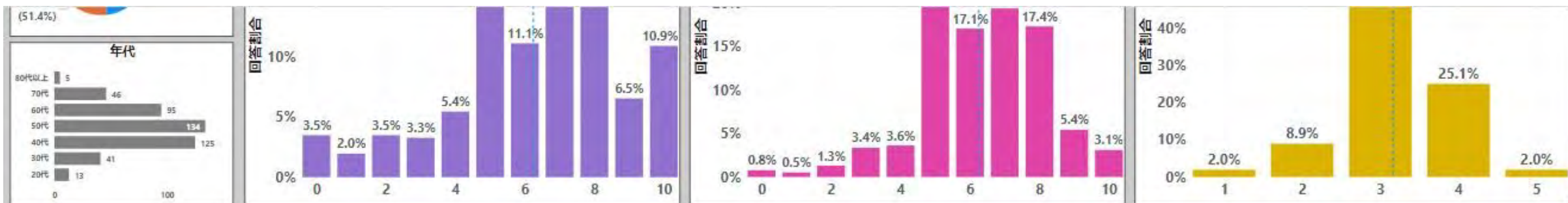
# ダッシュボード「総合」(上半分) 性別・年代別の幸福度等を抽出可能



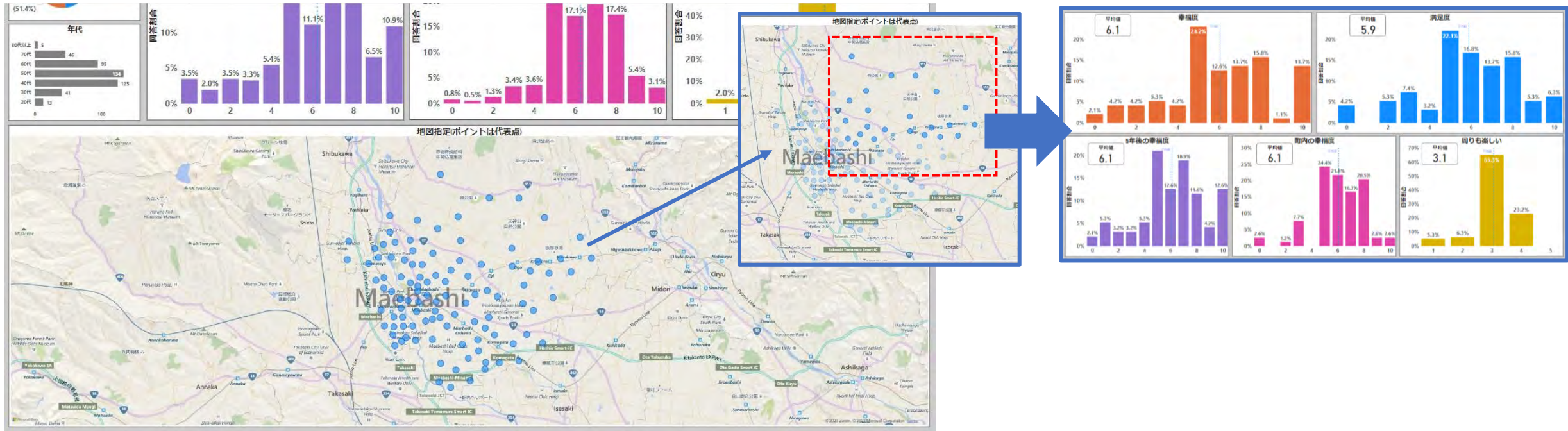
# ダッシュボード「総合」(上半分) 性別・年代別の幸福度等を抽出可能



# ダッシュボード「総合」(下半分) 前橋市のアンケート結果から



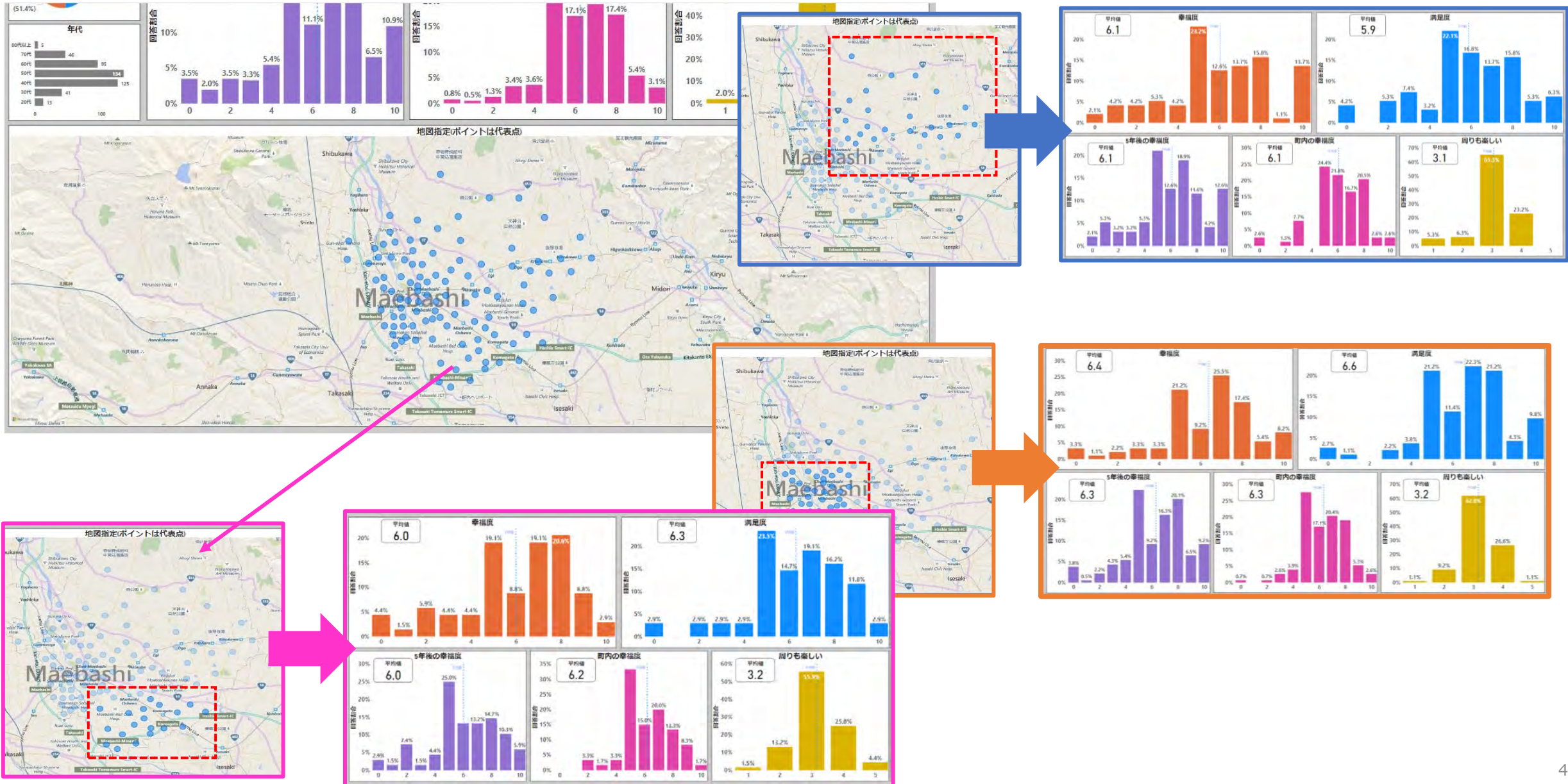
# ダッシュボード「総合」(下半分) 任意の地区の幸福度等を抽出可能



# ダッシュボード「総合」(下半分) 任意の地区の幸福度等を抽出可能

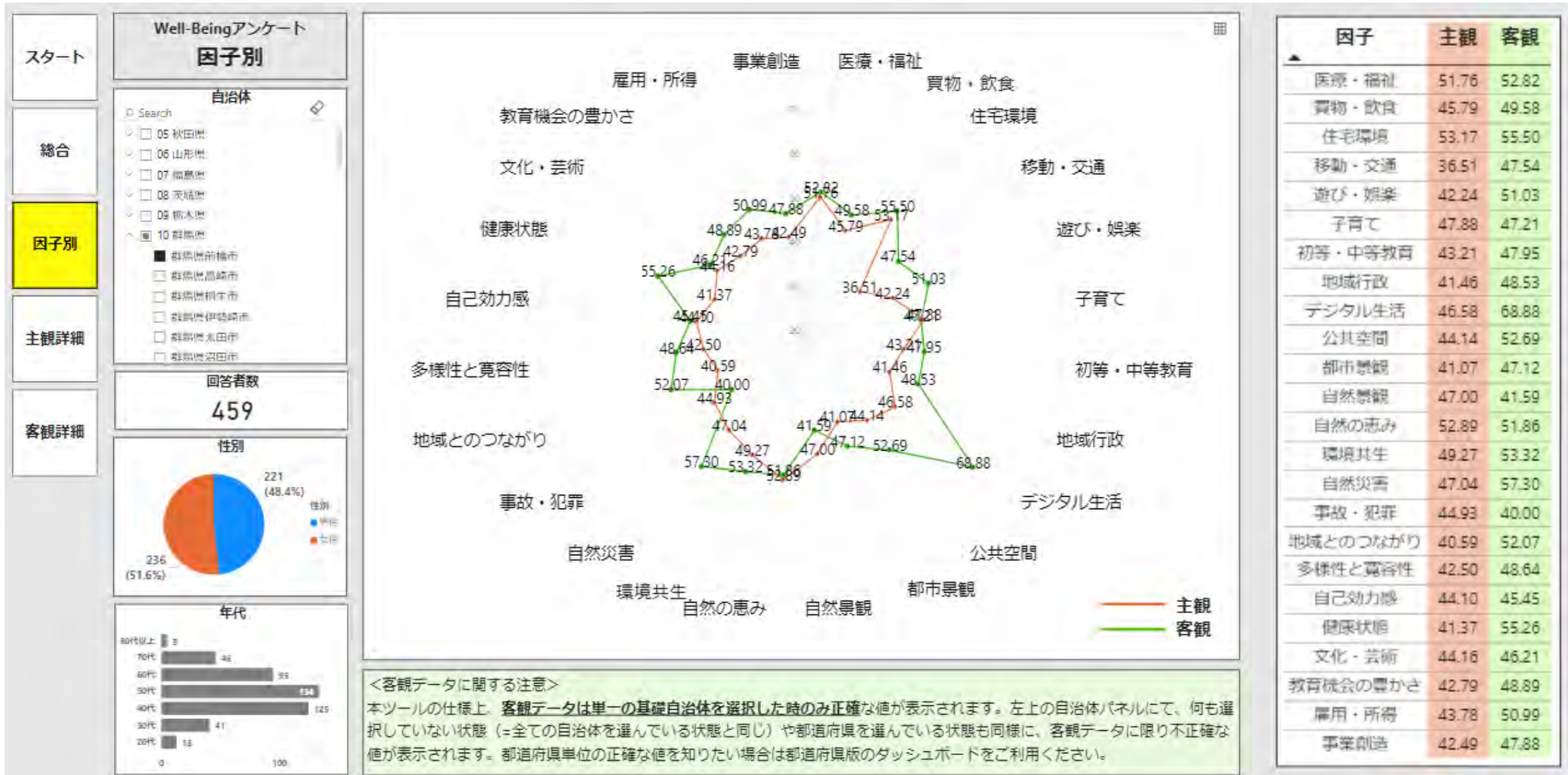


# ダッシュボード「総合」(下半分) 任意の地区の幸福度等を抽出可能

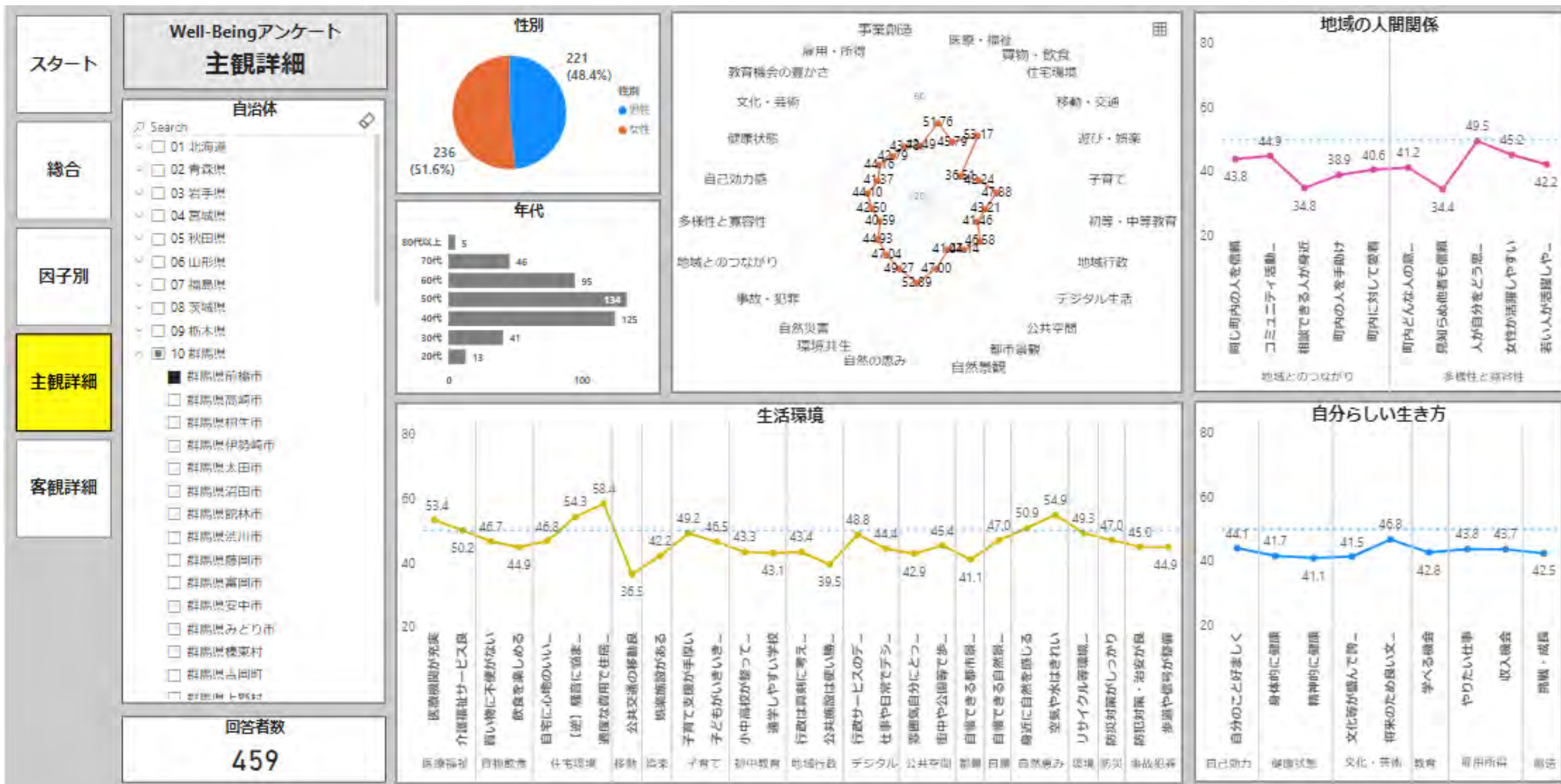




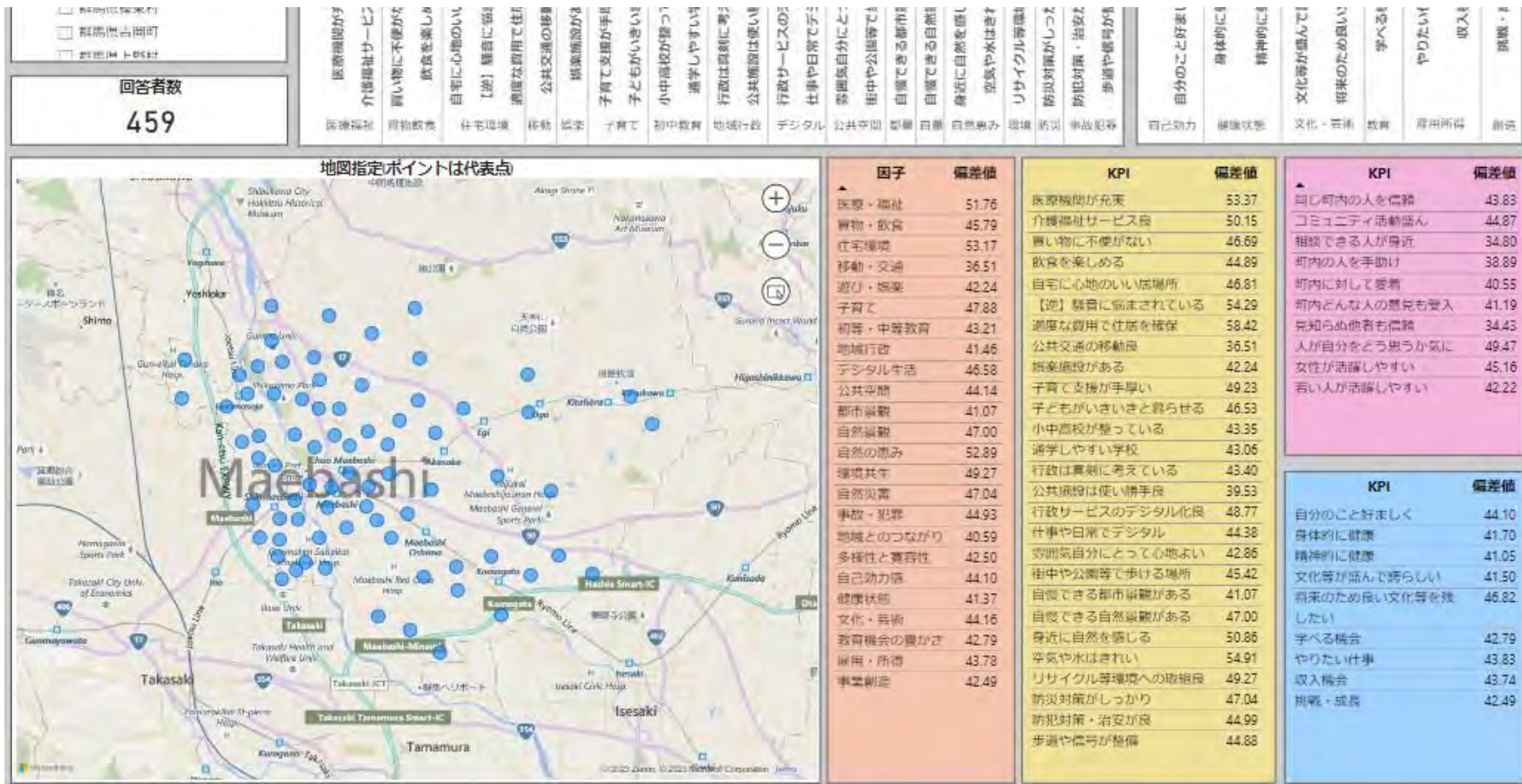
# ダッシュボード「因子別」(上半分) 幸福度・生活満足度の因子を把握する



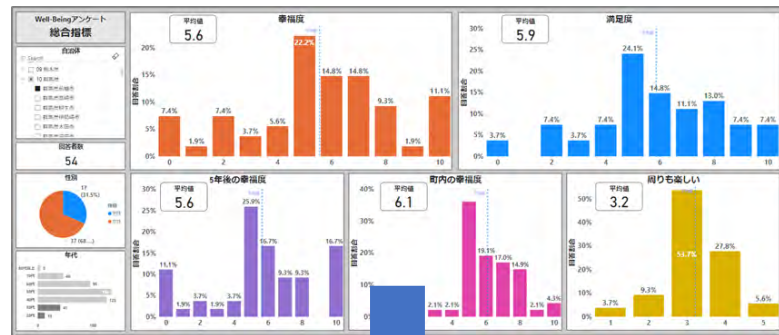
# ダッシュボード「主観詳細」(上半分) アンケート項目ひとつひとつのスコア(偏差値)へ掘り下げる



# ダッシュボード「主観詳細」(下半分) スコア(偏差値) 詳細を見る



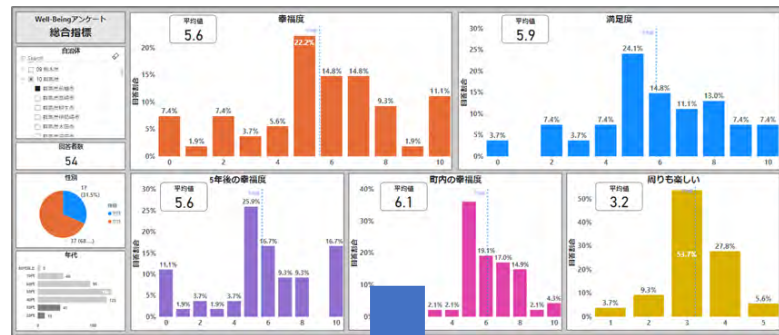
# 年代別の幸福度（主観的幸福度）を24の因子にブレイクダウンする



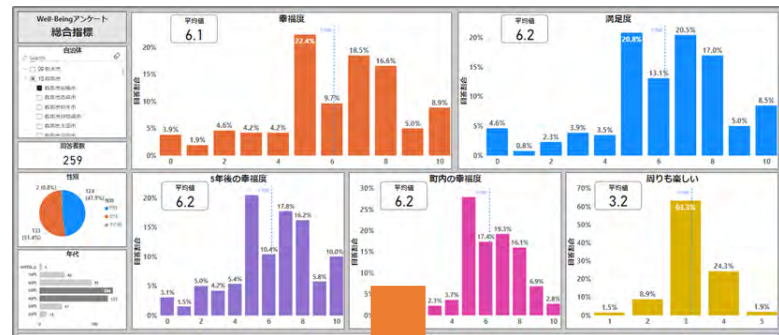
**【20代・30代】**



# 年代別の幸福度（主観的幸福度）を24の因子にブレイクダウンする



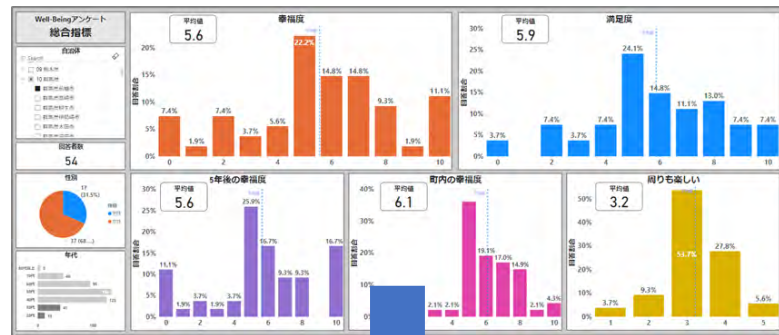
**【20代・30代】**



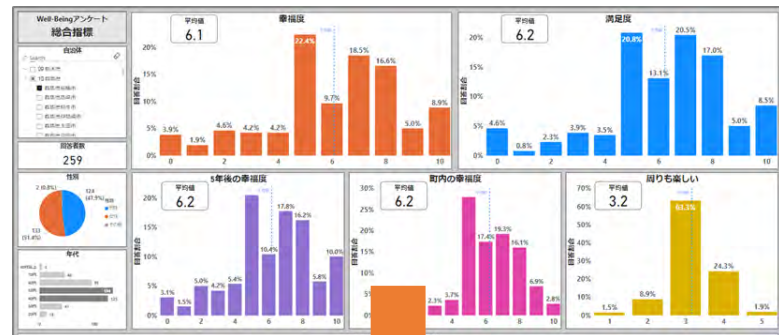
**【40代・50代】**



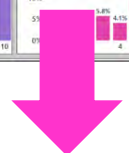
# 年代別の幸福度（主観的幸福度）を24の因子にブレイクダウンする



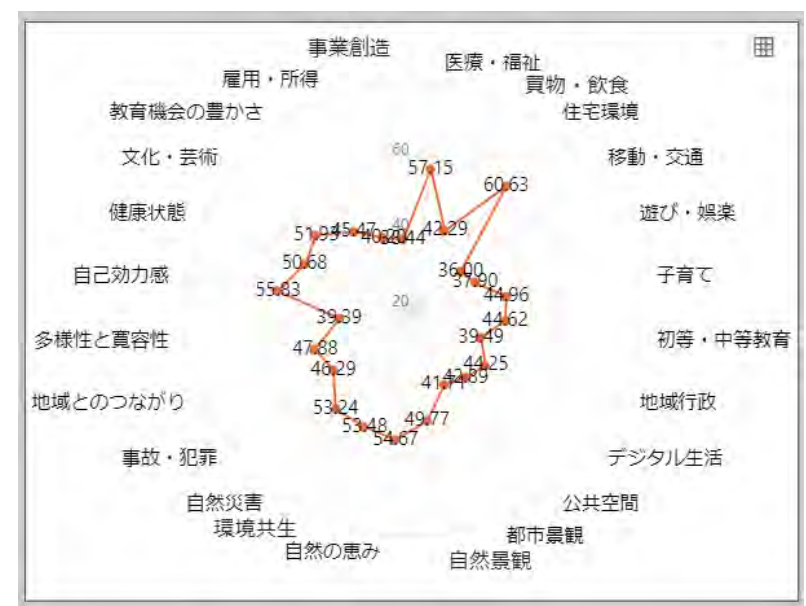
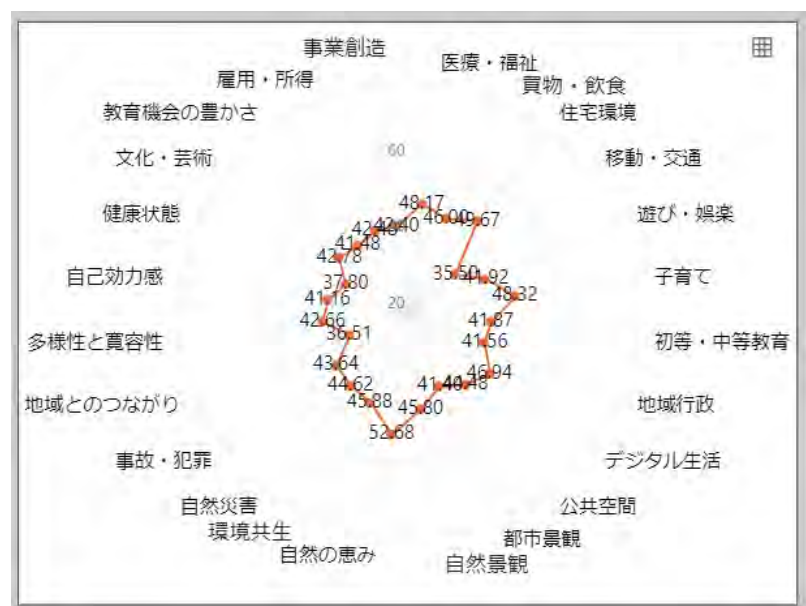
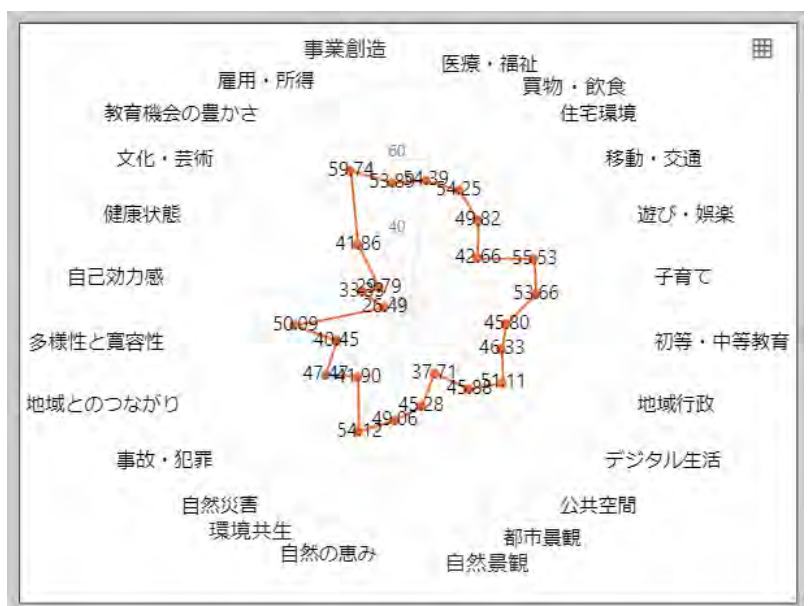
**【20代・30代】**



**【40代・50代】**



**【60代以上】**



# ダッシュボード「客観詳細」(上半分) 客観指標の詳細を見る

スタート

総合

因子別

主観詳細

客観詳細

Well-Beingアンケート  
**客観**

自治体

Search

- 01 北海道
- 02 青森県
- 03 岩手県
- 04 宮城県
- 05 秋田県
- 06 山形県
- 07 福島県
- 08 茨城県
- 09 栃木県
- 10 群馬県

群馬県前橋市

- 群馬県高崎市
- 群馬県桐生市
- 群馬県伊勢崎市
- 群馬県太田市
- 群馬県沼田市
- 群馬県館林市
- 群馬県渋川市
- 群馬県藤岡市
- 群馬県高崎市
- 群馬県安中市
- 群馬県みどり市
- 群馬県榛東村
- 群馬県吉岡町
- 群馬県上野村
- 群馬県神流町
- 群馬県下仁田町
- 群馬県南牧村
- 群馬県甘楽町
- 群馬県中之条町
- 群馬県長岡市

**Well-Being アンケート 客観**

職業創造: 50.99, 52.82, 49.65, 55.50

医療・福祉: 47.64, 51.03, 47.21, 48.53

雇用・所得: 55.26, 46.21, 45.45, 48.64

買物・飲食: 49.09, 46.08, 49.65, 55.50

住宅環境: 47.64, 51.03, 47.21, 48.53

教育機会の豊かさ: 55.26, 46.21, 45.45, 48.64

文化・芸術: 49.09, 46.08, 49.65, 55.50

健康状態: 47.64, 51.03, 47.21, 48.53

自己効力感: 55.26, 46.21, 45.45, 48.64

多様性と寛容性: 49.09, 46.08, 49.65, 55.50

地域とのつながり: 47.64, 51.03, 47.21, 48.53

地域行政: 55.26, 46.21, 45.45, 48.64

デジタル生活: 49.09, 46.08, 49.65, 55.50

自然災害: 47.64, 51.03, 47.21, 48.53

環境共生: 55.26, 46.21, 45.45, 48.64

自然の恵み: 49.09, 46.08, 49.65, 55.50

都市景観: 47.64, 51.03, 47.21, 48.53

自然景観: 55.26, 46.21, 45.45, 48.64

**生活環境**

医療施設: 48.9, 57.1, 55.4, 57.2, 58.4, 57.4, 51.8, 47.0, 44.0, 46.3, 50.1, 55.9, 54.4, 57.9, 57.7, 45.4, 39.5, 56.6, 51.0, 42.4, 47.8, 53.9, 51.1, 43.5, 43.6, 51.8, 53.9, 45.4, 46.7, 43.1, 50.6, 46.6, 59.0, 80.0, 67.7, 46.5, 51.2, 53.6, 59.4, 71.2, 41.6

医療施設: 48.9, 57.1, 55.4, 57.2, 58.4, 57.4, 51.8, 47.0, 44.0, 46.3, 50.1, 55.9, 54.4, 57.9, 57.7, 45.4, 39.5, 56.6, 51.0, 42.4, 47.8, 53.9, 51.1, 43.5, 43.6, 51.8, 53.9, 45.4, 46.7, 43.1, 50.6, 46.6, 59.0, 80.0, 67.7, 46.5, 51.2, 53.6, 59.4, 71.2, 41.6

**地域の間関係**

人口あたり自殺者数: 37.0, 52.7, 54.4, 50.4, 56.6, 49.0, 47.0, 54.2, 58.6, 47.7, 46.8, 48.0, 51.5

人口あたり自殺者数: 37.0, 52.7, 54.4, 50.4, 56.6, 49.0, 47.0, 54.2, 58.6, 47.7, 46.8, 48.0, 51.5

**自分らしい生き方**

首長選挙の投票率: 45.9, 52.6, 57.9, 46.0, 48.5, 44.1, 47.9, 47.1, 50.0, 48.6, 48.1, 54.9, 50.8, 49.0, 55.8, 56.1, 48.2, 55.0, 40.9, 48.3

首長選挙の投票率: 45.9, 52.6, 57.9, 46.0, 48.5, 44.1, 47.9, 47.1, 50.0, 48.6, 48.1, 54.9, 50.8, 49.0, 55.8, 56.1, 48.2, 55.0, 40.9, 48.3

**生活環境**

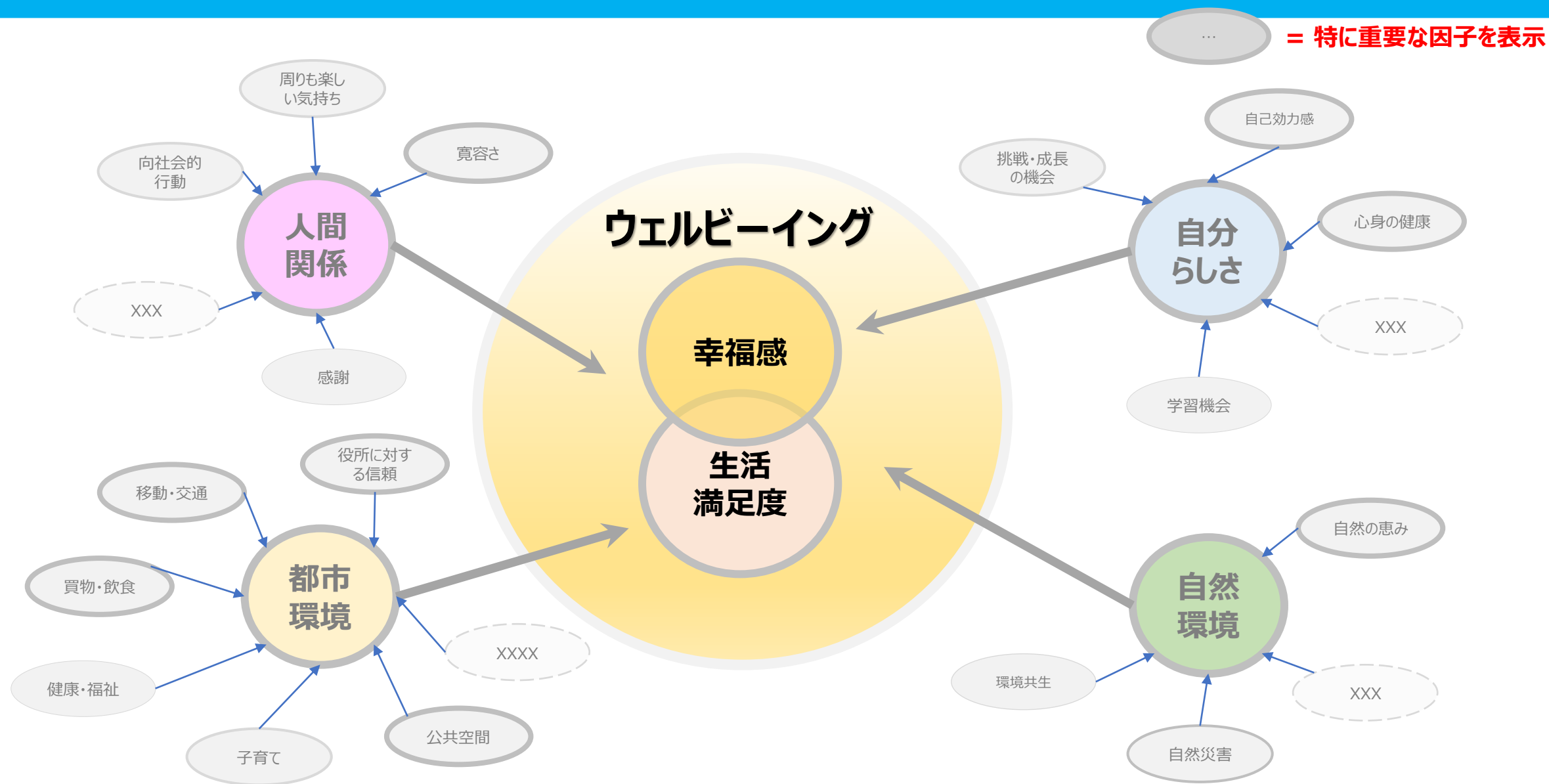
食料供給: 64.3, 44.8, 52.0, 49.0, 58.9, 46.4, 44.3, 42.9, 45.6, 49.7, 77.2, 47.2, 55.0, 62.2, 51.1, 56.4, 55.2, 47.9, 59.5, 47.7, 42.1, 56.3, 57.9, 68.6, 56.5, 55.1, 56.7, 69.5, 68.8, 32.9, 46.4, 20.0, 59.4, 40.6

食料供給: 64.3, 44.8, 52.0, 49.0, 58.9, 46.4, 44.3, 42.9, 45.6, 49.7, 77.2, 47.2, 55.0, 62.2, 51.1, 56.4, 55.2, 47.9, 59.5, 47.7, 42.1, 56.3, 57.9, 68.6, 56.5, 55.1, 56.7, 69.5, 68.8, 32.9, 46.4, 20.0, 59.4, 40.6





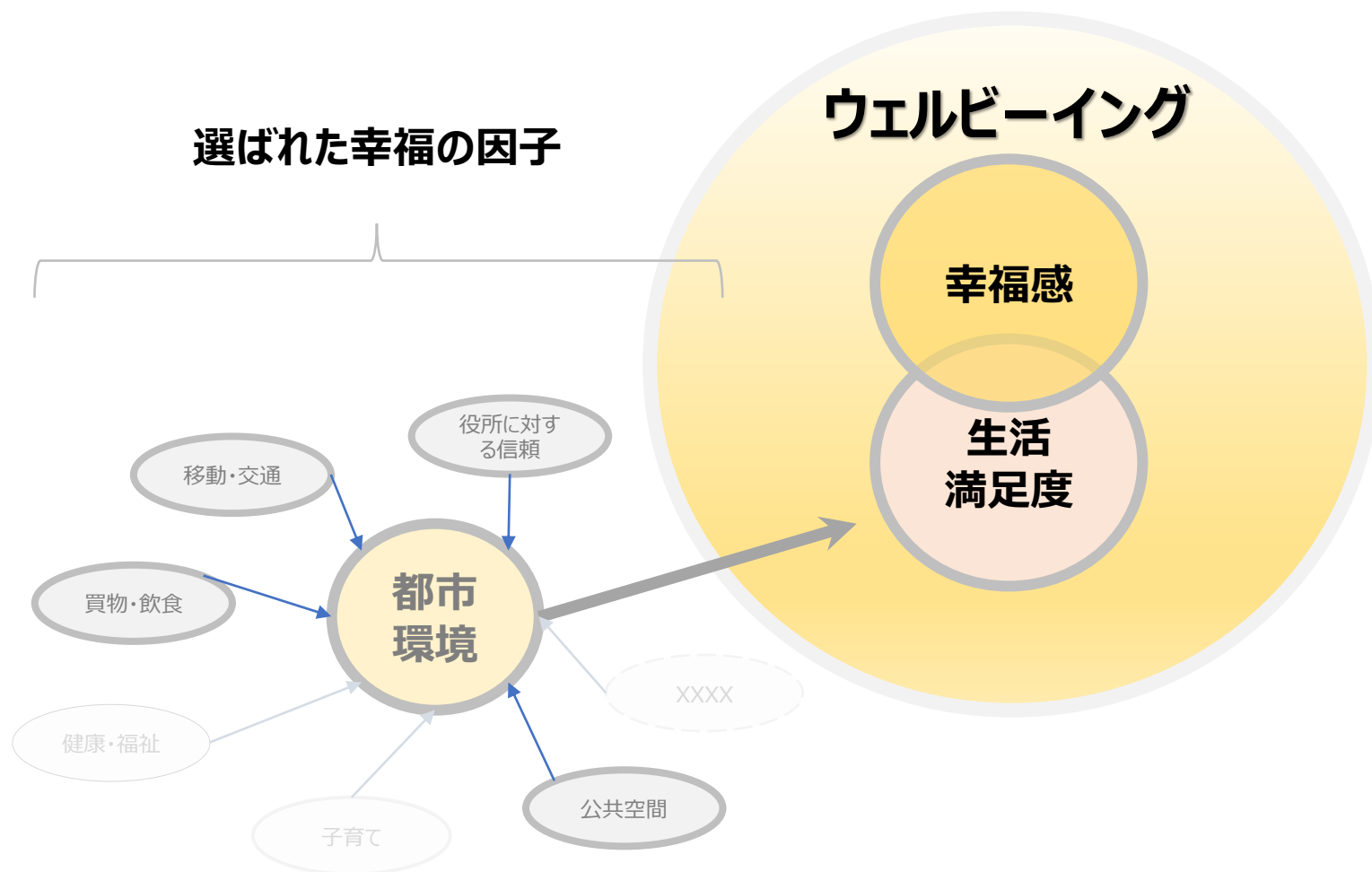
# 市民の幸福感と生活満足度に重要な固有の因子を見つけ出す ⇒ 絞り込み



(参考： OECDの枠組みでは、上記のユー・ダイモニア的な幸福感と生活満足度に加えて、個人の短期的な「感情」が含まれているが、SCIモデルではスマートシティにおける政策介入では対象となり難く、モデルのわかり易さを優先する立場から省略している)

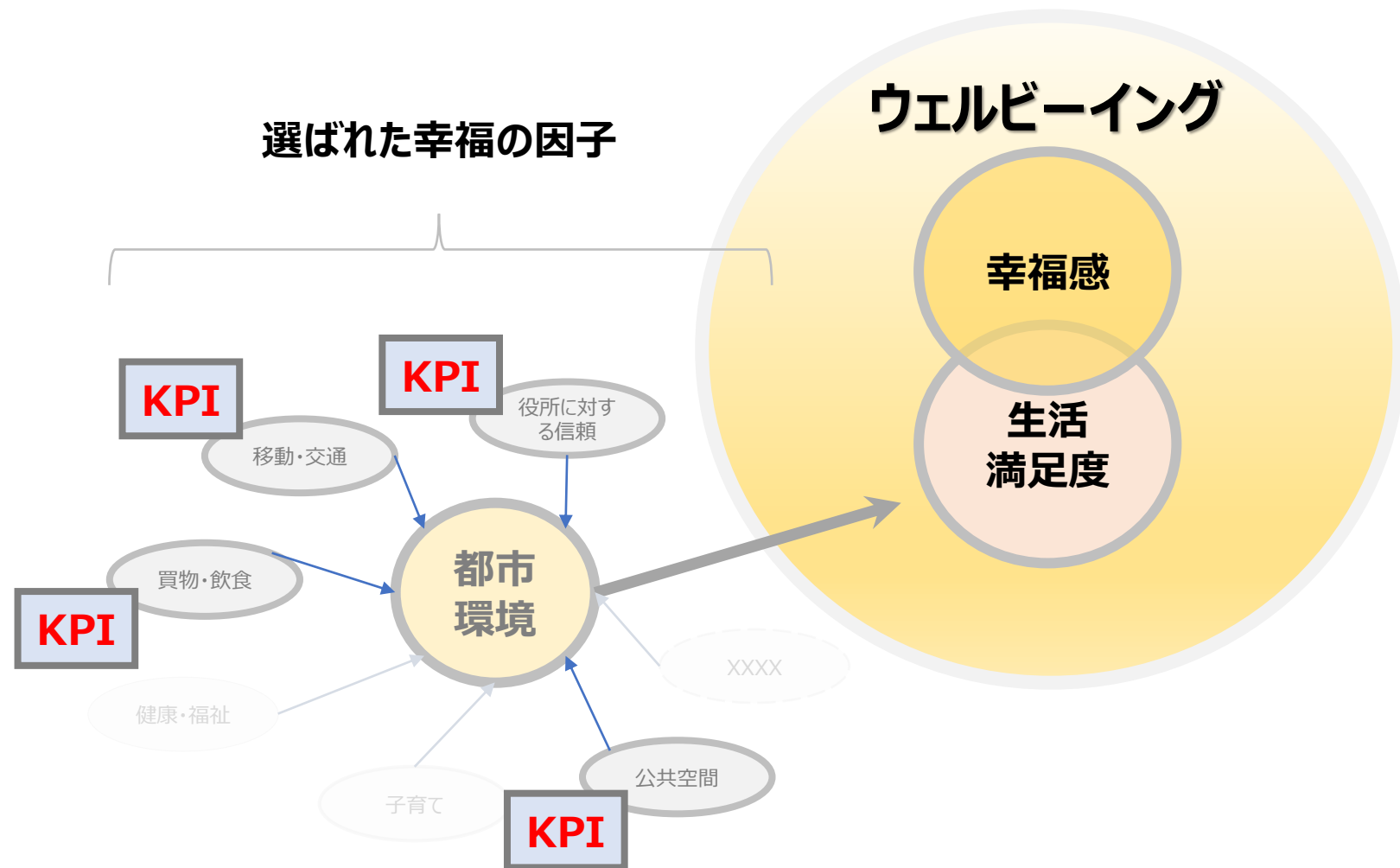
# 主観アンケート結果に基づき、幸福感と生活満足度の重要な因子を特定する

- 市民にとって重要な因子を、“Critical-to-Well-Being”、“Critical to Life Satisfaction”と呼ぶ。



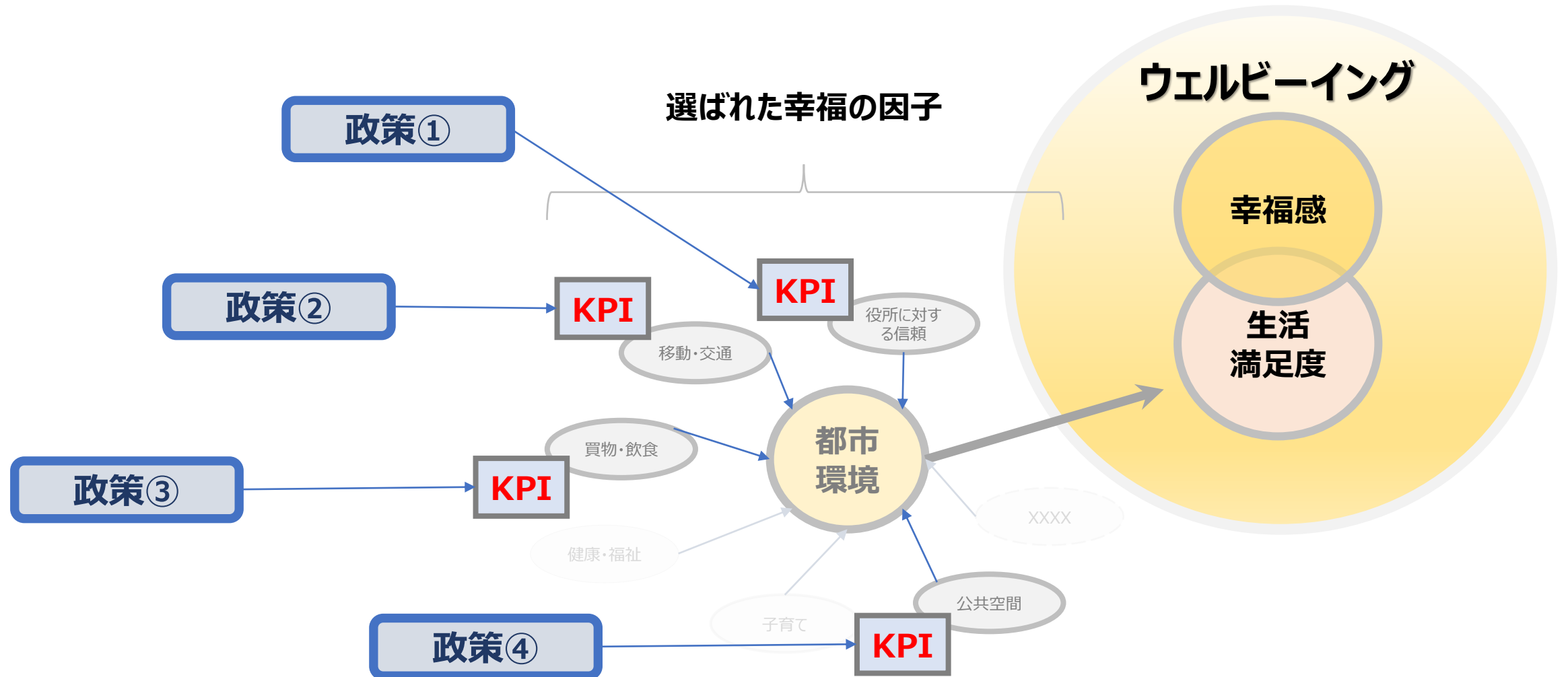
# 次に、重要な因子にのみ客観指標を設定していく

- 抽出した市民にとって重要な因子に対し、地域幸福度指標の客観指標（KPI）を追加していく。



# そして、重要な因子に対して、政策をデザインし介入する（KPIと政策のペア化）

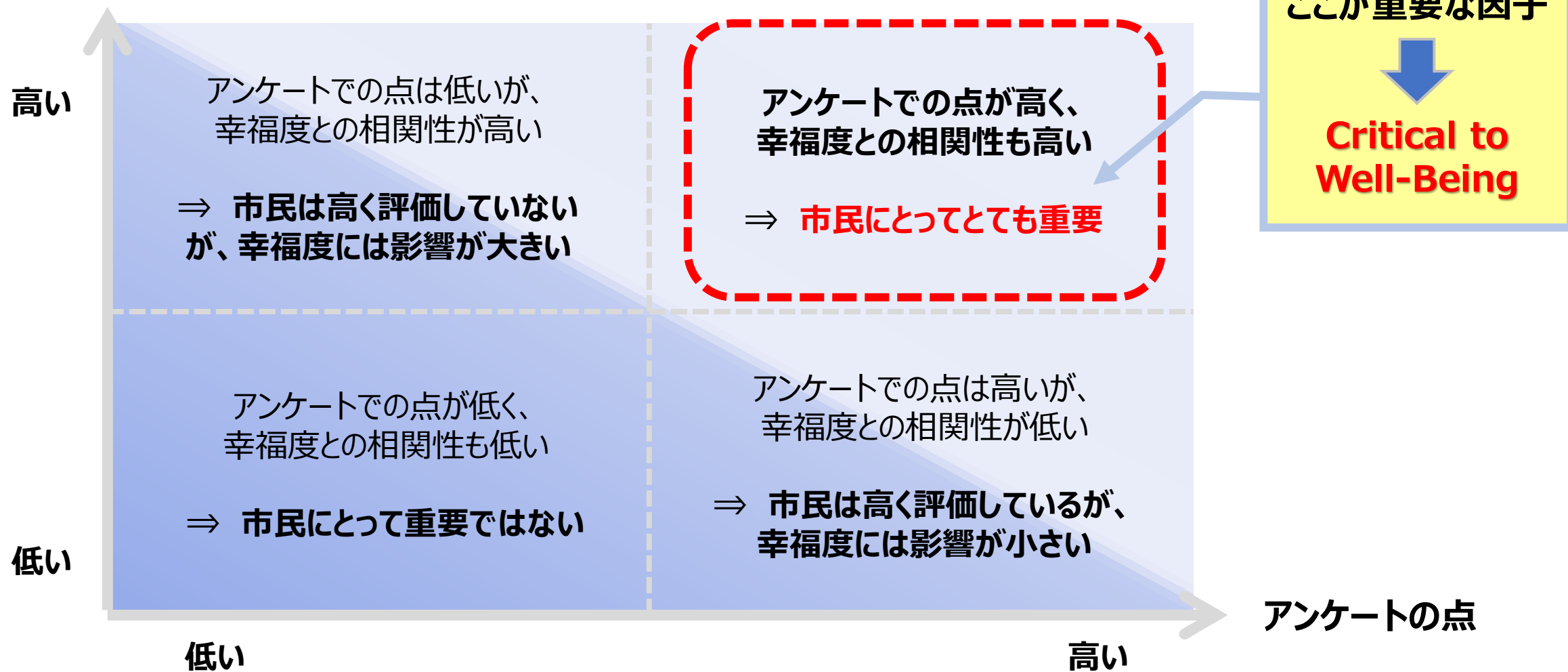
- 主観アンケートで抽出した重要な因子に対し、客観指標（KPI）の目標値達成を目指す政策デザイン・介入を行う。



# どのように幸福度と生活満足度に影響を及ぼす因子を見つけ出すか？

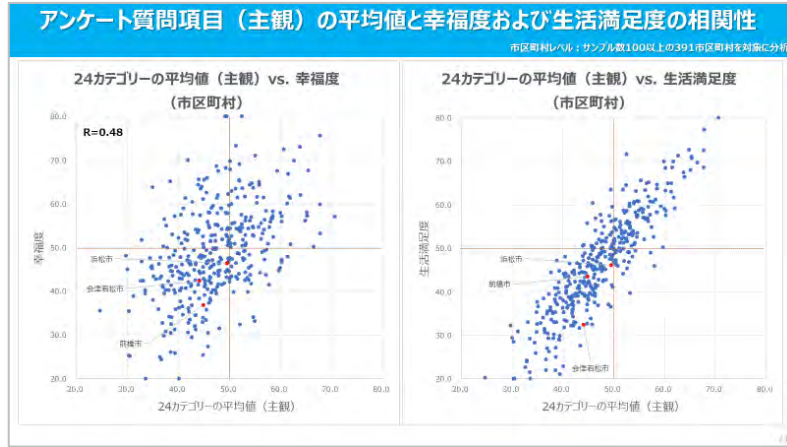
- 主観的幸福感のアンケート結果分析し、「アンケートの点が高く」かつ「幸福度と相関性が高い」因子を抽出する。

## 「幸福度」との相関性

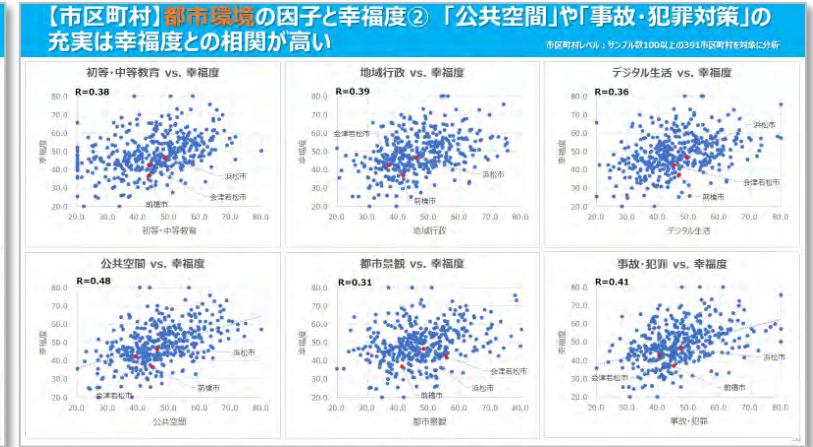
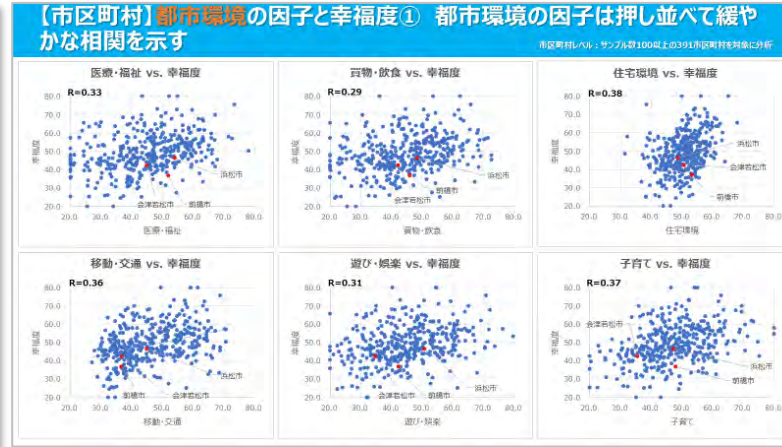


# 幸福度や生活満足度と24の因子（アンケートカテゴリー）の相関分析等から、幸福度や生活満足度に関係性の深い因子の確認を実施

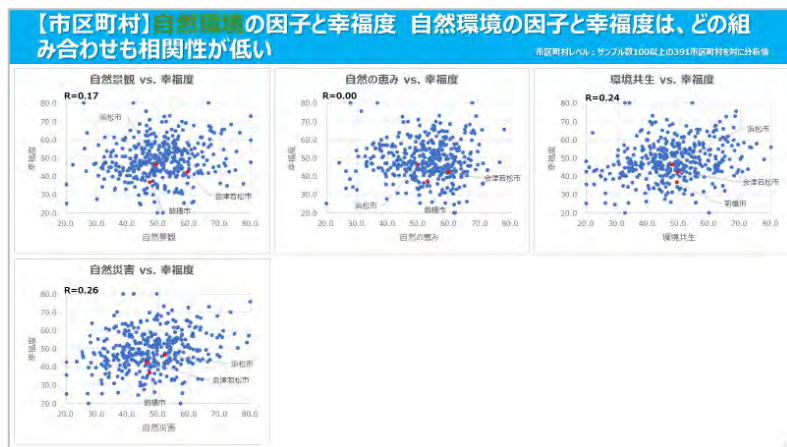
## 【幸福度・生活満足度と24因子の相関性】



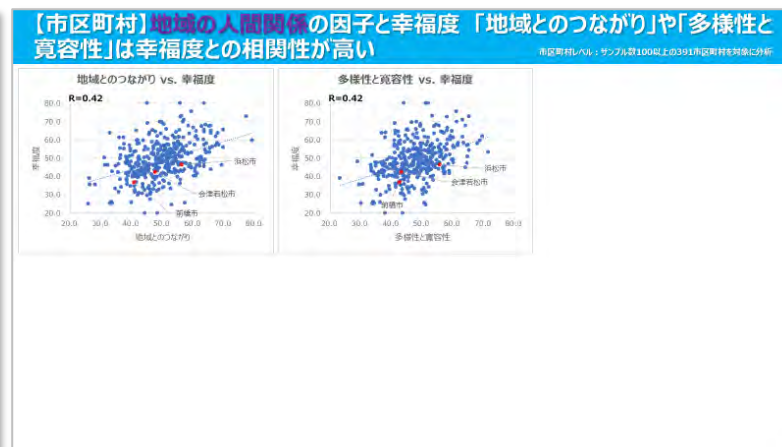
## 【幸福度と都市環境の因子の相関性】



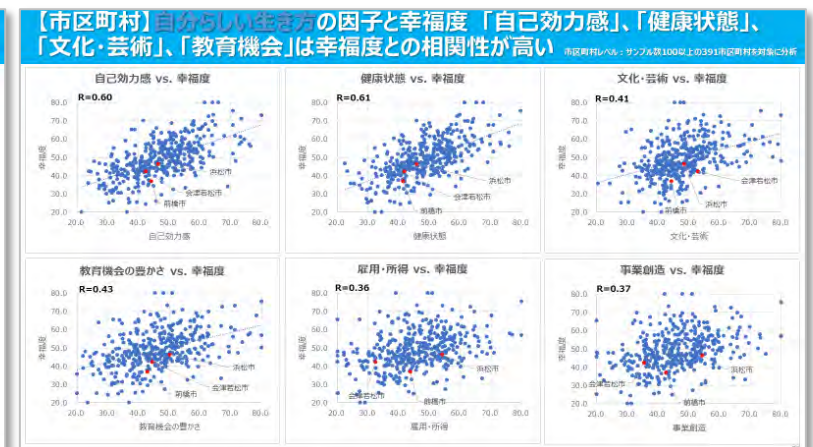
## 【幸福度と自然環境の因子の相関性】



## 【幸福度と地域の人間関係の因子の相関性】



## 【幸福度と自分らしい生き方の因子の相関性】



# 市区町村ベースで、幸福度と生活満足度に相関性の高い主観因子トップ5 (R5年調査)

## 【幸福度】

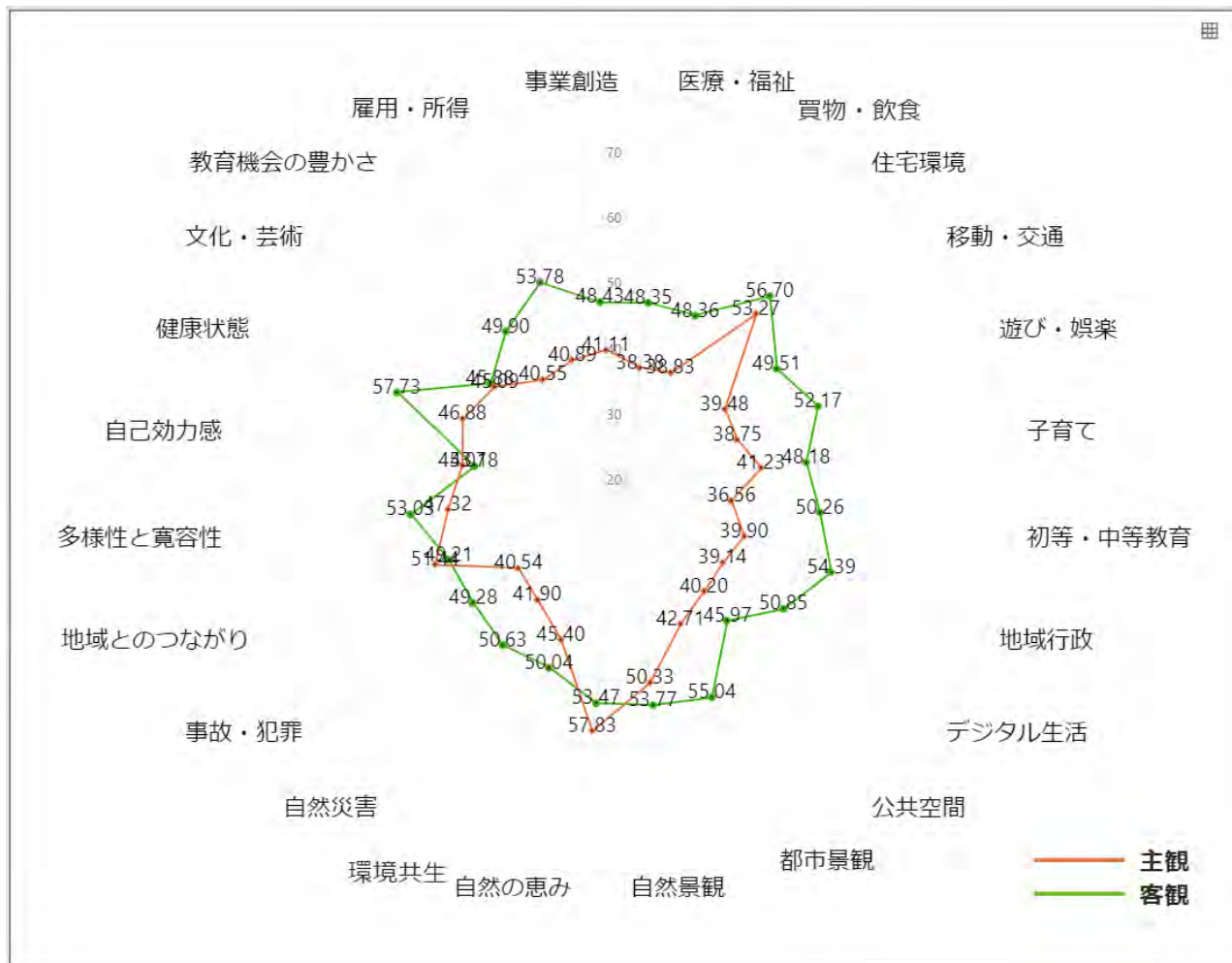
1. 健康状態
2. 自己効力感
3. 公共空間
4. 教育機会の豊かさ
5. 地域とのつながり
5. 多様性と寛容性

## 【生活満足度】

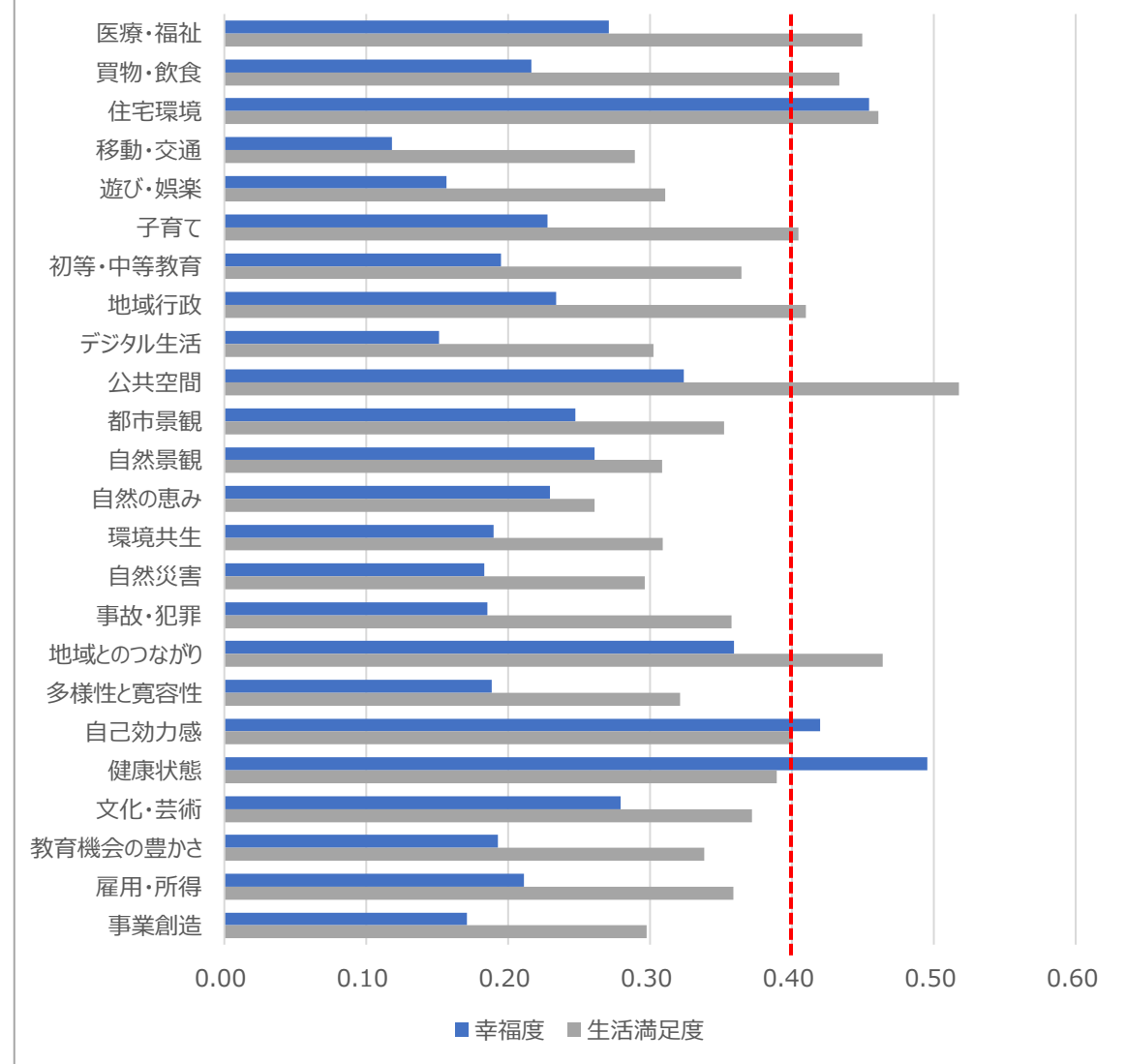
1. 公共空間
2. 教育機会の豊かさ
3. 地域行政
4. 事故・犯罪
5. 事業創造

# 【岐阜県】 因子の平均点と幸福度・生活満足度との相関

## 因子別グラフ



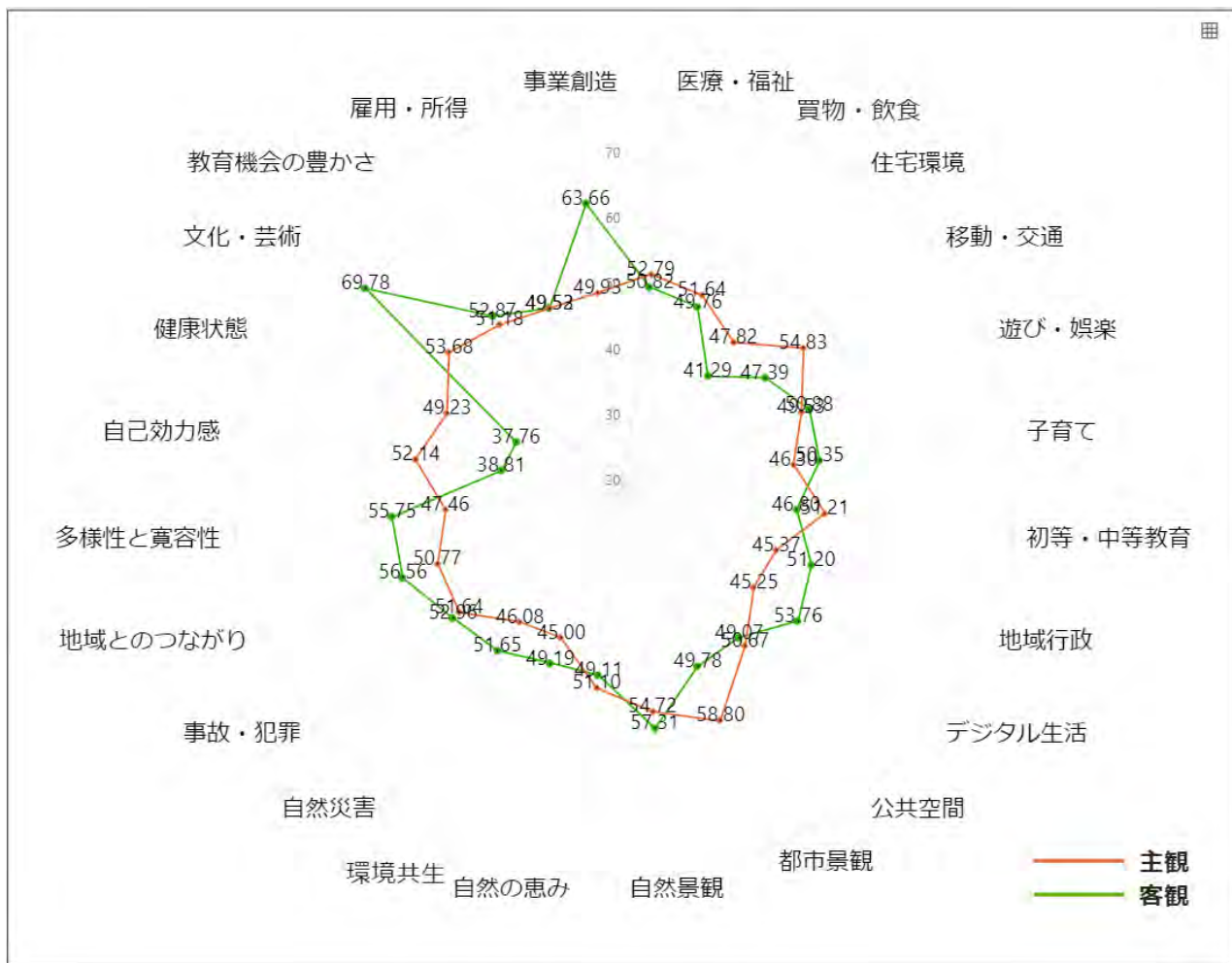
## 幸福度・生活満足度との相関 (24因子別)



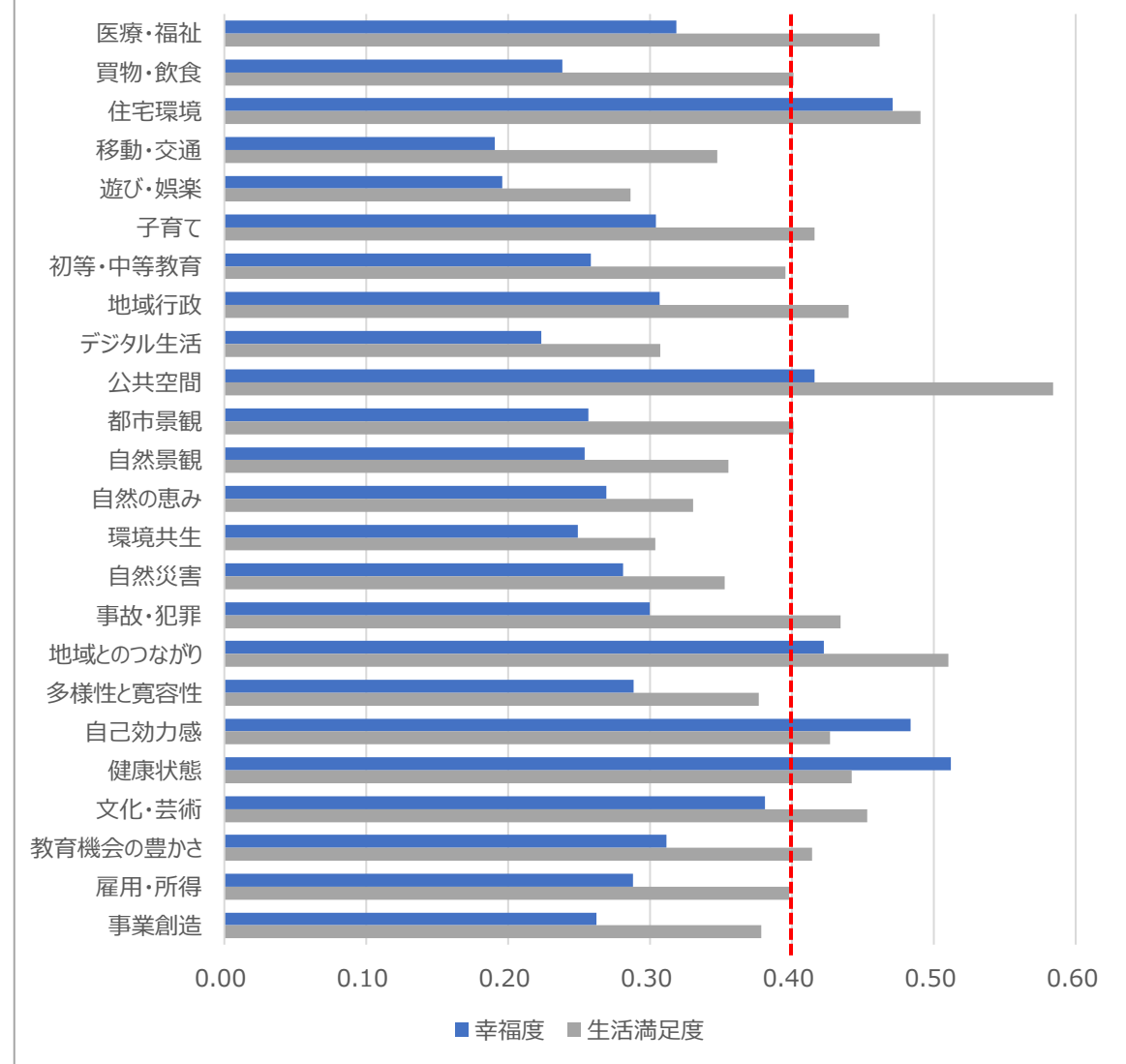


# 【京都府】 因子の平均点と幸福度・生活満足度との相関

## 因子別グラフ

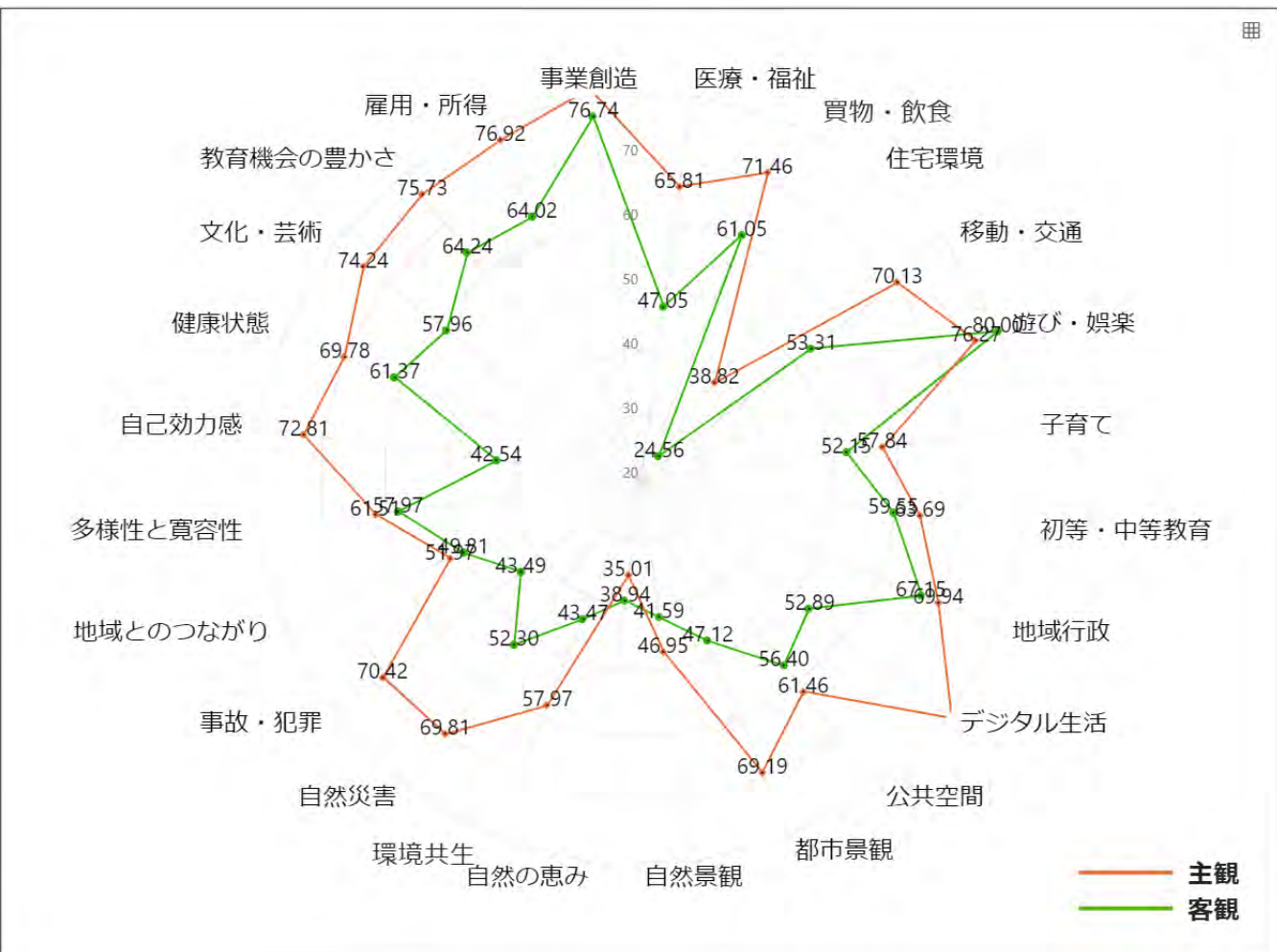


## 幸福度・生活満足度との相関（24因子別）

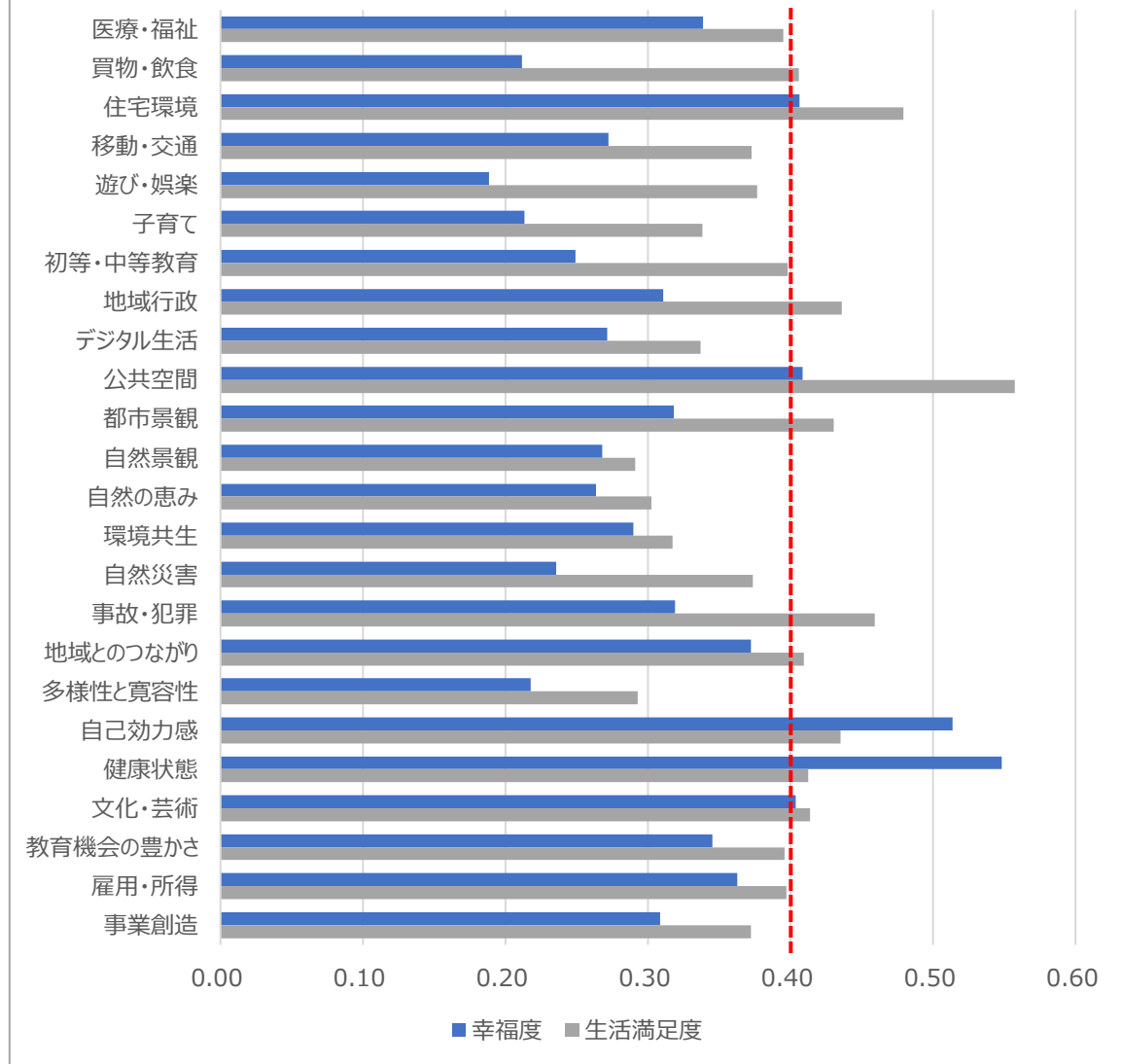


# 【渋谷区】 因子の平均点と幸福度・生活満足度との相関

## 因子別グラフ

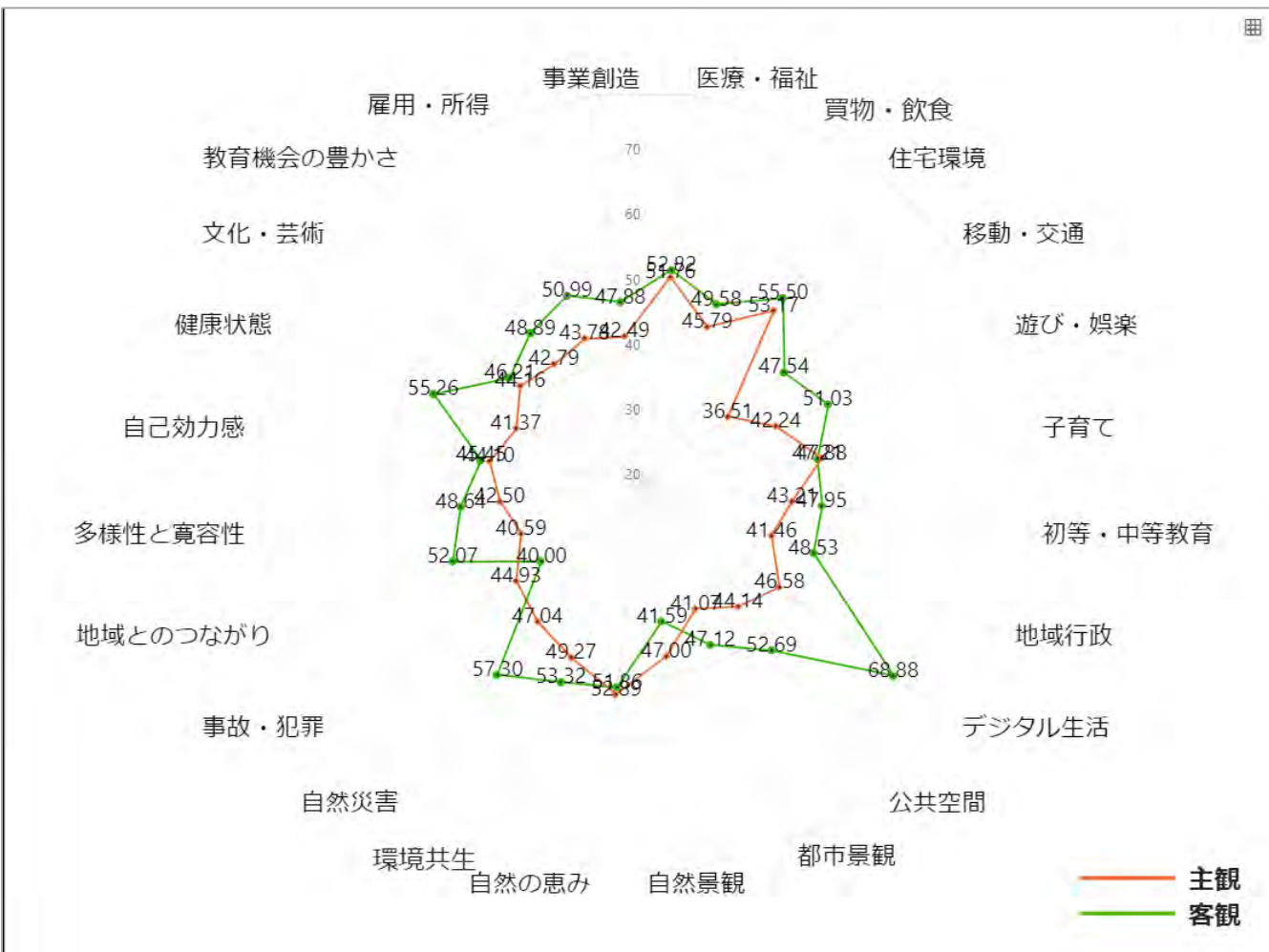


## 幸福度・生活満足度との相関（24因子別）

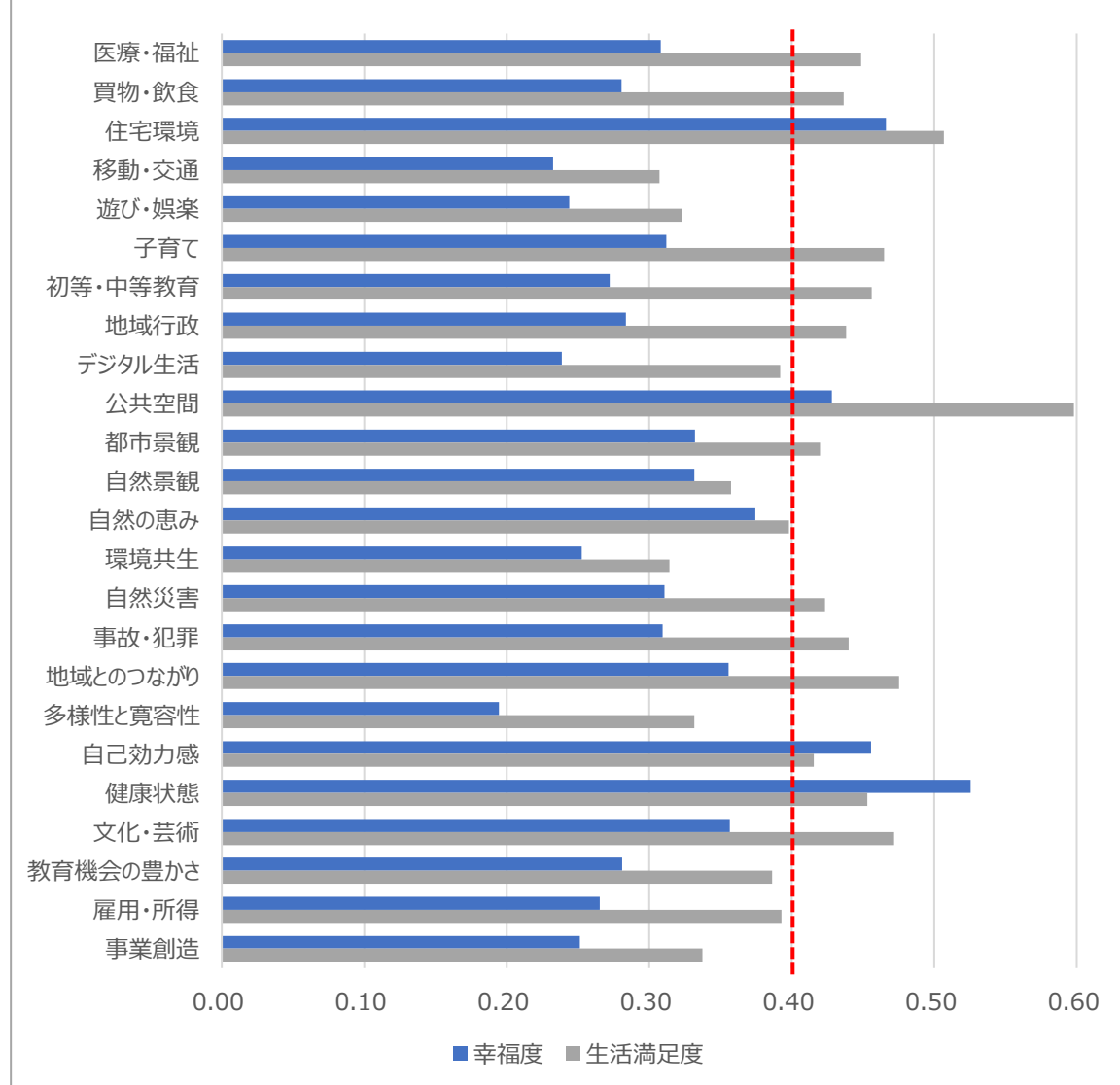


# 【前橋市】因子の平均点と幸福度・生活満足度との相関

## 因子別グラフ

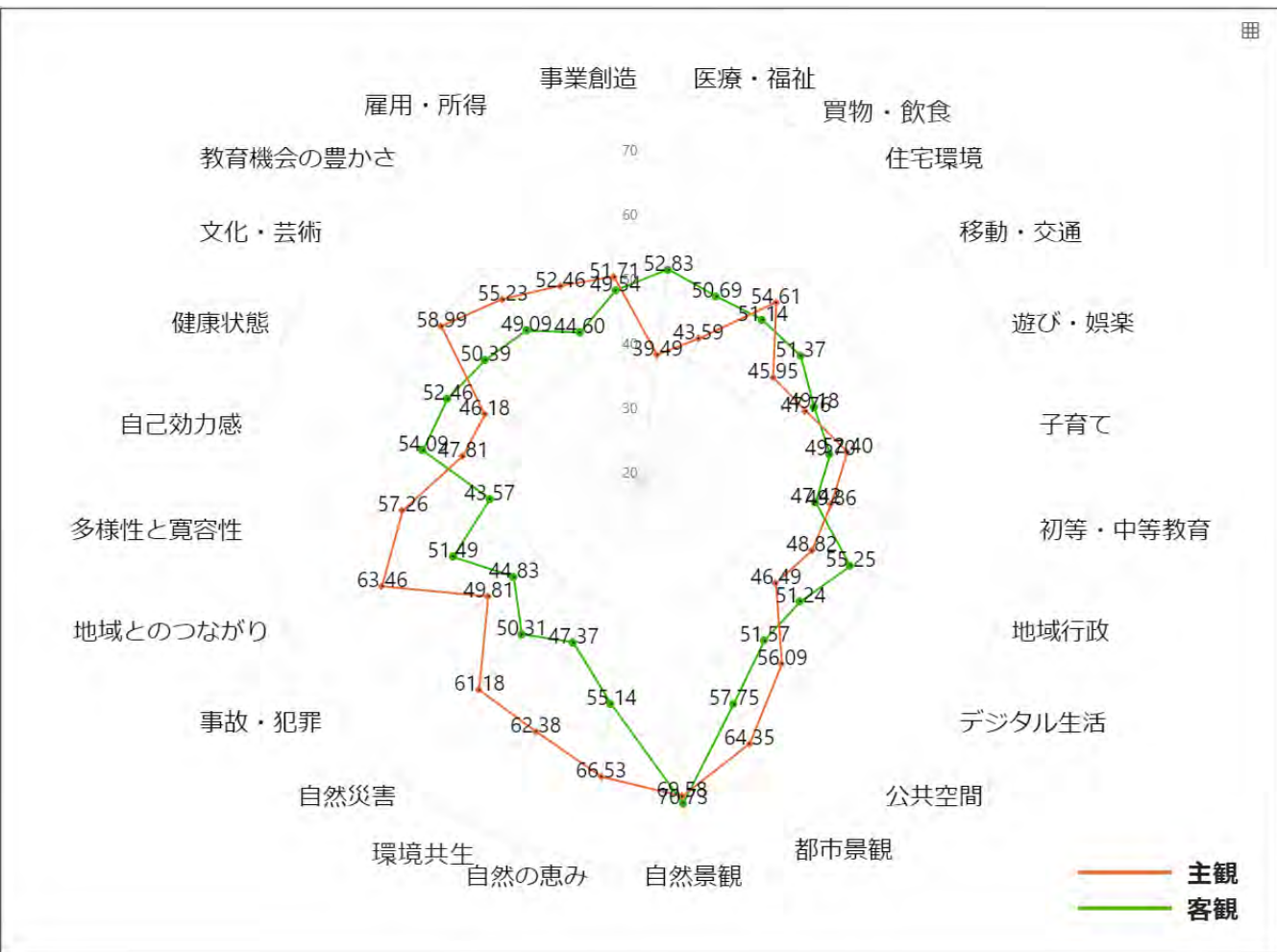


## 幸福度・生活満足度との相関（24因子別）

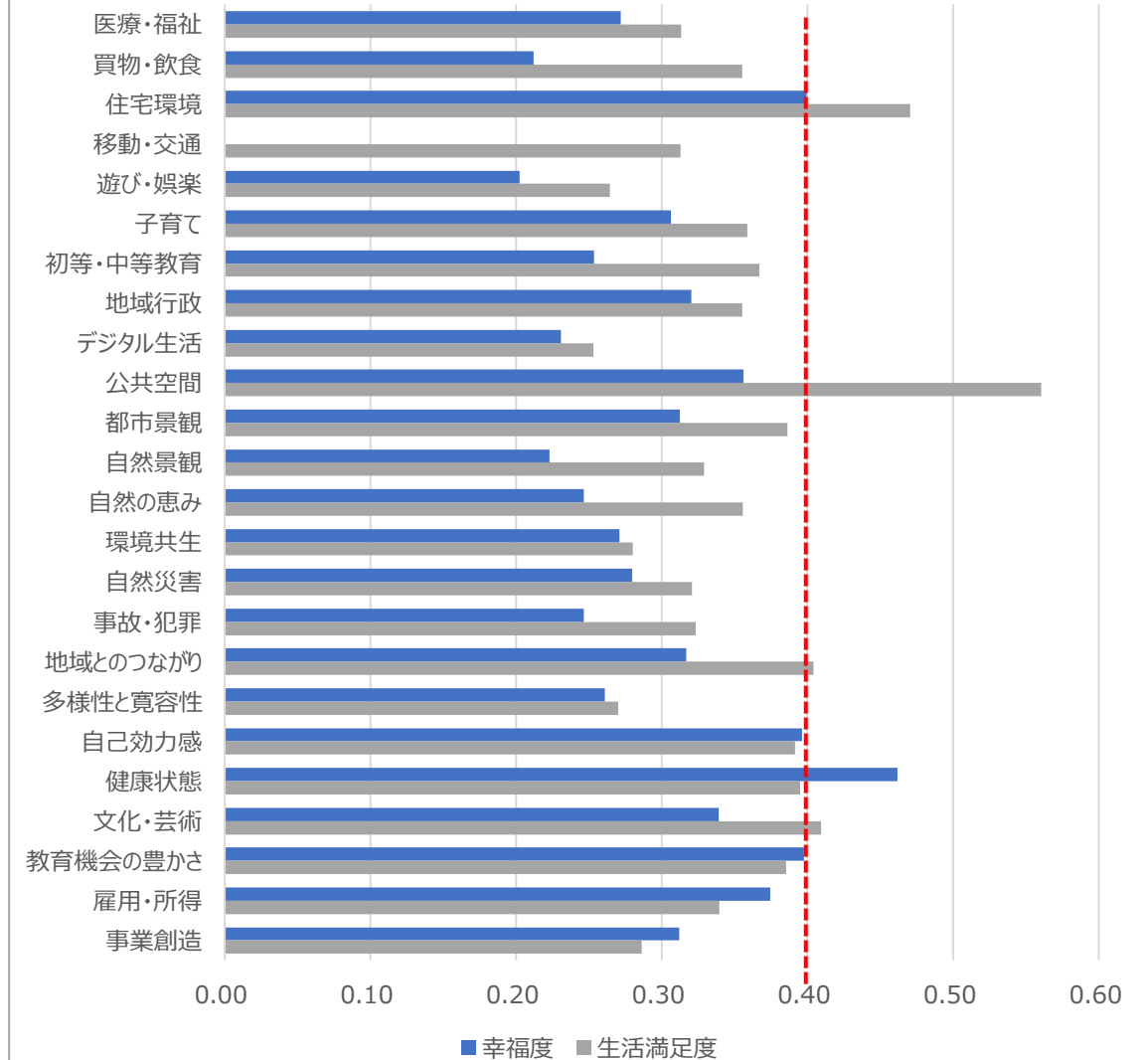


# 【三島市】因子の平均点と幸福度・生活満足度との相関

## 因子別グラフ

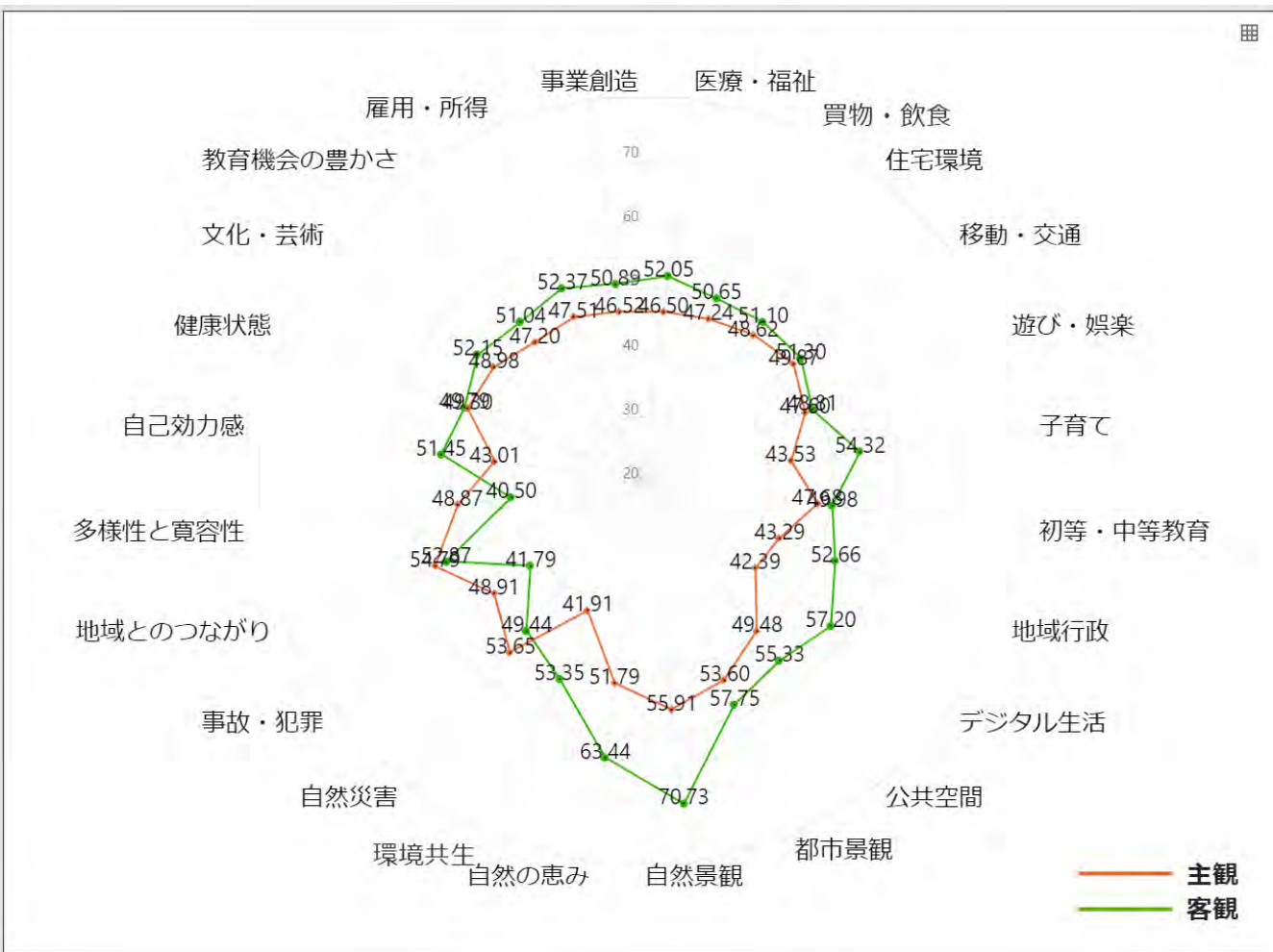


## 幸福度・生活満足度との相関 (24因子別)

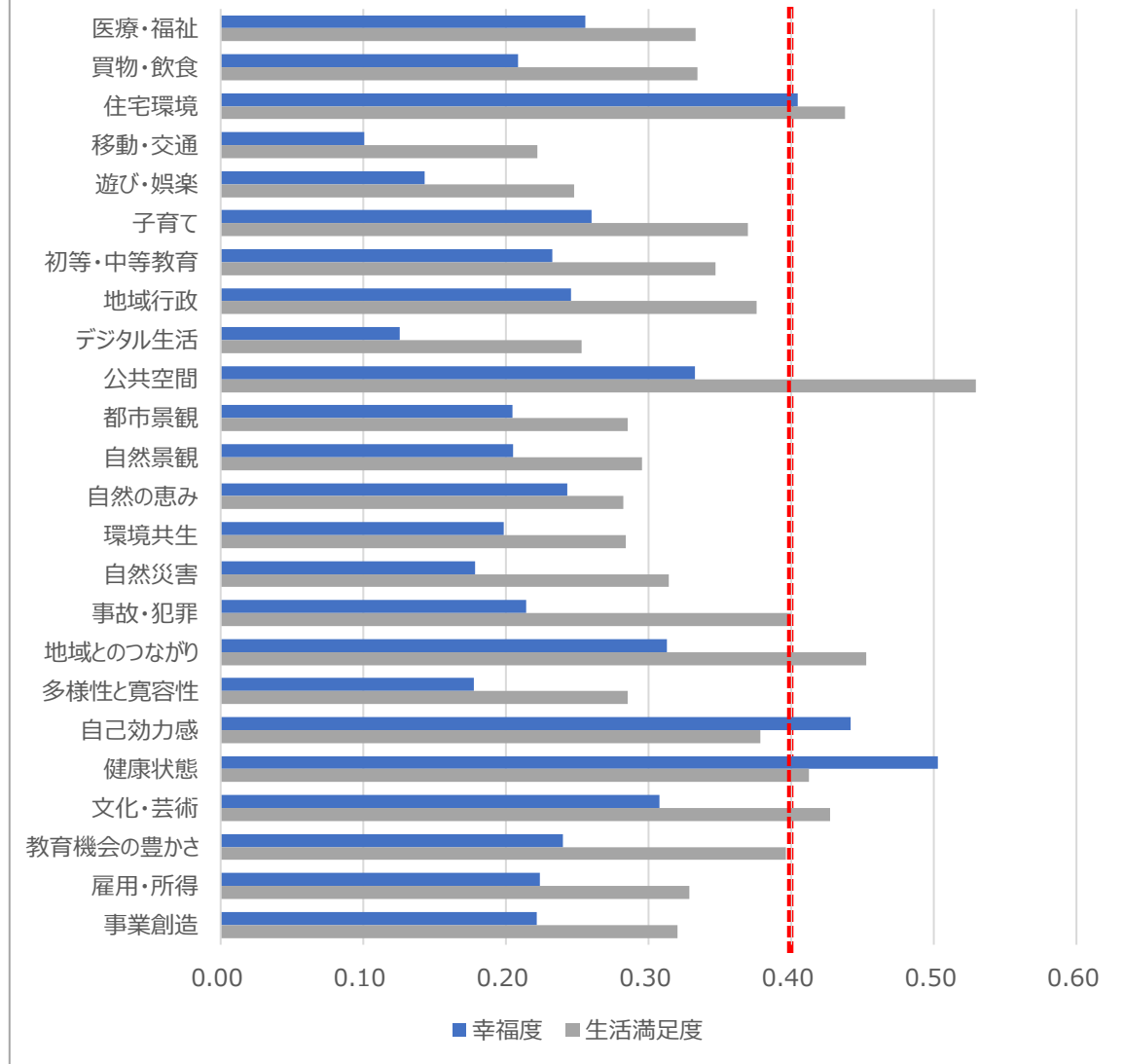


# 【静岡市】 因子の平均点と幸福度・生活満足度との相関

## 因子別グラフ

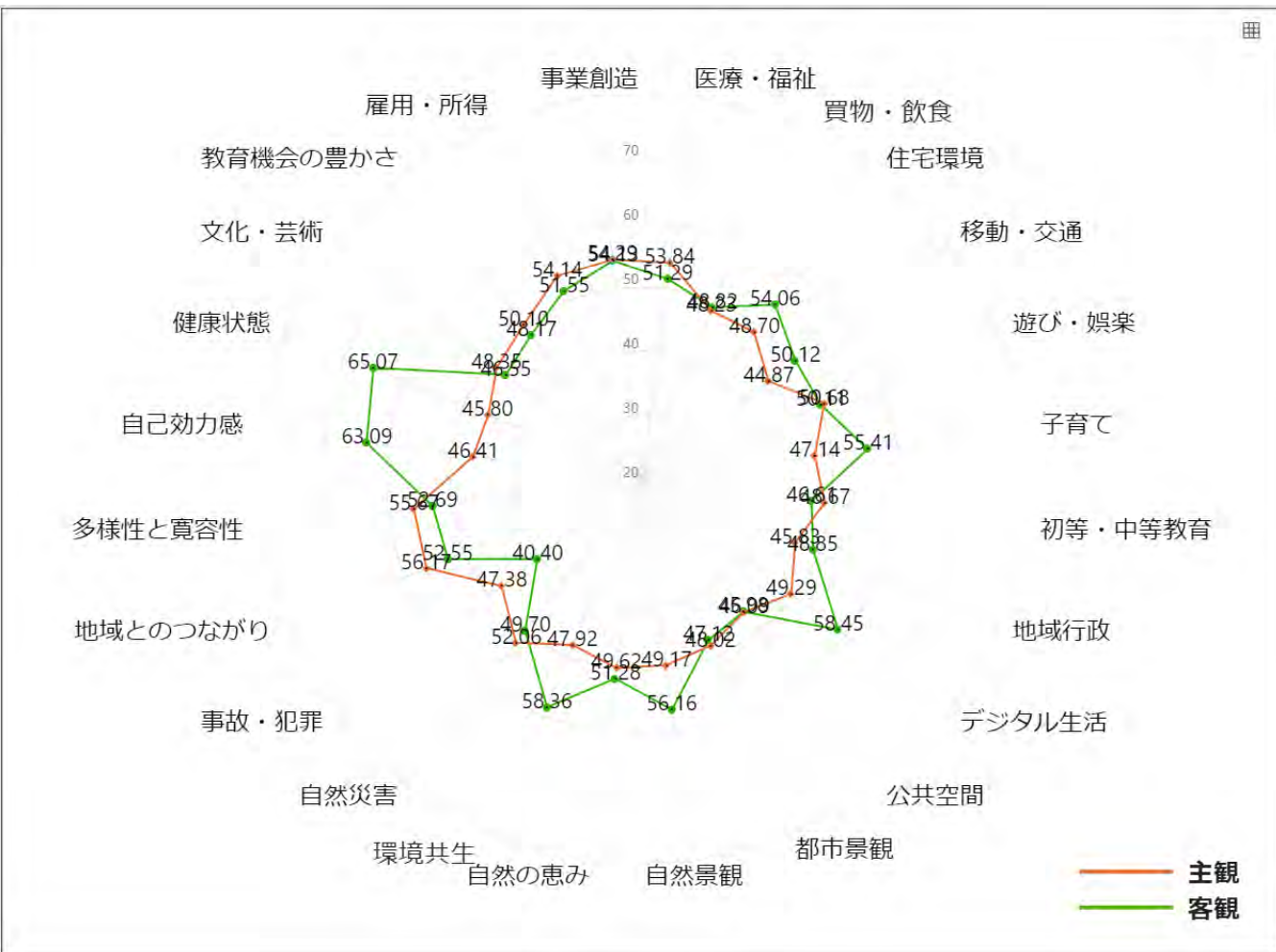


## 幸福度・生活満足度との相関 (24因子別)

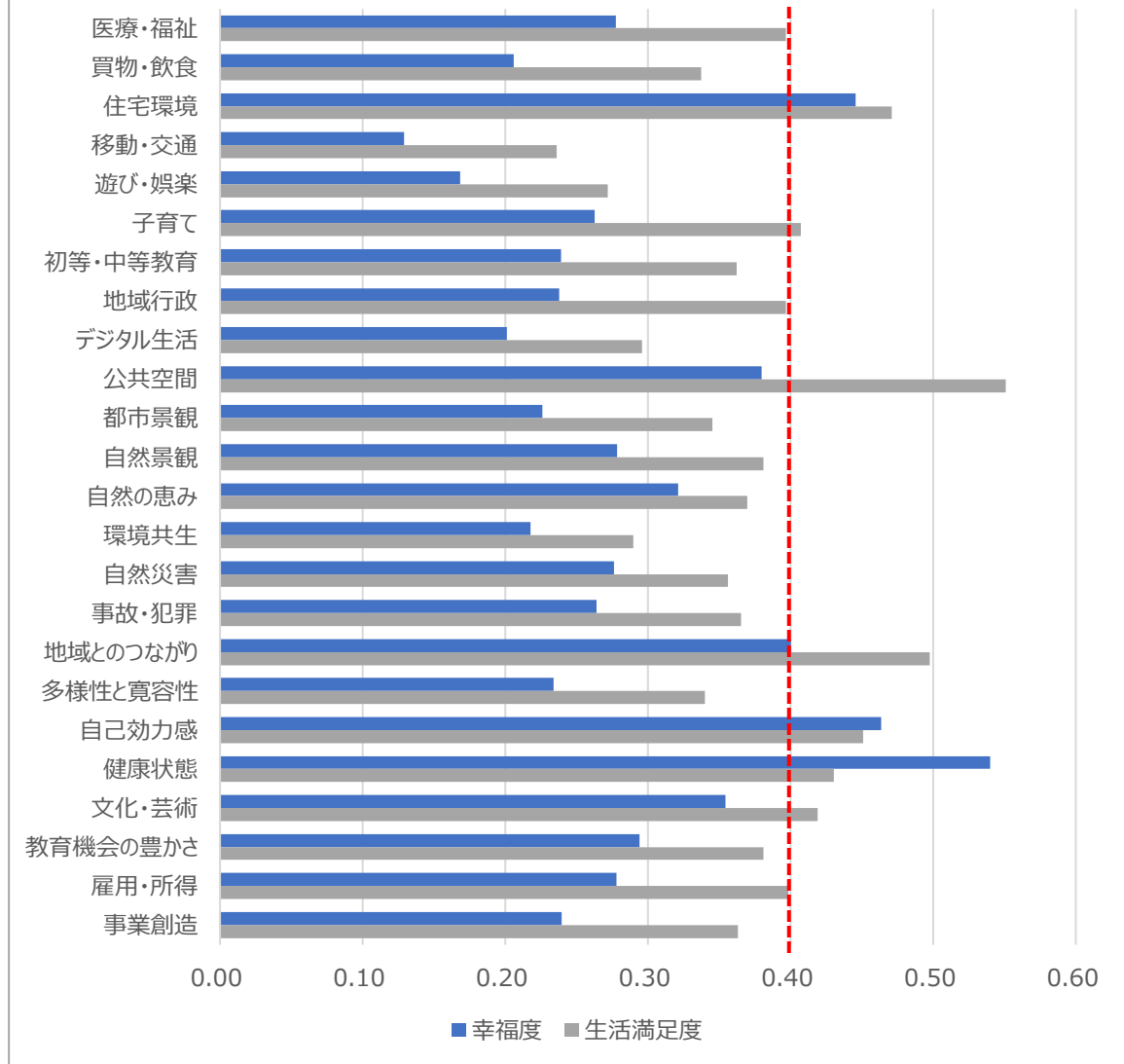


# 【浜松市】 因子の平均点と幸福度・生活満足度との相関

## 因子別グラフ



## 幸福度・生活満足度との相関 (24因子別)



# 地域幸福度指標を具体的に活用していくには、指標から政策を形成していくプロセスの導入が必要

## ■ 浜松市では地域幸福度指標を活用したワークショップ・勉強会を複数回開催しました。

浜松市

2022/5月 南雲フェローを講師に招き、地域幸福度指標の活用に関する勉強会を開催。LWC指標を俯瞰し、因子の関係性を議論。

2022/6月～ 関係課職員による庁内ワークショップを複数回開催。

2022/7月～ 地域幸福度指標の市政への活用について、鈴木市長が講演（SCI-Japan フォーラム@日経ホール、ウェルビーイング連続フォーラム@京都大学）。

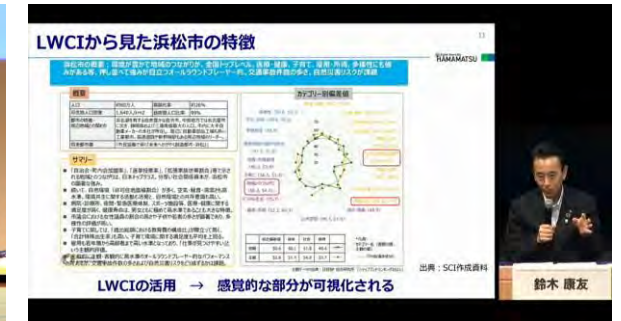
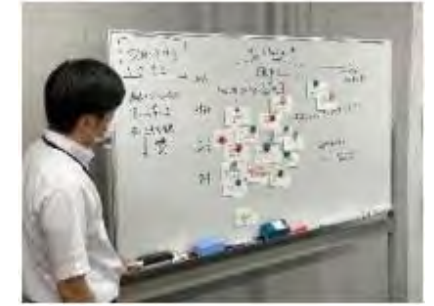
2022/9月 浜松市独自アンケートを実施（1,805サンプル回収）。

2022/10月 Code for Japanの協力の下、官民連携PFの会員とDecidimを活用したワークショップを実施。グループワークで、幸せの物語を作成。

2022/12月 関係課職員による庁内ワークショップを複数回開催。先行4分野における幸福のシナリオ作成に着手。

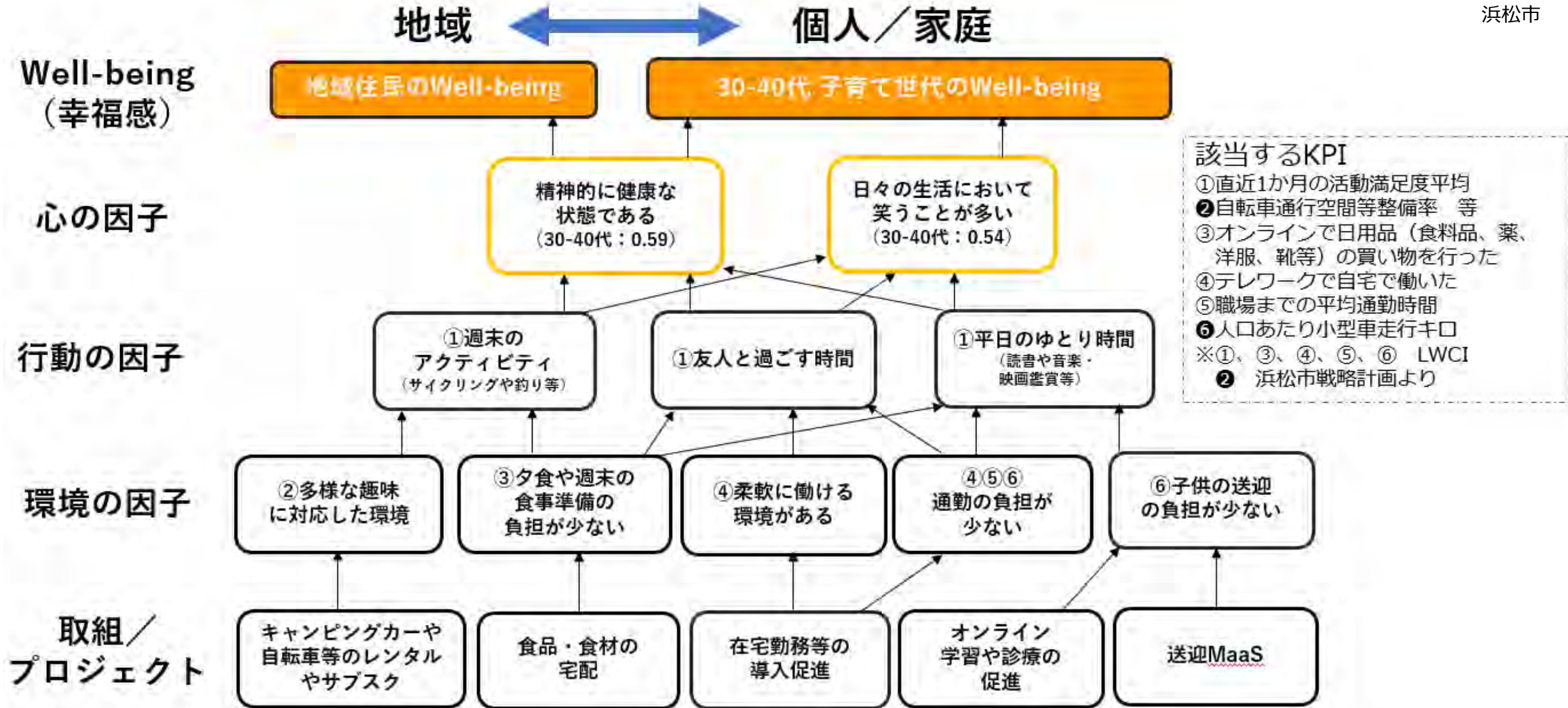
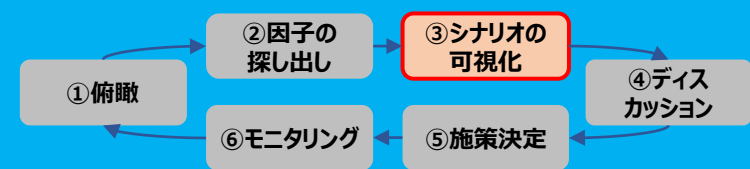
2023/2月 幸福のシナリオの作成状況に関する中間報告。先行4分野のシナリオの複数案が提示され、されに関係者で議論を重ねる。

2023/3月 Decidimにて地域幸福度指標活用の取組や、幸福のシナリオを公開。



# 市民像を30-40代 子育て世代、主テーマを自分時間の確保としたシナリオ例

浜松市





## 地域幸福度（ウェルビーイング）指標は、 具体的な政策形成に活用され始めている



**「幸福度」を追求  
政策づくり学ぶ**  
市課長級職員

市民の幸福度（ウェルビーイング）に着目した政策づくりのための研修会が二十二日、浜松市中区の地域情報センターで始まり、市役所の課長級十二人が参加した。

市職員にウェルビーイングの測定方法などを解説する南雲岳彦さん

初回は同法人専務理事の南雲岳彦さんが講師を務め、ウェルビーイングを測るには健康寿命や住居の広さなどの客観指標と、住んでいる地域に満足しているかといった主観指標の二種類があると解説。ウェルビーイング指標を活用した他の自治体の取り組みを紹介した上で、「人間を真ん中に置いてどんな政策を行っているかという視点が大事だ」と話した。

（木谷孝洋）

令和5年(2023年)9月29日(金曜日) 西 地域西 (18)

LOCAL NEWS 西部

### 浜松市議会代表質問

## 基本計画に「市民幸福度」 意識調査で施策検討

浜松市議会9月定例会は28日、代表質問を行い、加茂俊武（自民党浜松、鈴木真人（市民クラブ）、松下正行（公明党）、遠山将吾（創造浜松）の4氏が登壇した。中野祐介市長は次期基本計画（2025〜34年度分）に市民幸福度向上の視点を取り入れるため、近く幸福度を問う市民意識調査を実施する考えを示した。加茂氏に答えた。

市民3千人以上に調査用紙を配り、政策分野別の「実感」と「特に重要と思うもの」を問う。市の考え方も市民の期待にギャップがないか、などを本年度中に分析し、基本計画の重要施策を検討する。

これまでの基本計画は、市が目指すべき方向性と主要施策を掲載し、事業の達成度などで評価してきた。一方、近年は国が満足度や生活の質を政策の主要指標とするなどウェルビーイング（幸福度）の視点を注目

「幸福度を測る考え方として各自自治体から注目されている。研修会は十一月まで全六回を予定し、市がデジタル分野で助言を受ける一般社団法人スマートシティ・インスティテュートの協力を得て実施する。

山名裕副市長は10月から、文書などを自動的に生成する「生成AI」を職員が業務に活用する方針を示した。松下氏への答弁。

デジタル・スマートシティ推進課によると、議事録の要約、行政文書作りなどが理解できるやさしい日本語の表現に書き換えること、イベントのタイトルやあいさつ文のたたき台を作

「生成AI」業務に導入  
来月から

指標で全国上位の評価を受ける半面、市民満足度で導かれる主観指標は平均的。中野市長は「調査結果の分析に基づいて政策立案し、市民が幸福を実感できる基本計画とする」と述べた。（浜松総局・宮坂武司）

# 福島県会津若松市のケース ～ 最初はウェルビーイングとは何かの共通理解

- 会津若松市では、デジ田・Well-beingのセミナー・パネルディスカッションが開催され、スマートシティやWell-beingの理解が関係者だけでなく、地元企業や関係団体など、地域のステークホルダーに広がっています。

- 日時：2022年8月29日（月）10:00～12:30
- 形式：オンライン&オフライン
- 参加者：
  - 地域の関係団体（医師会、薬剤師会、商工会議所等）
  - 一般社団法人AiCT コンソーシアム会員企業
  - 会津大学
  - 市まち・ひと・しごと創生包括連携協議会会員企業
  - 会津地域スマートシティ推進協議会会員企業 ほか
- テーマ：
  - デジタル庁によるデジタル田園都市国家構想の紹介
  - Well-beingとLWC指標
  - 会津若松市民にとってのWell-beingなど
- プログラム
  - 会津若松市 猪俣副市長 挨拶
  - デジタル田園都市国家構想推進セミナー（デジタル庁 村上統括官）
  - 「市民の幸福感を高めるスマートシティの思想」（スマートシティ・インスティテュート 南雲専務理事）
  - 「会津若松市民にとってのWell-being幸福感とは？」（パネルディスカッション）
  - 会津若松市の取組紹介



# 福島県会津若松市のケース ～ その後、ウェルビーイング指標を活用したワークショップで、ステークホルダーと地域の個性を確認し合う

会津若松市



ワーク風景（食農グループ）



ワーク風景（ヘルスケアグループ）



会場風景



サービス紹介



サービス紹介



発表

出典：会津若松市及び（一社）AiCTコンソーシアムご提供資料



# 香川県三豊市のケース ～ 市職員・市民向けに「地域の幸福のシナリオ」を検討するワークショップを実施



①ウェルビーイングについてのレクチャー  
(慶応大前野研究室 井上講師)



②各因子の具体例をプレスト&集約



③幸福に至るシナリオをグループ内で議論

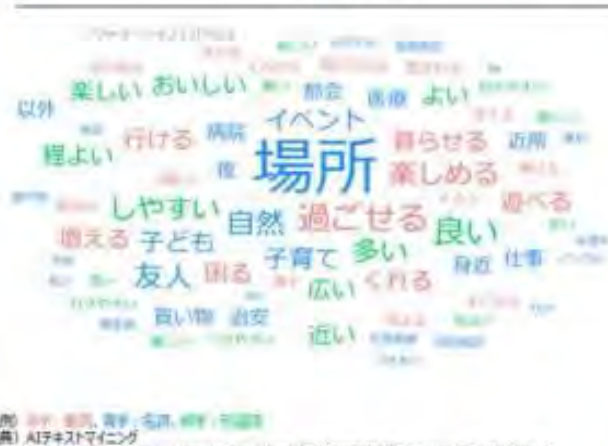


④各グループによる議論の結果の共有



- ✓ 三豊市の特徴についてグループでプレストし、付箋に記載
- ✓ 付箋をLWC指標「地域生活のWell-Being」の因子ごとにグルーピング

出現頻度マッピング



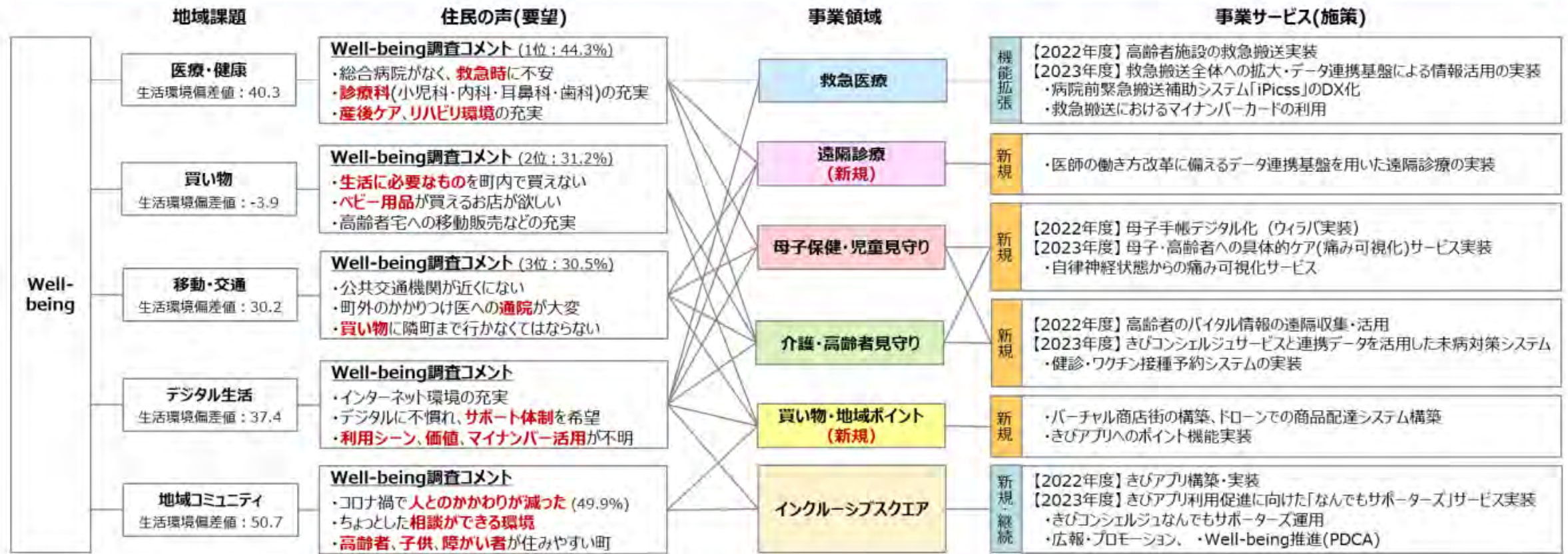
凡例 赤字: 動詞, 青字: 名詞, 緑字: 形容詞  
 出典) AIテキストマイニング  
<https://textmining.userlocal.jp/results/fy1DhwWGI7i2fVHToggQBoxJfVRHu7>

出現頻度上位15単語 (品詞別)

動詞		名詞		形容詞	
単語	出現回数	単語	出現回数	単語	出現回数
過ごす	4	場所	13	良い	4
通じる	3	自然	4	しやすい	3
繋がる	2	友人	4	多い	3
遊べる	2	子育て	3	幅広い	2
知る	2	子ども	2	広い	2
通じる	2	イベント	2	近しい	2
行ける	2	治安	2	近い	2
くれる	2	医療	2	楽しい	2
出会う	1	身近	2	よい	2
のびる	1	懸命	2	持続しやすい	1
広める	1	近所	2	つまやまい	1
まごせる	1	買い物	2	薄い	1
知り合える	1	病院	2	楽しい	1
知える	1	以外	2	行きやすい	1
集まれる	1	店	2	熱い	1

- ※参考: 市職員向けWSのプレストの結果から、テキスト分析により特徴的な単語を抽出
- ✓ 名詞では「自然(因子\_自然の体感)」「友人(因子\_つながりと感謝)」「子育て・子ども(因子\_生活の利便性)」という単語が多く、これらの因子の重要性が高い可能性がある  
(「場所」は「○○な場所」という用途で使用されるため最頻出となる)

## Well-beingの調査結果から来年度事業の施策を討議・決定



※生活環境偏差値：Well-Being指標に基づき、オープンデータから地域の生活環境を偏差値で表したもの

# 香川県三豊市のケース ～ 市民や企業向けに「三豊未来マップ」を作成

市民や企業が、三豊の目指す「将来のありたい姿」と、それを実現する取組みを確認できる  
**三豊未来マップ**を作成



# 群馬県前橋市のケース ～ コンセプトをポスター形式で可視化





# 本資料のご活用に向けて

- 本資料は、信頼できると思われる各種公開情報・オープンデータ等に基づいて作成されていますが、当法人はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に基づくご利用者様の決定、行為、及びその結果について、当法人は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、ご利用者様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュートと明記してください。

# 主観評価指標（アンケート項目）

## 地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う
- 住んでいる地域の暮らしに満足している

### 生活環境（16）

#### 医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している（利便性）
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

#### 買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない（利便性）
- 飲食を楽しめる場所が充実している

#### 住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間）
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている（秩序）
- 適度な費用で住居を確保できる

#### 移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

#### 遊び・娯楽（1）

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

#### 子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

#### 初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

#### 地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）
- 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）

#### デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

#### 公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

#### 都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

#### 自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

#### 自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる（自然）
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる（自然）

#### 環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

#### 自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

#### 事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

### 地域の人間関係（2）

#### 地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人たちを信頼している（社会関係資本）
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本）
- 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本）
- 町内の人が困っていたら手助けする（向社会的行動）
- このまちに愛着を持っている（一体感）

#### 多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）（過干渉・不寛容）
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

### 自分らしい生き方（6）

#### 自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる（一体感）

#### 健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
- 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）

#### 文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り）
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創）

#### 教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

#### 雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

#### 事業創造（1）

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）

# 暮らしやすさ客観指数

## 生活環境 (16)

### 医療・福祉

- 医療施設徒歩圏人口カバー率
- 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり国保医療費 (-)
- 人口あたり後期高齢者医療費 (-)
- 特定健康診断受診率
- 福祉施設徒歩圏人口カバー率
- 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり児童福祉施設数
- 人口あたり障害者施設支援数
- 人口あたり認知症サポーター・サポーター数

### 買物・飲食

- 商業施設徒歩圏人口カバー率
- 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 可住地面積あたりの飲食店数
- 人口あたり飲食店数

### 住宅環境

- 住宅あたり延べ面積
- 平均価格 (住宅地) (-)
- 専用住宅1m<sup>2</sup>あたり家賃 (-)
- 一戸建の持ち家の割合

### 移動・交通

- 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率
- 駅およびバス停徒歩圏人口密度 (-)
- 人口あたり小型車走行キロ (-)
- 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合
- 職場までの平均通勤時間 (-)

### 遊び・娯楽

- 人口あたり娯楽業 (映画館、劇場、スポーツ施設等) の事業所数

### 子育て

- 保育所まで1km未満の住宅割合
- 可住地面積あたり幼稚園数
- 施設あたり幼稚園児数 (-)
- 人口あたり待機児童数 (-)
- 歳出総額における教育費の構成比
- 合計特殊出生率

### 初等・中等教育

- 可住地面積あたり小学校数
- 可住地面積あたり中学校数
- 可住地面積あたり高等学校数
- 施設あたり小学生数 (-)
- 施設あたり中学生数 (-)
- 施設あたり高校生数 (-)

### 地域行政

- 人口あたり体育施設利用者数
- 人口あたり図書館帯出者数
- 人口あたり博物館入館者数
- 地域財政指数

### デジタル生活

- 自治体DX指数
- デジタル政策指数
- デジタル生活指数

### 公共空間

- 公園緑地徒歩圏人口カバー率
- 人口あたり公園の面積
- 歩道設置率
- ウォークブル指数

### 都市景観

- 都市景観指数

### 自然景観

- 自然景観指数

### 自然の恵み

- 食料生産ポテンシャル
- 水供給ポテンシャル
- 木材供給ポテンシャル
- 炭素吸収量
- 蒸発散量
- 地下水涵養量
- 土壌流出防止量
- 窒素除去量
- リン酸除去量
- NO<sub>2</sub>吸収量
- SO<sub>2</sub>吸収量
- 洪水調整量
- 表層崩壊からの安全率
- 緑地へのアクセス度
- 水域へのアクセス度
- オートキャンプ場への立地確立

### 環境共生

- NO<sub>x</sub>平均値 (-)
- PM<sub>2.5</sub>年平均値 (-)
- ゴミのリサイクル率
- 人口あたり年間CO<sub>2</sub>排出量 (-)
- 人口あたり再エネ発電量
- 環境政策指数

### 自然災害

- 外水氾濫危険度
- 高潮危険度
- 土砂災害危険度
- 地震動危険度
- 津波危険度
- ハード対策
- 避難・救助
- 要配慮者支援
- 防災教育
- 防災まちづくり
- 情報・デジタル防災

### 事故・犯罪

- 人口あたり交通事故件数\* (-)
- 人口あたり刑法犯認知件数\* (-)
- 空家率 (-)

指数を構成するKPIはP14~15を参照  
\*各都道府県・市区町村HP等から取得  
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

# 暮らしやすさ客観指数

## 地域の間人関係 (2)

### 地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数 (-)
- 拡大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合 (-)
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率\*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

### 多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

## 自分らしい生き方 (6)

### 自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

### 健康状態

- 健康寿命 (平均自立期間) (男性)
- 健康寿命 (平均自立期間) (女性)

### 文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財 (建造物) の数
- 日本遺産の数

### 教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

### 雇用・所得

- 完全失業率 (-)
- 若年層完全失業率 (-)
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率 (-)
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

### 事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

指数を構成するKPIはP14~15を参照  
\*各都道府県・市区町村HP等から取得  
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出